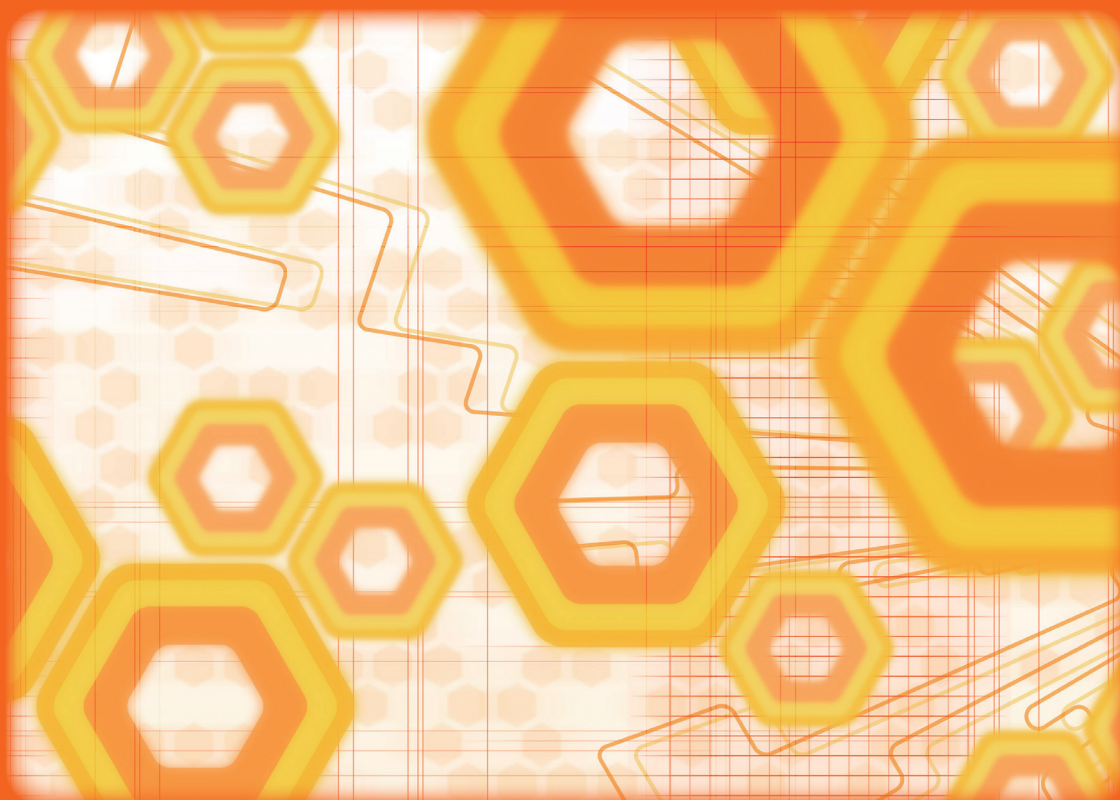


令和7年度
青森県の
社会教育行政



青森県教育庁生涯学習課

はじめに

人々が人生を送る中で、生涯学習や社会教育を通じ、県民全体の多様な「学び」の充実を図ることで、県民一人ひとりのウェルビーイング向上を実現していく必要があり、こどもや若者、社会人、高齢者など、年齢を問わず誰もが学び続け、地域社会の担い手となるよう、社会教育を充実させていくことが求められます。

このため、青森県教育委員会では、本県の教育行政の基本的な目標及び施策の方向性を示した「青森県教育施策の方針」に基づき、「郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く人づくり」を目指し、「学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育」を市町村教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら推進しているところです。

令和7年度は県教育委員会が掲げる「こどもたちが地域の中で学び育つ環境づくり」に基づき、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」を引き続き実施します。地域学校協働活動の更なる充実を目指し、これまでの事業により形成された人財とのつながりを活かした研修会等の開催や、推進員の配置促進を図ることなどにより、地域と学校のパートナーシップを強めるための取組を進めて参ります。

本冊子は、第1部において、本県の令和7年度社会教育行政に関わる施策と事業概要及び令和6年度の事業実績について、第2部においては、市町村及び社会教育関係団体の社会教育事業及び社会教育施設についての基礎的なデータを掲載しております。生涯学習・社会教育に関係する多くの皆様に、広く御活用いただければ幸いに存じます。

結びに、本冊子の作成に当たり御協力をいただきました、各市町村教育委員会及び社会教育施設、本県各行政機関、社会教育関係団体の皆様に心より感謝し、厚くお礼申し上げます。

令和7年4月

青森県教育庁生涯学習課長
清 川 喜 之

目次

第1部

I	青森県教育施策の方針	1
II	令和7年度社会教育行政の方針と重点	2
III	令和7年度社会教育施策	
1	「令和7年度社会教育行政の方針と重点」における施策・事業一覧	6
2	令和7年度事業の概要	
(1)	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成	8
(2)	地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成	22
(3)	人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進	25
(4)	社会教育推進のための基盤整備	28
3	令和7年度社会教育関係予算の概要	33
4	附属機関の概要	
(1)	青森県生涯学習審議会	34
(2)	青森県社会教育委員	35
(3)	青森県立図書館協議会	36
5	令和7年度県社会教育関係職員	
(1)	県教育庁生涯学習課事務分掌	37
(2)	教育事務所及び県立社会教育施設の社会教育関係職員一覧	40
	ホームページ「あおもりの生涯学習ー楽しむ 高める 生かすー」のご案内	42
IV	令和6年度の実績	
1	令和6年度事業一覧	43
2	令和6年度事業の実績	
(1)	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成	45
(2)	活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成	73
(3)	生涯を通じた学びと社会参加の推進	79
(4)	社会教育推進のための基盤整備	86
3	青少年教育施設の概要	
(1)	少年自然の家の利用状況	91
(2)	県立以外の主な青少年教育施設の概要	92
	[参考] 令和6年度社会教育関係刊行物一覧	98
V	令和6年度青森県生涯学習関連事業調査の結果	
1	調査の概要	99
2	令和6年度中に実施した生涯学習関連事業	
(1)	実施主体別分類	101
(2)	事業別分類	103
(3)	事業一覧（令和6年度実績）	104

第2部

I	令和7年度市町村の社会教育行政	
1	市町村教育委員会の社会教育担当主管部署一覧	112
2	市町村教育委員会事務局の社会教育関係職員数	113
3	市町村の社会教育委員の委嘱状況	114

4	社会教育施設の状況	
(1)	公民館数及び公民館職員数	115
(2)	公民館一覧	117
(3)	公立図書館一覧	121
(4)	博物館等一覧	121
(5)	青少年教育施設一覧	122
(6)	教育委員会が所管するその他の社会教育施設一覧	122
II	令和6年度市町村の社会教育事業の実績	
1	市町村の事業実施件数	123
2	市町村単独実施事業のうち学習機会提供事業の実施状況（事業種別）	125
III	令和6年度市町村の生涯学習推進体制	127
IV	市町村こども読書活動推進計画策定状況	129
V	主な社会教育関係団体一覧	130

巻末資料

・	文部科学大臣表彰者一覧	131
・	青森県教育振興基本計画について	132

第 1 部

I 青森県教育施策の方針

青森県教育委員会は、郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く^{ひら}人づくりを目指します。このため、

夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育

学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育

次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用

活力、健康、感動を生み出すスポーツ

を、市町村教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら推進します。

平成26年1月8日決定

Ⅱ 令和7年度社会教育行政の方針と重点

1 方針

県民一人ひとりが、ウェルビーイング^{※1}の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

2 重点

(1) 学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財^{※2}の育成

- ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- イ キャリア教育支援の仕組みづくりの推進
- ウ こどもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援体制の充実
- オ こどもの体験活動の推進

(2) 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 郷土に誇りを持ち、地域の次代を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

(3) 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進

- ア 県民の学び直しやリカレント教育の推進
- イ 県民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進
- ウ 性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様なニーズに応じた生涯学習環境の充実と社会参加活動の促進

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員等の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

※1 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むもの。また、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念。

※2 人は青森県にとって「財（たから）」であるという基本的な考え方から、ここでは「人材」を「人財」と表しています。

令和7年度社会教育行政の方針と重点について（解説）

青森県教育振興基本計画※及び「青森県教育施策の方針」を踏まえ、本県の社会教育行政が取り組むべき施策の基本的方向及び重点的に取り組む施策を「社会教育行政の方針と重点」として定めるものである。

※青森県教育委員会では、「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」、「青森県教育施策の大綱」及び今後取り組む具体的な施策や進捗状況を把握するための指標を設定した「アクションプラン」をあわせて「青森県教育振興基本計画」（2024～2028年度）に位置付けている。

1 方針

県民一人ひとりが、ウェルビーイングの向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

県民一人ひとりが、「ウェルビーイングの向上を目指して生きがいのある充実した生活を送る」こと及び「豊かで住みよい地域社会を形成する」ことを社会教育行政の目指す状態として掲げるものである。

その実現に向けては、人々が新たな知識や技術を学び、その成果を生かして様々な地域活動に参画していくことが求められることから、学習活動を通じて社会が人を育み、人が社会をつくるという好循環を目指し、「学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める」こととするものである。

2 重点

(1) 学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成

未来を担う人財である子どもたちが心豊かでたくましく成長するよう、多様な体験活動等を通して育成するとともに、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしつつ、教職員、保護者、地域住民が連携・協働して社会全体で子どもたちを育むことが求められる。

特に重点的に取り組む施策として、次の5項目を掲げる。

ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

幅広い地域住民や企業・団体等の参画により、地域と学校が連携・協働して、学びによるまちづくり、地域人財育成、郷土学習、放課後や土曜日等における学習体験・活動など、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動を促進するため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を支援する。

イ キャリア教育支援の仕組みづくりの推進

社会人・職業人として自立できるよう必要な資質、能力、態度を培うキャリア教育を推進するため、地域の企業、NPO、大学等との連携・協働による教育支援活動を充実させるとともに、子どもたちのキャリア形成を支援する。

ウ こどもの読書活動の充実

こどもの読書習慣を形成するため、こどもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発と電子書籍等を含めた読書環境の整備を進める。

エ 家庭教育支援体制の充実

家庭教育の自主性を尊重しつつ、教育の原点である家庭の教育力を高めるため、支援者の育成やその活用によるきめ細やかな家庭教育支援の取組を通して、社会全体で家庭教育を支える体制を充実させる。

オ こどもの体験活動の推進

青少年教育施設の主催事業を始めとするこどもの自然体験活動等、多様な体験活動を推進する。

(2) 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成

地域の強みを生かした豊かで住みよい地域社会や持続的な地域コミュニティを形成するためには、地域活動に主体的に取り組む人財や地域の次代を担う若者の育成が求められるとともに、人財相互のネットワークづくりが必要である。

特に重点的に取り組む施策として、次の3項目を掲げる。

ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成

各地域において、地域活動に係る潜在的な人財を掘り起こすとともに、地域活動に多様な側面から関わり、それぞれの個性を生かして主体的に取り組む実践者を養成する。また、地域活動をけん引する指導者や、人や組織を結ぶコーディネーターを養成する。

イ 郷土に誇りを持ち、地域の次代を担う若者の育成

地域の活力が将来にわたって持続するよう、郷土に誇りを持ち、その良さを引き継ぎながら地域づくりに取り組む地域の次代を担う人財を育成する。

ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

地域活動の実践者、指導者、コーディネーターを始め、大学、企業、NPO等の地域活動に関わる関係者の資質向上のため、ネットワークの形成を促進する。

(3) 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進

上記(1)・(2)に掲げる「人財の育成」を進めるため、人生100年時代においては、こどもや若者、社会人、高齢者など、年齢を問わず学び続け、地域社会の担い手となるよう、生涯学習・社会教育を充実させていくことが求められる。

特に重点的に取り組む施策として、次の3項目を掲げる。

ア 県民の学び直しやリカレント教育の推進

県民の主体的なキャリア形成を促すため、産学官民によるネットワークを活用する等、学び直しやリカレント教育の機会を充実させ、誰もが生涯にわたって意欲を持って学び、教養や能力を高め、活躍していく環境づくりに取り組む。

イ 県民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進

「社会参加活動支援センター」（総合社会教育センター内に設置）での取組やボランティア関係者の研修の実施及びネットワークの構築等により、県民一人ひとりの学習成果を生かした社会参加活動を支援する。

ウ 性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様なニーズに応じた生涯学習環境の充実と社会参加活動の促進

性別や年齢、障がい等の有無などに関わらない多様なニーズに応じた学びの機会や地域課題に応じた学習機会・学習情報の提供、学習相談等、生涯学習環境の充実及び社会参加活動の促進を支援する。

(4) 社会教育推進のための基盤整備

上記(1)～(3)の重点施策を実現するため、社会教育推進のための基盤整備に継続的に取り組む。

ア 社会教育推進体制の充実

青森県生涯学習審議会、青森県社会教育委員の会議による提言等に基づき施策の充実に努めるとともに、施策立案に資する調査研究を実施する。

イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進

県の社会教育施設（県立図書館、総合社会教育センター、県立少年自然の家）の機能の充実に努めるとともに、各市町村の公民館、図書館等社会教育施設についても、活用促進に向けて支援する。

ウ 社会教育関係職員等の養成と資質の向上

社会教育主事（社会教育士を含む。）、図書館司書、視聴覚教育に関わる職員等の養成と資質の向上を図る。

エ 社会教育関係団体等の活動の支援

県内の社会教育関係団体等が行う活動を支援する。

Ⅲ 令和7年度社会教育施策

1 「令和7年度社会教育行政の方針と重点」における施策・事業一覧

重 点	事業番号	令和7年度事業一覧	所管	掲載ページ	
(1) 学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成	1	社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業	《企画・地域》	P. 8	
	2	こどもの読書活動推進事業	《企画》	P. 8	
	ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進	3	いじめ防止キャンペーン推進事業	《企画》	P. 9
		4	特別支援学校における障がいに関する理解促進事業	《企画》	P. 9
	イ キャリア教育支援の仕組みづくりの推進	5	地域と学校とのパートナーシップ強化事業	《地域・企画》	P. 9
	ウ こどもの読書活動の充実	6	学校・家庭・地域連携協働推進事業	《地域》	P. 11
	エ 家庭教育支援体制の充実	7	あおもり家庭教育支援総合事業	《地域》	P. 12
	オ こどもの体験活動の推進	8	特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入事業	《地域》	P. 13
		9	高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業	《地域》	P. 13
		10	青森と自分の未来を“カタル”！「キャリアサポ」事業(再掲)	《社セ》	P. 14
		11	高校生スキルアッププログラム推進事業	《社セ》	P. 14
		12	青森で生きる未来人財育成事業（高校生地域活動促進事業）	《社セ》	P. 14
		13	あおもり家庭教育力向上事業	《社セ》	P. 15
		14	家庭教育支援動画等制作普及事業	《社セ》	P. 16
		15	家庭教育相談事業	《社セ》	P. 16
		16	地域に根ざしたキャリア教育推進事業	《社セ》	P. 16
		17	こどもの読書活動推進のための図書セット貸出事業	《図書》	P. 17
		18	県立梵珠少年自然の家主催事業	《梵珠》	P. 17
		19	県立種差少年自然の家主催事業（自然と遊ぼう、こどもの祭典）	《種差(指定)》	P. 20
		20	自然体験活動支援事業	《種差(指定)》	P. 21
		21	在学少年宿泊指導者研修	《種差(指定)》	P. 21
	22	親子で学ぶ防災キャンプ事業	《種差(指定)》	P. 21	
(2) 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成	23	社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)	《企画・地域》	P. 22	
	ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成	24	若者の社会参加促進事業	《企画・地域》	P. 22
		25	パワフルAOMORI！創造塾	《社セ》	P. 22
	イ 郷土に誇りを持ち、地域の次代を担う若者の育成	26	青森と自分の未来を“カタル”！「キャリアサポ」事業	《社セ》	P. 23

ウ 地域活動に関わる人材のネットワーク形成の支援	27	社会教育プレ団体サポート事業	《社セ》	P. 23	
	28	高校生スキルアッププログラム推進事業（再掲）	《社セ》	P. 24	
	29	青森で生きる未来人材育成事業（高校生地域活動促進事業）（再掲）	《社セ》	P. 24	
(3) 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進 ア 県民の学び直しやリカレント教育の推進 イ 県民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進 ウ 性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様なニーズに応じた生涯学習環境の充実と社会参加活動の促進	30	障がい者の生涯学習支援事業	《企画》	P. 25	
	31	特別支援学校における障がいに関する理解促進事業（再掲）	《企画》	P. 25	
	32	学習情報の収集・提供事業	《社セ》	P. 25	
	33	ボランティア担当職員研修講座	《社セ》	P. 25	
	34	青森県視聴覚ライブラリー運営事業	《社セ・指定》	P. 26	
	35	あおもり県民カレッジ運営業務	《社セ(指定)》	P. 26	
	36	インフォメーションプラザありすの運営	《社セ(指定)》	P. 27	
	37	読書バリアフリー推進事業	《図書》	P. 27	
	38	近代文学館 特別展開催事業	《図書》	P. 27	
	39	近代文学館 企画展開催事業	《図書》	P. 27	
	40	アウトリーチサービス推進事業	《図書》	P. 27	
	(4) 社会教育推進のための基盤整備 ア 社会教育推進体制の充実 イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進 ウ 社会教育関係職員等の養成と資質の向上 エ 社会教育関係団体等の活動の支援	41	生涯学習推進基盤整備事業（生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会）	《企画》	P. 28
		42	生涯学習・社会教育総合調査研究事業	《企画》	P. 28
		43	青森県社会教育委員の会議の運営	《企画》	P. 28
44		市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成	《企画》	P. 29	
45		社会教育主事有資格者育成派遣事業	《企画》	P. 29	
46		生涯学習専門講座派遣事業	《企画》	P. 29	
47		社会教育主事等一般研修	《企画》	P. 29	
48		在学青少年育成費補助事業	《企画》	P. 29	
49		社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業（再掲）	《企画・地域》	P. 29	
50		ボランティア担当職員研修講座（再掲）	《社セ》	P. 30	
51		生涯学習・社会教育関係職員研修講座	《社セ》	P. 30	
52		県立図書館資料整備	《図書》	P. 32	
53		市町村立図書館等職員研修事業	《図書》	P. 32	

【所管等凡例】

《企画》生涯学習課企画振興グループ 《地域》生涯学習課地域連携推進グループ 《社セ》県総合社会教育センター
《図書》県立図書館 《梵珠》県立梵珠少年自然の家
《社セ(指定)》県総合社会教育センター指定管理者事業 《種差(指定)》県立種差少年自然の家指定管理者事業

2 令和7年度の事業概要

(1) 学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成

- ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- イ キャリア教育支援の仕組みづくりの推進
- ウ こどもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援体制の充実
- オ こどもの体験活動の推進

県生涯学習課

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業 1,759千円

〔事業目的及び概要〕

様々な立場から社会教育活動を支援していく人財を育成し、地域の活性化を図り、市町村の社会教育主事等の資質・能力の向上を図るため、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等の地域ネットワークを活用した事業の企画・実践を支援するとともに、地元企業等と学校のネットワーク会議等を実施する事業である。

〔事業内容〕

(1) 社会教育主事の資質・能力向上と地域課題の解決【主管：中南教育事務所、三八教育事務所】

ア 地域課題解決スタートアップ研修会の開催

市町村の社会教育主事を始めとする社会教育関係職員(以下「社会教育主事等」という。)、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体、地域住民等が、域内の市町村における地域課題、地域素材等をもとに、地域の活性化を図る取組の方策について考えるワークショップを行い、実施可能な事業について検討する。

イ 事業の企画・実践【委託】

社会教育主事等、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等で構成される実行委員会が、多面的な視点で、地域に関わる課題を解決したり、地域の良さを生かしたりするための事業を企画する。また、地域ネットワークを効果的に活用し、地域人財の多様な視点を取り入れながら、企画した事業を実践する。

ウ 地域課題解決フォローアップ研修会の開催

「まとめ・環流」を目的に、実行委員会による実践発表及び事業成果を域内の市町村へ波及させるための意見交換等を行う。

(2) キャリア教育の推進【6地区 青森県教育支援プラットフォーム各地区実行委員会への事業委託】

ア 地元企業と学校のネットワーク会議の開催

学校、企業、教育支援プラットフォーム、地域学校協働本部等の関係者同士がお互いに「顔の見える関係」を築き、地域の未来を担う人財像を共有するため、各地区において会議を開催し、関係者同士による意見・情報交換を行う。

イ 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録及び登録企業の周知

各関係機関と連携して情報収集しながら、新たに「我が社は学校教育サポーター」に登録する企業を新規開拓する。また、「我が社は学校教育サポーター」に登録されている企業についての周知を学校等に対して行う。

ウ キャリア教育推進のためのコーディネート業務

地元企業・NPO等が実施している教育支援活動(出前授業・インターンシップ・体験活動等)に係る学校とのコーディネートを行う。

こどもの読書活動推進事業 3,102千円

〔事業目的及び概要〕

「青森県こども読書活動推進計画(第五次)」に基づき、「読書で広がる あおもりっこの未来」というキャッチフレーズの下、読書に親しみ、自主的に読書活動をするこどもたちを育てるため、不読率の低減、多様なこどもたちの読書機会の確保、デジタル社会に対応した読書環境の整備、こどもの視点に立った読書活動の推進に取り組む事業である。

【事業内容】

- (1) あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』
県内の中学生・高校生を対象に仲間や友だちなどに薦めたい本の紹介文を募集し、秀逸な作品を選び表彰するとともにホームページ等で紹介する。
- (2) こどもの読書活動推進大会の開催
広く県民がこどもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体でこどもの読書活動を推進する機運の醸成を図る。
○期日：12月上旬
○場所：HOCコネクト（八戸総合卸センター会館）
- (3) 青森県こども読書活動推進計画
青森県こども読書活動推進計画（第五次）周知のためのリーフレットを作成するとともに、こどもの読書活動推進計画の未策定・未改定市町村について、計画策定・改定が進むよう働きかける。
- (4) 啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」第7版の増刷・提供
乳幼児期からの家庭におけるこどもの読書活動の重要性に対する意識啓発を図るため、啓発小冊子（第7版）を希望する市町村等へ提供し、読み聞かせや保護者向け研修会等で活用してもらう。

いじめ防止キャンペーン推進事業 6,229 千円

【事業目的及び概要】

いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止を内容とした標語を募集し、その優秀作品を広告動画を通じて視聴者へ語りかけることにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う事業である。

【事業内容】

- (1) いじめ防止標語コンクール
小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集し、優秀賞6作品程度を選定する。
- (2) Web広告
いじめ防止標語コンクールの優秀賞作品を活用した動画を制作し、YouTube 広告、Instagram 広告、TikTok 広告にて配信する。

特別支援学校における障がいに関する理解促進事業 1,452 千円

【事業目的及び概要】

県立特別支援学校において、障がいのある児童・生徒を有する父母等が、こどもの健やかな成長のために、障がい児(者)の心理や行動について理解を深めたり、家庭における教育や卒業後の就労などについて必要な知識を習得したりするほか、県民を対象に特別支援学校の有する専門性を生かした公開講座を実施し、障がいに関する理解促進を図るための取組を行う。

【事業内容】

- 主管校：県立特別支援学校(20校)
- 開設時間：各4日間 10時間程度
公開講座を開設する場合には学習時間14時間程度
- 対象：障がいのある児童生徒の保護者、一般県民等
- 学習内容：児童生徒の心理や行動、障がい者の就労、福祉、体育及びレクリエーション、特別支援学校が有する専門性と公益性の高い分野に関すること

地域と学校とのパートナーシップ強化事業 5,508 千円

【事業目的及び概要】

これまでの取組を通じて形成されてきた人財や地域の活動団体等とのつながりを活かし、学校と地域のネットワークをより着実なものとして、地域学校協働活動の推進を図ることを目的として、学校と地域が互いの理解を深め、連携・協働を図りやすい環境の整備や、地域学校協働活動推進員等によるコーディネート機能の強化を促進し、地域全体で子どもたちの成長を支えていく体制を整備する事業である。

【事業内容】

- (1) 地域と学校の交流会

ア 地域活動者・企業が学ぶ場と情報交換会

「学校が望む地域との連携・協働」をテーマに、地域学校協働活動の先進事例等について学び、それぞれの取組などを情報交換して、学校との連携の在り方を模索する。

○対象：地域活動者、企業関係者、町内会関係者(地域住民)、市町村教育委員会職員等

○期日及び会場

西北地区 7/29(火) つがる市生涯学習交流センター「松の館」

下北地区 7/30(水) 下北文化会館

○講師：特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき

イ 学校と地域のネットワークづくり

学校関係者と、学校への協力を申し出ている企業や学校との連携を希望する地域活動者、町内会関係者等が一堂に会して交流を深め、互いの理解を促進する。(ワークショップ等で交流を図る。)

○対象：地域活動者、企業関係者、小・中・義務教育学校・県立学校教職員、地域学校協働活動推進員、市町村教育委員会職員、町内会関係者(地域住民)等

○期日及び会場

下北地区 9/30(火) 下北文化会館

西北地区 10/1(水) つがる市生涯学習交流センター「松の館」

○講師：特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき

(2) 市町村地域学校協働活動支援 ※コミュニティ・スクール(CS)についての情報提供も行う。

ア 地域学校協働活動研修

地域学校協働本部の整備や地域学校協働活動推進員の委嘱、CSの導入等について、中心的な役割をする市町村教育委員会担当者の理解を深めることも視野に入れ、教職員だけでなく、市町村教育委員会の担当者等も対象とし、CSと地域学校協働活動の一体的推進に係る文部科学省の動向、県内外の先進事例等を学ぶ研修会を開催する。

地区	期日	会場	講師
東青	7/29(火)	県総合社会教育センター	朝倉 美由紀
西北	8/18(月)	つがる市生涯学習交流センター「松の館」	朝倉 美由紀
中南	7/4(金)	弘前市立中央公民館相馬館長慶閣	安齋 宏之
上北	7/28(月)	東北町北総合運動公園トレーニングセンター	井上 尚子
下北	8/19(火)	むつ市中央公民館	朝倉 美由紀
三八	9/2(火)	南部町総合保健福祉センターゆとりあ	安齋 宏之

○対象：市町村教育委員会職員、指導主事、社会教育主事、社会教育士、小・中・義務教育学校・県立学校教職員、地域学校協働活動推進員、学校運営協議会委員等

○講師：ふくしま学校と地域の未来研究所 代表 安齋 宏之(CSマイスター)

一般社団法人S.PLACE 代表理事 井上 尚子(CSマイスター)

明星大学教育学部教育学科 特任教授 朝倉 美由紀(CSマイスター)

イ 市町村地域学校協働活動相談支援

地域学校協働本部の未整備、既整備を問わず、安定的な地域学校協働活動推進のために、市町村の本部整備や地域学校協働活動推進員配置、これらの有効な利用について、課員や統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員が相談対応するほか、先行市町村等との仲介をして、課題解決のためのサポートを行う。

○実施方法：対面、オンライン(市町村の要望による。)

(3) モデル県立学校への地域学校協働活動推進員配置

学校運営協議会を設置している県立学校のうち3校にモデル校として推進員を配置し、県立学校におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進及び教職員の働き方改革への効果等について、検証を行う。

- ・モデル校：県立森田養護学校、県立八戸高等支援学校、県立黒石高等学校
- ・生涯学習課員等による指導、助言等を行う。
- ・地域学校協働活動推進委員会(地域学校協働活動推進事業(県事業)内)で、外部有識者等を交えて活動成果等の検証を行う。
- ・検証結果をとりまとめて令和7年度に報告会を開催し、県全体で情報を共有する。
- ・推進員への謝金等は、「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助」(文科省)の対象となる。

(4) 県立高等学校CS導入促進

県立高等学校教職員を対象とした研修会を開催し、体制の構築や先進事例等について学び、CS導入に向けて理解促進を図る。

- 対象：県立学校教職員（管理職、地域連携を担当する教員等）
- 期日：11/25(火)
- 会場：県総合社会教育センター
- 講師：青少年と家族の未来研究所 代表 増淵 広美（元CSマイスター）

学校・家庭・地域連携協働推進事業	42,143千円
-------------------------	-----------------

1 地域学校協働活動推進事業(県事業)	2,473千円
----------------------------	----------------

[事業目的及び概要]

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することを目的とし、継続的・安定的に実施する体制づくりを支援する事業である。

[事業内容]

(1) 会議の開催

県内における地域学校協働活動の推進について総合的な在り方や、児童の放課後対策の諸問題について協議するとともに、市町村担当者を対象とした連絡会議を開催し、地域学校協働活動及び放課後児童対策の推進を図る。

ア 地域学校協働活動推進委員会

- 構成：学識経験者、学校教育関係者、PTA関係者、社会教育関係者、行政関係者、福祉関係者等 15名程度

イ 放課後児童対策に係る市町村担当者連絡会議

- 対象：市町村放課後児童対策担当者(社会教育主管課及び福祉部局)

(2) 研修の実施

ア 地域学校協働活動推進のための研修【主管：県総合社会教育センター】

- 目的：地域学校協働活動の推進に向けて、地域と学校が協働する仕組みづくりに関わる市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図る。

- 期日及び場所：6/6(金) 県総合社会教育センター

- 対象：市町村教育委員会担当者、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター等

イ 放課後児童対策に係る支援員等研修会【主管：各教育事務所】

- 目的：放課後児童対策の事業等に関わる地域人財を対象に、学習・体験活動等の企画・実施方策、安全管理方策等の資質向上を図るための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を図るため、合同の研修会を開催する。

- 期日：前後期各1日

地区	前期	後期
東青	6/10(火)	9/10(水)
西北	5/30(金)	10/3(金)
中南	7/11(金)	9/22(月)
上北	6/9(月)	10/29(水)
下北	6/20(金)	10/9(木)
三八	6/3(火)	10/9(木)

- 対象：地域学校協働活動推進員等、協働活動リーダー、協働活動サポーター、特別支援・共生社会サポーター、放課後児童支援員等

(3) 統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員の配置

県内の地域学校協働活動を推進するため、統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員(地域学校協働活動コーディネータアドバイザー)を配置し、市町村教育委員会との連絡調整、地域学校協働活動の理解促進、情報提供等を行う。

2 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助	39,670千円
------------------------------	-----------------

[事業目的及び概要]

市町村が行う地域学校協働活動の推進に要する経費について、県が補助を行う事業である。

〔事業内容〕

地域学校協働活動(放課後子供教室を含む。)の取組を行う市町村(中核市を除く。)に補助金を交付する。

【国庫補助 1/3、県補助 1/3、市町村負担 1/3】

予定 20 市町村、地域学校協働本部 28 本部、放課後子供教室 71 教室

平内町 今別町 外ヶ浜町 五所川原市 つがる市 鱒ヶ沢町 鶴田町 中泊町
弘前市 平川市 大鰐町 十和田市 三沢市 おいらせ町 横浜町 むつ市
風間浦村 佐井村 三戸町 五戸町

あおもり家庭教育支援総合事業 2,514 千円

〔事業目的及び概要〕

社会や家庭を取り巻く状況の変化に伴い、家庭教育が一層困難になっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育ができることを目的として、今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するための協議を行い、地域全体で家庭教育を支援していく機運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの機会の充実や支援のネットワークづくり等を行う事業である。

〔事業内容〕

(1) 青森県家庭教育支援推進協議会の開催

今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するため、本県の家庭教育支援事業(学習機会の提供や支援者の活動を推進する研修等)について協議する。

○構成：有識者、家庭教育支援者など 10 名以内

○回数：年 3 回

(2) 家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム」の作成・周知

家庭教育の学習を推進するため、「あおもり家庭教育アドバイザー」が活用する家庭教育の学習テキストを作成する。また、「あおもり親楽プログラム」の活用促進を図るためのリーフレットを関係各所へ配布する。

○体裁：A4判小冊子「改訂版あおもり親楽プログラム」1・2・3 の増刷

(3) 青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会の開催

社会全体で家庭教育を支援するため、家庭教育支援に関わる方々が一堂に会し、家庭教育の今日的な課題等について学習するとともに、市町村職員及び家庭教育支援関係者等のつながりを深める研修会を開催する。

○期日：9/4(木) 中南地区

9/5(金) 下北地区

○対象：市町村教育委員会家庭教育担当者、家庭教育支援チーム、家庭教育支援・子育て団体関係者、あおもり家庭教育アドバイザー、市町村児童福祉担当者、幼稚園・保育所・こども園職員、小・中・義務教育学校・高等学校及び特別支援学校教職員、SC・SSW、PTA関係者、家庭教育支援に携わっている方、家庭教育支援に興味のある方等

○講師：郡山家庭教育を支援する会 圓谷 円

(4) あおもり家庭教育応援フォーラムの開催

地域が一体となって子どもたちを育むことについて学びを深める講演会及び様々な家庭教育支援に関する情報提供等を通して、家庭教育についての理解と認識を深め、地域全体で家庭教育を支援する意義や必要性についての普及・啓発を行う。

○期日：10/26(日)

○場所：アピオあおもり

○対象：子育てに悩んでいる親、家庭教育・子育てに興味関心のある県民

○講師：(公社)チャンス・フォー・チルドレン 代表理事 今井 悠介

(5) 地域の家庭支援を目指した多世代・参加型研修会の開催(県地域婦人団体連合会へ委託)

地域の子どもからシニアまでの多世代を対象とした、気軽に参加・交流できる生涯スポーツ的なレクリエーション体験や食育等の学ぶ機会を提供し、地域の家庭支援の土台となる全世代の健康増進や交流・活性化に寄与する研修会を実施する。

○対象：子どもからシニアまでの幅広い世代、家庭教育支援に興味のある方等

○回数：年 1 回×2 地区(県内 6 地区から適宜選定する予定)

(6) 読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成(県読書団体連絡協議会へ委託)

幼稚園や小学校等で実施される読み聞かせ研修会等で講師を担当する「親子ふれあい読書アドバイザー」を養成するため、県内6地区で研修会を開催する。

○対象：教職員や保護者、放課後子供教室・児童クラブ関係者、学校のボランティア関係者等読み聞かせに興味がある県民

○回数：年1回×6地区

特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入事業 3,622千円

【事業目的及び概要】

全国的に拡充している特別支援学校へのコミュニティ・スクールの導入について、県内全ての県立特別支援学校に設置し、学校運営協議会制度の仕組みを生かした学校と地域の連携・協働体制の構築を目指す事業である。

【事業内容】

○導入校：県立特別支援学校全20校

(1) 各校における学校運営協議会の実施

○学校運営協議会委員を10名以内で任命

○年4回程度の実施

○場所、日時は各学校で設定

○年度末に学校運営協議会活動状況報告書を提出

(2) コミュニティ・スクール連絡会議(特別支援学校)の実施

○対象：県立特別支援学校関係教職員

○期日：9月上旬(予定)

○実施方法：オンライン

○内容：生涯学習課からの情報提供、各校の取組に係る情報提供(事例紹介、質疑応答)、運営上の課題等に係る意見交換

高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業 3,433千円

【事業目的及び概要】

全国的に拡充している県立高等学校へのコミュニティ・スクールの導入について、その実施モデル校での取組効果等を踏まえ、学校運営協議会制度の仕組みを生かした学校と地域の連携・協働体制の構築を目指す事業である。

【事業内容】

○導入校：県立高等学校(22校)

・既導入校：青森西、弘前、弘前南、鱈ヶ沢、黒石、百石、大湊、大間、十和田工業、八戸水産、三沢商業、八戸中央、尾上総合高等学校(13校)

・新規導入校：青森北、八戸、八戸東、八戸西、野辺地、六ヶ所、三戸、名久井農業、北斗高等学校(9校)

(1) 各校における学校運営協議会の実施

○学校運営協議会委員を10名以内で任命

○年4回程度の実施

○場所、日時は各学校で設定

○年度末に学校運営協議会活動状況報告書を提出

(2) コミュニティ・スクール連絡会議(高等学校)の実施

○対象：コミュニティ・スクール導入校(県立高等学校)関係教職員

○期日：9月上旬(予定)

○実施方法：オンライン

○内容：生涯学習課からの情報提供、各校の取組に係る情報提供(事例紹介、質疑応答)、運営上の課題等に係る意見交換

県総合社会教育センター

青森と自分の未来を“カタル”！「キャリアサポ」事業(再掲)

(P23 (2)地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成に掲載)

高校生スキルアッププログラム推進事業 321千円

〔事業目的及び概要〕

学校外学修への積極的な取組とレポート作成によって、高校生の知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図ることを目的とする事業である。

〔事業内容〕

- (1) 高校生スキルアッププログラム(スキルアップ認定証・奨励証の交付)の運営
- (2) 担当者説明会の実施
- (3) 評価サービス
- (4) 県民カレッジとの連携

青森で生きる未来人財育成事業(高校生地域活動促進事業) 997千円

〔事業目的及び概要〕

青少年の自己肯定感や主体性を高めることを目的として、高校生を県内各地で行われる地域活動に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- (1) オンライン講座の実施

異年齢交流等の多様な体験活動実施のため、様々なボランティア活動について扱う講座を実施。なお、講義は事前収録し、オンライン配信する。

	内容・講師
1	テーマ：「ボランティア活動」 日本赤十字社青森県支部 事業推進課 主事 岩井 雄太郎
2	テーマ：「ボランティア活動の実際」 弘前大学人文社会科学部 教授 弘前大学地域創生本部ボランティアセンター長 李 永俊

- (2) 対面講座の実施

高校生同士のネットワーク形成や地域における実践活動の体験のため、当該地区及び近隣地区の高校生を対象に、県内3地区において講座を実施。2年で全6地区を一巡する。

	実施日時	場所	内容・講師	定員
1	7/13(日) 10:00～12:00	五所川原市地域福祉センター	テーマ：「子育て支援ボランティア」 family café あづま〜る 代表 藤林 秀	30名
2	7/19(土) 10:00～12:00	弘前市運動公園陸上競技場	テーマ：「スポーツボランティア」 株式会社ブランデュー弘前 代表取締役 西澤 雄貴	30名
3	7/26(土) 10:00～12:00	コミュニティカフェハピたのかふえ	テーマ：「地域とともに働くボランティア活動」 十和田NPO子どもセンター・ハピたの 代表理事 中沢 洋子	30名

- (3) 地域活動への派遣

ア 対象：市町村及びボランティア団体等

イ 内容：多様な地域活動（学習支援、レクリエーション、イベント補助、異年齢交流等の体験活動等）

あおもり家庭教育力向上事業 988千円
【事業目的及び概要】

地域における家庭教育支援体制を整備することを目的として、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催し、子育てを応援する人材を育成・活用する事業である。

【事業内容】
(1) あおもり家庭教育アドバイザー養成講座

ア 場所：県内2地区(西北地区/三八地区)

イ 定員：各30名

ウ 対象：家庭教育支援者を目指す人及び活動中の人、家庭教育支援に関心のある人、市町村の家庭教育担当者等

エ 内容：今日的な家庭教育支援の現状について、講義・演習形式で学ぶ。

回	期日・地区	内容・講師
1	6/12(木)・三八	開講式・オリエンテーション 講義「家庭教育支援者の役割・心構え」 特定非営利活動法人十和田NPO子どもセンター・ハピたの 代表理事 中沢 洋子
	6/17(火)・西北	
2	7/10(木)・西北	講義「子どもの気持ちを理解するために」 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 教授 差波 直樹 演習「あおもり親楽プログラムⅠ」 県総合社会教育センター 職員
	7/16(水)・三八	
3	8/20(水)・三八	講義・演習 家庭教育支援チーム・子育て支援団体等見学 三八地区 特定非営利活動法人はちのへ未来ネット こどもはっち 代表 平間 恵美 西北地区 認定こども園育実幼稚園 理事長 平田 昌子
	8/27(水)・西北	
4	9/12(金)・西北	講義「気になる子どもの理解と対応」 青森県発達障がい者支援センター「Doors」 センター長 分枝 篤史 演習「あおもり親楽プログラムⅡ」 県総合社会教育センター 職員
	9/18(木)・三八	
5	10/15(水)・三八	講義「今、親が悩むこと」 岩手大学人文社会科学部 准教授 萩臺 美紀 演習「あおもり親楽プログラムⅢ」 県総合社会教育センター 職員
	10/31(金)・西北	
6	11/12(水)・三八	演習「あおもり親楽プログラムⅣ」 県総合社会教育センター 職員 閉講式
	11/19(水)・西北	

(2) あおもり家庭教育アドバイザースキルアップ研修

ア 期日：9/28(日) 10:00～12:15

イ 対象：あおもり家庭教育アドバイザー

ウ 会場：県総合社会教育センター

エ 内容：講義・演習

内容
[講義]「本県の家庭教育を取り巻く現状と課題、今後の家庭教育支援の在り方について」 県総合社会教育センター 教育活動支援課長
[演習]「あおもり親楽プログラムⅠ」 あおもり家庭教育アドバイザー
[演習]「あおもり親楽プログラムⅡ」 県総合社会教育センター職員

(3) あおもり家庭教育アドバイザーの活用

ア アドバイザー登録情報の管理

イ アドバイザー派遣

家庭教育支援動画等制作普及事業 3,687 千円**〔事業目的及び概要〕**

子育てについて気軽に学べる機会を増やすため、子育てに対する不安や悩みを解決する糸口となる情報を発信し、周知を図ることにより、家庭教育を支援する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 家庭教育支援動画等の制作
- (2) 家庭教育支援動画等の配信
- (3) あおもり子育てネットの活用・普及啓発

家庭教育相談事業 831 千円**〔事業目的及び概要〕**

子育て中の不安や悩みを軽減するため、乳幼児から高校生までの子をもつ保護者やその家族を対象に、電話・メール等により、寄り添い型の家庭教育相談を行う。

〔事業内容〕

- (1) 対象：乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族
- (2) 実施方法：電話相談・週3回 月・水・木曜日(祝日・年末年始を除く)13:00～15:00
メール相談・24時間受付
- (3) 場所：県総合社会教育センター電話相談室
- (4) 対応内容：発育・発達、しつけ、対人関係などのこどもに対する悩みや家庭教育全般について
- (5) 相談体制：家庭教育相談員が対応

地域に根ざしたキャリア教育推進事業 790 千円**〔事業目的及び概要〕**

企業・NPO・各種団体・地域住民等の関係者が、学校において行われるキャリア教育について相互に理解を深め、地域のこどもたちに郷土への愛着と誇りを持たせることを目的として、地域に根ざしたキャリア教育が推進されるための環境整備を進める事業である。

〔事業内容〕

- (1) 地域と学校をつなぐキャリア教育研修会
 - ア 期日・場所：東青地区 9/4(木) 外ヶ浜町立蟹田中学校
上北地区 11/5(水) 十和田市立大深内中学校
 - イ 対象：企業・NPO・各種団体・地域住民(P T A含む)、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)等
※学校関係者(市町村教育委員会、近隣学校の教職員等)も参加可
- (2) 地域に根ざしたキャリア教育推進フォーラム
 - ア 期日：10/24(金)
 - イ 場所：県総合社会教育センター
 - ウ 対象：企業・NPO・各種団体・地域住民(P T A含む)、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)等
 - エ 内容：開会(あおもりキャリア教育応援企業の表彰式あり)、講演、閉会行事、意見交換会
 - オ 講師：大正大学 地域創生学部 教授 牧野 篤
- (3) 「我が社は学校教育サポーター」の運営全般
 - ア 「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの管理・運営
 - イ 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録
 - ウ 学校からの依頼に対する仲介

県立図書館

こどもの読書活動推進のための図書セット貸出事業

〔事業目的及び概要〕

こどもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に対して、幼児・児童・生徒用の図書セットを貸出する事業である。

〔事業内容〕

(1) 市町村内巡回図書セット貸出サービス

「朝の読書」活動や読み聞かせ等に使える図書をセットにし、市町村立図書館等を経由して、小・中学校、義務教育学校、幼稚園・保育所等に貸出する。

(2) 学習支援セット貸出サービス

調べ学習等に使える図書を32のテーマごとにセットにし、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に貸出する。

(3) ミニセット貸出サービス

全国的なイベント等に対応した展示に使える図書をセットにし、市町村立図書館等(一部、高等学校・特別支援学校を含む。)に貸出する。

県立梵珠少年自然の家

県立梵珠少年自然の家主催事業 1,805千円

(1) 看板事業

〔事業目的及び概要〕

小・中・義務教育学校の児童生徒の幅広い年代の「こども」を対象に、豊かな自然環境の中で行う野営・野外炊事などの様々な自然体験活動を通して、基本的生活習慣や仲間と協力しようとする態度を育んでいく事業である。

〔事業内容〕

事業名	期 日	対 象	募集人員	内 容
9歳アドベンチャーキャンプ	① 7/12(土)～ 7/13(日) ② 10/11(土)～ 10/12(日) 【1泊2日】	小学 3年～4年、 義務教育学校 3年～4年の 児童	各回 36名	野外活動(アドベンチャーゲーム、梵ファイヤー)、野外炊事、思い出クラフト、館内シュラフ泊など
夏のチャレンジキャンプ	8/7(木)～ 8/10(日) 【3泊4日】	小学5年～ 中学3年、 義務教育学校 5年～9年の 児童生徒	36名	野外活動(登山、ラフティング、梵ファイヤー)、テント泊、野外炊事、外食・食材買い出し、思い出クラフトなど
冬の3days キャンプ	1/9(金)～ 1/11(日) 【2泊3日】	小学4年～ 中学2年、 義務教育学校 4年～8年の 児童生徒	30名	かまくら基地作り、炊事、チューブそり遊び、思い出クラフト、館内泊など
7歳わんぱくキャンプ	2/14(土)～ 2/15(日) 【1泊2日】	小学 1年～2年、 義務教育学校 1年～2年の 児童	30名	スノーランド作り・遊び、雪上運動会、炊事体験、思い出クラフト、館内泊など

(2) 養成事業

【事業目的及び概要】

当施設利用団体の引率者や高校生・大学生などを対象に、豊かな自然環境の中で行う活動プログラムや自然体験活動を安心・安全に実施するための研修やセミナー、講座等の開催を通して、自然体験活動の指導者及びボランティアを養成する事業である。

【事業内容】

事業名	期 日	対 象	募集人員	内 容
施設利用団体事前打合せ研修	(全体会) 4/15 (火) (個別研修会) 利用日の14日前 までに実施	令和7年度利 用予定団体 の引率者	全体会 は希望 者のみ 個別研 修会は 必須	(全体会)講義、説明、活動プログラ ム体験 (個別研修会)引率者との打合せ、 施設内一巡、活動プログラムの事 前指導など
自然体験活動 ぼんじゅボランティア セミナー 【必修】 ・入門セミナー 【選択】 ・春を楽しむサン day ・ファミリーS キャンプ ・9歳アドベンチャーC① ・ネイチャークラブ① ・夏のチャレンジキャンプ ・ネイチャークラブ② ・9歳アドベンチャーC② ・ぼんじゅフェスタ ・ネイチャークラブ③ ・冬クラフト day ・ウィンタースクール ・冬の3days キャンプ ・冬ホワイト day ・7歳わんぱくキャンプ 【任意】 ・ふりかえりセミナー	実施日は各事 業を参照 ※入門セミナー 5/10 (土) ※ふりかえり セミナー 3/7 (土)	高校生及び 大学生	定員は 各事業 により 異なる	ボランティアに登録後、必修の 「入門セミナー」を受講し、選択 事業の中から最低1つは選択して 受講してもらう。なお、「ふりかえ りセミナー」は選択には入れず任 意参加とする。 活動内容は、事業によって以下 のように異なる。 【看板・学習生活習慣支援事業】 ・担当グループの活動・生活支 援 ・実践企画の運営 (アイスブレ イクなど) ・キャンプ等の野外活動におけ る基本的な知識や技術の習得 【親子事業】 ・担当ブースの運営 ・参加者への活動支援等 ・各プログラムの準備や片付け 等、スタッフ補助
ぼんじゅ出前講座	通年実施 【各回即日】 ※直接指導は11 月～3月のみ 対応、その他 の月は間接指導	小・中・義務 教育学校、各 種学校、青少 年教育団体、 幼児施設等	特に定 めない	対象の団体が開催する各種行事 や事業において、直接指導又は間 接指導を行う。 なお、派遣職員の旅費は無料と し、活動材料費や用具運搬費は団 体の負担とする。

(3) 親子事業

【事業目的及び概要】

小・中・義務教育学校の児童生徒を含む保護者とその家族、いわゆる「親子」を対象に、豊かな自然環境の中で行う自然に親しむための体験活動や創作活動などを通して、家族のふれあいや絆を深める機会を提供する事業である。

【事業内容】

事業名	期日	対象	募集人員	内容
春を楽しむサン day	4/26 (土)	小・中・義務教育学校の児童生徒を含む保護者とその家族	定員なし (自然観察のみ20家族)	春の自然観察、野外炊事体験、創作活動など
ファミリー スプリングキャンプ	5/24 (土) ~ 5/25 (日) 【1泊2日】		24 家族	テント泊、野外炊事(ダッチオープン・スキレット料理)、野外活動・創作活動(選択制)など
自然体験 ぼんじゅフェスタ	10/26 (日)		定員なし ※各体験ブースによっては定員あり	館内食体験、野外炊事体験(ダッチオープン、スキレット、せんべい焼きなど)、野外活動体験(遊びリンピック、自然ふれあいコーナーなど)、創作活動体験(本格リース作り、創作活動プログラムなど)、その他(セルフカフェなど)
冬をいろどる クラフト day	12/6 (土)		各時間帯で20家族 ※4回の時間帯で実	正月用クラフト(ミニ門松、羽子板、絵馬など)とクリスマス用クラフト(クリスマスガーランドなど)から選択
冬を楽しむ ホワイト day	1/31 (土)		30 家族	野外活動①(雪像づくりなどから選択)、館内炊事体験(恵方巻など)、野外活動②(チューブそり遊び・スノーランド遊びなど自由に体験)

(4) 学習・生活習慣支援事業

【事業目的及び概要】

小・中・義務教育学校の児童生徒の「こども」を対象に、豊かな自然環境の中での体験活動を行いながら主体的に学んだり、規則正しい生活を送ったりする活動を通して、その後の学校・家庭生活に役立てていこうとする基礎的態度を育んでいく事業である。

事業名	期日	対象	募集人員	内容
ぼんじゅネイチャー クラブ	① 7/26 (土) ② 8/30 (土) ③ 11/ 8 (土)	小学 3年~6年、 義務教育学校 3年~6年の 児童	各回 20名	① 昆虫採集と観察 ② 水生生物の採取と観察 ③ 秋の自然観察、リース作り
ぼんじゅウィンター スクール	12/23 (火) ~ 12/25 (木) 【2泊3日】	小学4年~ 中学2年、 義務教育学校 4年~8年の 児童生徒	20名	学習タイム、館内食、歯みがきタイム、野外活動タイム(雪灯籠作り、雪上運動会など)、フリータイム、館内泊など

県立種差少年自然の家

県立種差少年自然の家主催事業(自然と遊ぼう、こどもの祭典)

1,860千円

〔事業目的及び概要〕

年長児・小・中・義務教育学校の児童生徒が自然の中で家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましいこどもを育てることを目的として、種差少年自然の家周辺の山野や海での自然体験活動や創作活動、キャンプ活動などの学習機会の提供をする事業である。

〔事業内容〕

(1) 自然と遊ぼう

活動名	期 日	対 象	募集 定員	内 容	
たねさしワールド 「春を感じて」	5/11(日)	年長児・ 小・中・義 務教育学校 の児童生徒 とその保護 者	100名	春の自然を楽しもう ・潮風トレイルウォーク、創作活動 他	
たねさしワールド 「エンジョイ! 海遊び」①②③④ ※4回開催	6/28(土)		100名	海で思いっきり遊ぼう ・いかだやカヌー遊び、サンドクラフト、 磯遊び 他	
	6/29(日)		100名		
	9/6(土)		100名		
	9/7(日)		100名		
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/19(日)		100名	秋の自然を楽しもう ・里山散策、創作活動 他	
たねさしワールド 「冬の季節を感じ て」 ※2回開催	12/6(土)		50名	・ミニしめ飾りをつくろう	
	12/7(日)		50名		
たねさしワールド 「エンジョイ! 雪遊び」①② ※2回開催	1/31(土)		4歳以上の 幼保・小・ 中・義務教 育学校の児 童生徒とそ の保護者	100名	冬の自然を楽しもう ・スノーチューブすべり、そりすべり、 せんべい焼き、たこ揚げ 他
	2/1(日)		100名		
たねさしワールド 「こども大作戦」 ①② ※2回開催	2/21(土) ～22(日)	小・義務教 育学校 3年～4年	40名	こどもだけでとまってみよう ・仲間づくり、創作活動、自然体験活動 他	
	3/7(土) ～8(日)	小・義務教 育学校 1年～2年	40名		

(2) こどもの祭典

事業名	期 日	対 象	募集 定員	内 容
おいでよ! サマーキャンプA	7/26(日) ～27(水)	小学5年～ 中学3年、 義務教育学 校5～9年	30名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・ナイトハイク ・山や海での活動 他
おいでよ! サマーキャンプB	8/9(土) ～10(日)		30名	
わくわくどきどき ウインターキャン プ	12/24(水) ～26(金)		20名	

自然体験活動支援事業 262 千円**〔事業目的及び概要〕**

学校や公民館、児童館、放課後児童クラブなどの身近な施設内外の活動場所で、こどもたちに自然体験活動やニュースポーツ活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に出向いて自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の実地支援を行う。また、自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の指導者の資質能力の向上を目的として、小・中学校等の教職員及び青少年団体指導者、市町村社会教育関係者等の指導職員を対象に行う研修事業である。

〔事業内容〕

事業名	期 日	対 象	募集定員	内 容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10～3月 *6～9月は原則として実施なし	三八、上北管内の小・中・義務教育学校、児童館、公民館、放課後児童クラブ、青少年団体や成人団体 等	1団体 10名 以下可	・種差少年自然の家のプログラムの中で出前対応可能なもの (せんべい焼き、フォトフレーム、どんぐりアート、たねさし芝っこぞう、たねさし万華鏡、ミニ門松 他)
自然体験活動 研修会	5/24(土) ～25(日)	幼保・小・中・義務教育学校教員、高校・大学生、児童館など関係機関の指導者、その他自然体験活動に興味のある方	30名	・野外炊事や創作活動等のプログラムの実習 ・自然体験活動にかかわる実習 ・危機管理対応訓練 他

在学少年宿泊指導者研修**〔事業目的及び概要〕**

種差少年自然の家を利用する小・中学校・義務教育学校及び特別支援学校の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

○期日：4/24(木)～25(金)

○場所：種差少年自然の家

○対象：令和7年度利用小・中・義務教育学校及び特別支援学校の引率教員

〔事業内容〕

○講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方

○実習：活動プログラムの実習(野外、自然、創作活動、夜の活動)、施設等の利用方法

○演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認事項

親子で学ぶ防災キャンプ事業 220 千円**〔事業目的及び概要〕**

種差少年自然の家を避難所とし、避難場所の整備・運営を体験することによって、自然災害時における実践的な防災力・減災力を育むことを目的として、小・中・義務教育学校の児童生徒とその家族及び小・中・義務教育学校の教員を対象に行う研修事業である。

〔事業内容〕

事業名	期 日	対 象	募集定員	内 容
親子の絆 「防災キャンプ」	9/27(土) ～28(日)	小・義務教育学校3年生以上と保護者、防災に関心のある方	10組 30名	親子キャンプで防災力、減災力を身に付けよう ・避難所体験 ・非常食の炊事体験 ・AED講習 ・防災グッズ作り 他

(2) 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 郷土に誇りを持ち、地域の次代を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

県生涯学習課

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)

(P8 (1)学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成に掲載)

若者の社会参加促進事業 688 千円

[事業目的及び概要]

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える若者の社会参加を促進することを目的として、ボランティア・就労体験や自然体験活動を実施する事業である。

[事業内容]

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりのきっかけを求めている16歳～概ね40歳の若者を対象に、自然体験・交流塾を、種差少年自然の家及び梵珠少年自然の家等にてそれぞれ3回ずつ実施する。

(1) 自然体験・交流塾

ア 第1回【体験活動を通じた交流会】

- 期日：[梵珠会場] 7/5(土) [種差会場] 7/19(土)
- 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
- 内容：野外炊事、創作活動 等

イ 第2回【自然体験活動】

- 期日：[梵珠会場] 9/6(土) [種差会場] 9/20(土)
- 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
- 内容：自然体験活動、創作活動 等

ウ 第3回【ボランティア・就労体験】

- 期日：[梵珠会場] 1/24(土) [種差会場] 2/14(土)
- 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
- 内容：ボランティア・就労体験、創作活動 等

(2) 自然体験・交流塾協力団体等連絡会議

会場ごとに、第1回自然体験・交流塾開催前と第3回自然体験・交流塾終了後、支援団体等により参加者の情報共有をするとともに、成果と課題、活動内容等について話し合う。

県総合社会教育センター

パワフルAOMORI! 創造塾 841 千円

[事業目的及び概要]

地域づくりの担い手となる人財を育成するとともに、育成した人財相互及び地域活動に関わる関係者等のネットワーク形成を促進することを目的として、活力ある持続可能な地域づくりに係る講義・演習等を行う事業である。

[事業内容]

- (1) 期日：第1回講座 7/19(土)
- 第2回講座 8/23(土)
- 第3回講座 9/27(土)
- 第4回講座 10/18(土)
- 第5回講座 11/ 8(土)
- 第6回講座 12/ 6(土)

(2) 場所：県総合社会教育センター、TSURUTA LABO(第2回講座)、種差海岸(第4回講座)

(3) 対象：青森県在住(18歳以上)、地域を元気にしたいという想いのある方、ネットワーク形成に協

力できる方、1年間を通じて参加できる方

- (4) 募集人数：20名程度
- (5) 受講料：無料(但し、交通費や通信費は自己負担)
- (6) 内容：講師による講義、フィールドワーク、演習(アクションプラン作成、アクションプラン発表会)、情報交換会

青森と自分の未来を“カタル”！「キャリアサポ」事業 1,593千円

【事業目的及び概要】

ふるさとに誇りをもち、主体的に行動できる若者を育成するため、研修によって、一定のスキルを身につけた大学生が高校生等と将来について語り合うワークショップを開催し、双方のキャリア形成を図る事業である。

【事業内容】

- (1) ワークショップの実施
 - ア 高校生対象ワークショップ
 - (ア)時期：夏期・・・8月下旬から9月下旬、冬期・・・1月下旬～3月上旬
 - (イ)対象：青森県内の高等学校7校(県立・私立を問わない)
 - イ 中学生・義務教育学校7～9年生対象ワークショップ
 - (ア)時期：夏期・・・8月下旬から9月下旬
 - (イ)対象：青森県内の中南、西北、三八の各教育事務所から推薦を受けた中学校・義務教育学校3校
- (2) 研修
 - ア 基礎研修
 - (ア)基本研修：コミュニケーション、コーチング、ファシリテーション、青森の魅力に関する事項を学ぶ研修(青森地区、弘前地区にて開催、参加大学生合計200名)
 - (イ)ワークショップ演習：演習を通じ、気持ちや考えを引き出すための方法の研修(基本研修と同時開催)
 - (ウ)合同リハーサル研修：ワークショップ運営の一連の流れを確認し、企画のポイントなどを確認する研修(ワークショップ開催前に実施校ごとに行う)
 - a 時期：8月、1月
 - b 回数：3回
 - c 対象：基礎研修を修了した大学生
 - イ 応用研修

ワークショップの企画・運営に必要なマネジメント力や運営ノウハウを学ぶ研修(10月、3月に各1回、対象は基礎研修参加者のうち希望する大学生)
 - ウ 企画運営会議

大学生の代表者による、ワークショップの企画内容や運営についての意見交換(時期：5月、9月、3月に各1回を予定)

社会教育プレ団体サポート事業

【事業目的及び概要】

若者の自主的・主体的な社会参加活動を促進するため、社会参加活動を行うに当たり、支援を要する若者主体の団体を「社会教育プレ団体」と認定し、活動を支援することにより、団体の自立的・持続的活動につなげる。

【事業内容】

- (1) 活動の支援
 - ア 条例別表に掲げる施設を使用する場合の使用料の減免
 - イ 団体が事業等を開催する場合の、センターの協力名義の使用承認
 - ウ センター関連事業(生涯学習フェア等)における発表機会の提供
 - エ センターの各種媒体による広報
 - オ センター職員(社会教育主事等)による指導・助言
 - カ センターが主宰する研修講座、事業等の情報提供
 - キ 認定団体による情報交換・交流会の開催
- (2) 団体の認定

高校生スキルアッププログラム推進事業(再掲)

(P14 (1)学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成に掲載)

青森で生きる未来人財育成事業(高校生地域活動促進事業)(再掲)

(P14 (1)学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成に掲載)

(3) 人生 100 年時代の学び直しや生涯学習の推進

- ア 県民の学び直しやリカレント教育の推進
- イ 県民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進
- ウ 性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様なニーズに応じた生涯学習環境の充実と社会参加活動の促進

県生涯学習課

障がい者の生涯学習支援事業 1,132 千円

〔事業目的及び概要〕

特別支援学校卒業生の自立と社会参加を支援し社会性の向上を目指すことを目的として、集団学習や趣味の講座、障がい者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

〔事業内容〕

- 場所：県立特別支援学校(15校)
- 時間：各3日間 8時間程度
- 対象：障がいのある青年等
- 内容：(1) 社会参加学習
(一般教養の向上、職業生活、日常生活を豊かにすること、障がい者の福祉)
- (2) スポーツ体験交流

特別支援学校における障がいに関する理解促進事業(再掲)

(P9 (1)学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成に掲載)

県総合社会教育センター

学習情報の収集・提供事業 12,666 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習活動を促進するために必要とされる各種情報を収集し、一覧をインターネットにより県民へ提供するほか、いつでも、どこでも、インターネットで手軽に学べる eラーニング教材の配信及び管理を行うとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理し、ICT講座等を実施できる環境を整備する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 学習情報の収集・提供
4 情報(学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材)の収集・提供
- (2) インターネットによる eラーニング学習教材の配信
 - ア 元気青森人 PowerUp コンテンツ
 - イ あおもり学インターネット講座
 - ウ あおもり子育てネット
- (3) サーバ・パソコン機器等維持管理
学習情報提供に係るサーバ・パソコン機器及び実習用機器の整備

ボランティア担当職員研修講座 224 千円

〔事業目的及び概要〕

ボランティア担当職員、実践活動者等の資質の向上を目的とした研修講座を開催し、本県の社会参加活動の推進及び充実を目指す事業である。

- (1) 期日：7/4(金) 13:00~15:30
- (2) 場所：県総合社会教育センター
- (3) 対象：市町村の教育委員会及び首長部局職員、NPOやボランティア関係団体、市町村社会福祉協議会職員、ボランティアに関心のある一般県民等
- (4) 開催方法：会場受講、オンライン受講、アーカイブ受講

(5) 事業内容

ア 講義：「この地域が大好き！～先人から今、そして未来へ想いをつなぐ～」をテーマとした講座の実施

講師：青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科保育専攻 准教授 棟方 梢

イ 事例発表：ボランティア書道教室俊文書道会

代表

青森県立弘前聾学校

校長

西里 俊文

日本赤十字社青森県支部 事業推進課

主事

岩井 雄太郎

青森県視聴覚ライブラリー運営事業 645 千円

〔事業目的及び概要〕

県内の視聴覚教育の振興発展に寄与するに当たり、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営し、映像資料の収集・保管、及び活用を図る。

〔事業内容〕

- (1) 生涯学習社会の充実を図る基礎資料を得るための調査・研究
- (2) 社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚資料の提供
- (3) 全国視聴覚教育連盟への加入
- (4) 視聴覚教材の購入
- (5) 視聴覚教材のデジタル化業務

あおもり県民カレッジ運営業務

〔事業目的及び概要〕

あおもり県民カレッジは、県民一人一人の主体的な学習と社会参加の推進を目指す体系的・継続的な学習支援システムである。その趣旨を踏まえ、学生に対するきめ細かな対応及び連携機関との緊密な連携など適切な運営を行う。また、イベントの開催や情報誌による普及啓発を行うとともに、学習相談・学習情報提供、学習機会の提供、ボランティア活動支援等を行う。

なお、カレッジ運営に当たっては、SDGsの各目標を意識した学習活動とするための働きかけを行う。

〔事業内容〕

- (1) 運営全般
 - ア カレッジ学生への対応

学生募集、学生証の交付、単位認定、認定証交付式の実施、単位認定に係るサービス、学友会の活動支援
 - イ 連携機関への対応

登録受付、連携機関連絡会議の開催、共催による講座(地域キャンパス講座)の開催
- (2) 普及啓発
 - ア 生涯学習フェアの開催
 - イ こども向けイベントの開催
 - ウ 情報収集

連携機関等への取材、社会参加活動に関する情報収集
 - エ あおもり県民カレッジ&生涯学習情報誌「てのひら」の発行による情報提供
 - オ 各種メディアを利用した広報
 - カ ホームページ、Facebook、Instagramによる情報提供
- (3) 学習相談・学習情報提供
 - ア 学習相談
 - イ 学習機会情報、ボランティア活動情報の収集・提供
- (4) 学習機会提供
 - ア 地域キャンパス講座の開催(県内6地区で開催)
 - イ Web会議システム等の活用研修
- (5) ボランティア活動の支援
 - ア 社会参加活動支援センターの運営
 - イ ボランティア講師による自主講座の開催
 - ウ 「まなびサポーター」の募集と活動支援

インフォメーションプラザありすの運営**〔事業目的及び概要〕**

生涯学習に関する総合窓口として、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービス、逐次刊行物の閲覧サービス等の業務を行う。また、SDGsに関する啓発コーナーを設けるなど、県民のSDGsに対する理解を深めるよう働きかけを行う。

〔事業内容〕

- (1) 窓口対応
- (2) 視聴覚教材貸出サービス
- (3) ありす内ラーニングスペース及びロビー等の整備
- (4) 館内展示スペースの整備

県立図書館**読書バリアフリー推進事業 1,256 千円****〔事業目的及び概要〕**

視覚障がい等さまざまな障がいのある方が図書館をより利用しやすい環境に整備することを目的として、大活字本やデージー図書等のアクセシブルな書籍の購入や読書バリアフリーのための機器・用具を整備する事業である。

〔事業内容〕

読書バリアフリー推進に係るアクセシブルな書籍や機器・用具等の整備

近代文学館 特別展開催事業 1,789 千円**〔事業目的及び概要〕**

文学に関心を寄せる方から普段文学に馴染みのない方まで、幅広い層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに沿った特別展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 名称：特別展「棟方志功と青森の文人たち」
- (2) 会期：7/19（土）～10/19（日）
- (3) 内容：2025年に没後50年を迎える棟方志功は、「板画家」としての原点が文学にあり、文人たちとの関わりも広がった。棟方志功と青森の文人たちとの交流に由来する資料を展示し、「世界のムナカタ」と青森の文学の関わりについて紹介する。

近代文学館 企画展開催事業 646 千円**〔事業目的及び概要〕**

文学に関心を寄せる方から普段文学に馴染みのない方まで、幅広い層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を中心に展示・公開する企画展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 名称：企画展「作家とどうぶつ」
- (2) 会期：12/6（土）～3/22（日）
- (3) 内容：青森県ゆかりの作家にまつわる動物（犬・猫・馬など）についてのエピソードや文学作品などについて紹介する。

アウトリーチサービス推進事業 428 千円**〔事業目的及び概要〕**

障がいなどの事由により、図書館への来館が困難な方に対して、宅配便による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

〔事業内容〕

利用登録者から、電話・郵便・メール等により希望図書の申込みを受け、宅配便を利用（費用は図書館が負担）して貸出・返却を行う。

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員等の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

県生涯学習課

生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会) 1,073千円

〔事業目的及び概要〕

生涯学習振興法(生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律)の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備していくため、生涯学習推進本部等を運営する。また、生涯学習推進に資する施策の総合的な推進に関する重要事項について調査、審議するため、生涯学習審議会を運営する。

〔事業内容〕

(1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

(2) 青森県生涯学習審議会

ア 第17期青森県生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：2年(R6/10/19～R8/10/18)

○諮問：「ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について」

○審議事項：1 公民館等の社会教育施設における子どもたちの継続的な地域学習の推進について
：2 子どもたちの主体的な地域活動の促進について
：3 地域に根付いた持続可能な取組にするための仕組みづくりについて

○会議等の予定：第3回(5月)、第4回(9月)、第5回(12月)、先進事例実地調査(7～8月)
青森県教育委員ミーティングで中間報告(2月)

生涯学習・社会教育総合調査研究事業 697千円

〔事業目的及び概要〕

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う。

〔事業内容〕

一般県民、社会教育団体・機関等を対象にアンケート方式による調査を行い、その結果を分析し、報告書にまとめる。

○調査テーマ：未定

○顧問の委嘱：調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に研究顧問を委嘱する。

○報告書：135部程度を印刷し関係機関に配布するほか、ホームページでも公開する。

青森県社会教育委員の会議の運営 134千円

〔事業目的及び概要〕

社会教育法第17条に基づき、本県社会教育の振興方策について審議及び調査研究を行い、県教育委員会に答申、建議を行う。

〔事業内容〕

(1) 青森県社会教育委員の会議

ア 第37期青森県社会教育委員

○委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務

○任期：2年(R6/10/19～R8/10/18)

○会議の予定：第2回(11月)

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成 250 千円**〔事業目的及び概要〕**

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 市町村の社会教育行政調査
- (2) 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
- (3) 「令和7年度青森県の社会教育行政」の作成配布(300部作成予定)

社会教育主事有資格者育成派遣事業 643 千円**〔事業目的及び概要〕**

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校・義務教育学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- 派遣研修：社会教育主事講習(岩手大学)
- 研修期間(予定)：7/14(月)～8/7(木)

生涯学習専門講座派遣事業 184 千円**〔事業目的及び概要〕**

生涯学習の振興において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- 派遣先：国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
- 講座名：社会教育主事専門講座、地域教育力を高めるボランティアセミナー
- 派遣人数：各1名

社会教育主事等一般研修 163 千円**〔事業目的及び概要〕**

県社会教育関係職員が一堂に会し、社会教育に係る研修や情報交換を通して、社会教育担当者の資質向上と更なる連携及び情報の共有を図る。

〔事業内容〕

- | | | |
|---------------|---------|------------------|
| ○合同学習会の開催：第1回 | 4/22(火) | 県総合社会教育センター |
| | 第2回 | 時期未定 県総合社会教育センター |
| | 第3回 | 時期未定 県総合社会教育センター |

在学青少年育成費補助事業 359 千円**〔事業目的及び概要〕**

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年(高校生)を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

〔事業内容〕

- 東京青森県人会及び青森県高等学校校長協会が実施する高校生を対象とした講演会事業に助成する。
- 内容：主に東京及びその近郊に在住する青森県出身者並びに青森県にゆかりのある方々を講師に、高校生を対象とした講演会を開催する。
 - 実施場所：県内高等学校6校
(県立北斗高等学校、県立浪岡高等学校、県立鱒ヶ沢高等学校、県立五所川原高等学校、県立八戸商業高等学校、八戸工業大学第二高等学校)

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)

(P8 (1)学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成に掲載)

県総合社会教育センター

ボランティア担当職員研修講座(再掲)

(P25 (3)人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進に掲載)

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 981千円

【事業目的及び概要】

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上を目的として、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人財育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る事業である。

【事業内容】

(1) センター研修(会場：県総合社会教育センター、定員：各回30名程度)

【新任職員研修】

〈前期〉

開催日時	6/13(金)10:00～15:00
受講形態	会場受講及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)
内 容	【講義】「生涯学習・社会教育」はじめての一步 【演習】「熟議」を体験してみよう～発表しない、まとめない!?えっ!?～ 講師：秋田大学 非常勤講師 秋田県生涯学習センター 学習指導員 皆川 雅仁

〈後期〉

開催日時	2/19(木)10:00～15:00
受講形態	会場受講及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)
内 容	【講義・演習】「学びを通じた地域づくり」～社会教育職員に期待される役割とは～ 講師：弘前大学 教育学部 准教授 越村 康英

【選択研修】

〈第1回〉

開催日時	6/27(金)10:00～15:00
受講形態	会場受講及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)
内 容	【講義・演習】「広報業務に係るSNS活用の実際」 講師：ディーシーティーデザイン 代表 蝦名 晶子

〈第2回〉

開催日時	7/8(火)10:00～15:00
受講形態	会場受講
内 容	【実践演習】「オンライン会議・研修の実施方法」 講師：県総合社会教育センター 職員

〈第3回〉

開催日時	7/15(火)10:00～15:00
受講形態	会場受講
内 容	【講義・演習】「スマホ1つでOK!動画作成講座」～基礎と実践まるわかり編～ 講師：エイチピースタイルング 代表 高森 三樹

〈第4回〉

開催日時	8/29(金)10:00～15:00
受講形態	会場受講及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)
内 容	【講義】「障がい者の生涯学習を支える自治体の役割」 講師：国立市公民館 館長補佐 社会教育主事 井口 啓太郎 【実践事例紹介・ワークショップ】 「障がい者の生涯学習」はじめての一步 ～社会的包摂への一步を踏み出すために～ 講師：秋田県生涯学習センター 副主幹(兼)学習事業チームリーダー 柏木 睦

〈第5回〉

開催日時	11/10(月)10:00～15:00
受講形態	会場受講及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)
内 容	【講義・演習】「参加意欲を促すチラシの作り方」 講師：青森大学 客員教授 青森県立保健大学 非常勤講師・客員研究員 竹林 正樹

〈第6回〉

開催日時	12/3(水)10:00～15:00
受講形態	会場受講
内 容	【実践演習】「ファシリテーター講座」 講師：県総合社会教育センター 職員

(2) 地区研修

※各地区全て会場参集で開催

	実施日時	場所	内容	定員
東青	5/13(火) 13:00～ 15:00	県総合社会 教育センター	【講義・演習】 「業務軽減につながるICTの利用について」 講師：ディーシーティーデザイン 代表 蝦名 晶子	30名
西北	9/10(水) 13:30～ 16:10	日本海拠点館	【講義・演習】 「地域学校協働活動をリノベーションするCS」 ～CSと地域学校協働活動、ここからでしょ～ 講師：秋田大学 非常勤講師 秋田県生涯学習センター 学習指導員 皆川 雅仁	30名
中南	7/23(水) 13:30～ 15:30	旧弘前偕行社	【講義・演習】 「社会教育委員としての役割について」 ～地域づくりを支える社会教育～ 講師：青森明の星短期大学 青森公立大学 北里大学 非常勤講師 渡部 靖之	30名
上北	5/21(水) 13:00～ 16:15	おいらせ町 みなくる館	【講義・演習】 「まちづくりのファシリテーション技術」 講師：弘前大学 大学院地域社会研究科 准教授 土井 良浩	30名
下北	6/25(水) 13:30～ 16:00	下北文化会館	【講義・演習】 「もったいないから未来をつくる」 講師：一般社団法人もったいない研究所 代表理事 岡 詩子	30名
三八	9/22(月) 13:30～ 15:40	五戸町立 公民館	【講義・演習】 「地域の次代を担う若者の育成」 講師：NPO法人ACTY 理事長 株式会社ACプロモート 代表取締役 町田 直子	30名

(3) 市町村等の取組への伴走型支援

ア 市町村の取組をサポートするため、市町村等の職員とともに課題解決に取り組む、伴走型の支援を行う。

イ 伴走型支援の内容等

(ア) 受付期間：通年

(イ) 相談対応：随時

(ウ) 依頼方法：伴走型支援依頼申込書を提出

(エ) 支援内容：センターが実施する事業等のノウハウや専門職としての知見及び経験に基づいた指導・助言・相談対応等を行う。

(例)・事業の企画・立案についての相談

・研修講座の講師選定に係る相談

・CS熟議の指導・助言

・オンライン配信機器接続の仕方についての指導・助言

・研修会への職員派遣 等

(オ) 伴走型支援の基本的な流れ

- a 「伴走型支援依頼申込書」の提出
- b 内容確認・調整

「伴走型支援依頼申込書」をもとに、電話・メール・面接等により、相談内容を改めてヒアリングする。派遣希望の場合は日程調整を行う。

- c サポート

内容、必要に応じ職員派遣、情報提供、助言等を行う。

県立図書館

県立図書館資料整備 67,071 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的に、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。また、令和3年度からは、電子書籍を閲覧することができる電子図書館システムを導入している。

〔事業内容〕

図書、定期刊行物、視聴覚資料等の整備

図書館	60,911 千円
(うち電子書籍)	5,280 千円)
近代文学館	6,160 千円

市町村立図書館等職員研修事業 265 千円

〔事業目的及び概要〕

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を目的として、初任者研修、基本研修、ステップアップ研修及び学校図書館支援研修を実施する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 市町村立図書館等職員初任者研修 年1回 6/11(水)～6/12(木)
- (2) 市町村立図書館等職員基本研修 年1回 9/18(木)
- (3) 学校図書館支援研修 年1回 10/29(水)
- (4) 市町村立図書館等職員ステップアップ研修 年1回 11/26(水)

3 令和7年度社会教育関係予算の概要

単位：千円

項	目	当初予算額	説 明
生涯学習課	社会教育振興費	1,308,053	
	職 員 費	1,010,678	生涯学習課、文化財保護課、埋蔵文化財調査センター（60人） 図書館（26人）、梵珠少年自然の家（9人）、総合社会教育センター（18人）
	生涯学習推進費	220,479	特別支援学校における障がいに関する理解促進事業費 生涯学習推進基盤整備事業費 生涯学習・社会教育総合調査研究事業 総合社会教育センター指定管理料 種差少年自然の家指定管理料 県立少年自然の家老朽化対策検討事業費
	指 導 推 進 費	65,904	社会教育委員費 管内指導並びに管外会議及び管外研修費 社会教育主事有資格者育成事業費 生涯学習・社会教育指導推進事業費 こどもの読書活動推進事業費 学校・家庭・地域連携協働推進事業費 地域と学校とのパートナーシップ強化事業費 社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業費 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入事業費 高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業費
	青少年教育費	7,790	障がいの生涯学習支援事業費 いじめ防止キャンペーン推進事業費 在学青少年育成費補助（交付先 東京青森県人会）
	婦人家庭教育費	2,514	あおもり家庭教育支援総合事業費
	成人教育費	688	若者の社会参加促進事業費
図書館	図 書 館 費	154,776	
	運 営 管 理 費	77,843	維持管理費、コンピュータシステム運営費、施設設備改修工事費
	奉 仕 活 動 費	61,399	閲覧奉仕費、図書館資料整備費、貴重資料等電子化事業費 読書バリアフリー推進事業費
	協 力 活 動 費	5,749	図書館支援推進費、アウトリーチサービス推進事業費
	近代文学館費	9,785	資料整備費、文学活動費
少年自然の家	少年自然の家費	23,272	
	梵珠少年自然の家費	23,272	管理運営費、青少年教育施設活動費
総合社会教育センター	総合社会教育センター費	41,980	
	運 営 管 理 費	17,416	運営費、運営協議会費、施設設備改修工事費
	研 修 事 業 費	24,564	人材育成事業費、教育活動支援事業費、市町村・団体支援事業費

4 附属機関の概要

(1) 青森県生涯学習審議会

①概要

- ・設置根拠 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律第10条1項、青森県生涯学習審議会設置条例
- ・設置年月日 平成4年4月1日
- ・担当事務 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律第10条の規定により、教育委員会又は知事の諮問に応じ、その権限に属させられた事項を調査審議するとともに、必要と認める事項を教育委員会又は知事に建議する。
- ・委員構成 人格識見共に優れた者及び公募による者
- ・委員定数及び任期 20人以内、2年

②生涯学習審議会のこれまでの答申等一覧(過去10期)

期	答 申 等 タ イ ト ル	日 付
第16期	障がい者の生涯学習の推進方策について(答申)	令和 6年 8月20日
第15期	青森県における新しい時代の生涯学習・社会教育の推進の在り方について(答申)	令和 4年10月 7日
第14期	人口減少下における地域コミュニティ再生のための生涯学習の推進の在り方について(答申)	令和 2年10月 2日
第13期	あおもりで若者が集い、生き生きと活躍できる持続可能な地域社会づくり	平成30年 8月 8日
第12期	ふるさとの良さ、あおもりの魅力を次代に伝えるための、学びと地域のつながりづくりの在り方について	平成28年 8月19日
第11期	学びと社会参加を通じた人財育成の方策について～「学びの種」を拾う～	平成26年 8月 7日
第10期	県が実施する生涯学習・社会教育施策に対する意見について	平成24年 8月 7日
第9期	学校・家庭・地域が一体となって教育に取り組む社会を構築するための方策について－学校と地域の連携のあり方を中心として－(提言)	平成22年 7月20日
第8期	若者のキャリア形成支援の方策について(提言)	平成20年 7月25日
第7期	育てよう 伝え合うところ －青少年のコミュニケーション能力の向上にむけて－(提言)	平成18年 7月28日

③第17期青森県生涯学習審議会委員一覧

任期：令和6年10月19日～令和8年10月18日

No.	氏 名	所 属 等	備 考
1	島 守 詩 子	三戸町立三戸小学校 校長	
2	千 葉 栄 美	県立青森東高等学校 校長	
3	吉 川 康 久	青森県教育支援プラットフォーム 東青地区実行委員会 委員	副 会 長
4	小 野 淳 美	野辺地町教育委員会 教育長	
5	米 田 大 吉	特定非営利活動法人プラットフォームあおもり 理事長	
6	小 寺 将 太	一般社団法人tsumugu 代表理事	
7	岡 詩 子	一般社団法人もったいない研究所 代表理事	
8	岩 本 ヤヨエ	WOMEN'S VISION 代表	
9	米 沢 美 幸	青森県PTA連合会 副会長	

No.	氏 名	所 属 等	備 考
10	小笠原 秀 樹	特定非営利活動法人あおもりラジオくらぶ 代表理事	
11	工 藤 貴 子	あおもり家庭教育アドバイザー	
12	越 村 康 英	弘前大学教育学部 准教授	会 長
13	松 浦 淳	青森中央短期大学 客員研究員/非常勤講師	
14	高 砂 充希子	宮城大学 非常勤講師	
15	山 崎 結 子	外ヶ浜町 町長	

令和7年4月1日現在

(2) 青森県社会教育委員

①概 要

- ・ 設置根拠 社会教育法第15条第1項 青森県社会教育委員設置条例
- ・ 設置年月日 昭和27年4月1日
- ・ 担当事務 社会教育法第17条の規定により、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、次の職務を行う。
 - 1 社会教育に関する諸計画を立案すること
 - 2 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。
 - 3 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
また、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。
- ・ 委員構成 学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者
- ・ 委員定数及び任期 12人以内、2年

②青森県社会教育委員の会議のこれまでの報告書等(過去10期)

期	答申・報告書等タイトル	日 付
第36期	「障がい者の生涯学習の推進方策について」	令和 6年 8月 調査研究
第35期	「地域全体で子どもを育む家庭教育支援の在り方について」	令和 4年10月 調査研究
第34期	「人づくり・つながりづくり・地域づくりの拠点としての社会教育施設の在り方」	令和 2年10月 調査研究
第33期	「人口減少下における地域コミュニティ形成のための行政と民間の新たな連携・協働の在り方に関する提言」	平成30年10月 調査研究報告書
第32期	「学びとつながりを生み出す家庭教育支援の在り方に関する提言」	平成28年10月 調査研究報告書
第31期	「各世代が共に参画する地域コミュニティづくりに関する提言」	平成26年10月 調査研究報告書
第30期	「時代の変化に対応した社会教育の在り方」	平成24年10月 調査研究報告書
第29期	「子どもの体験活動を支援する社会教育の在り方」	平成22年10月 調査研究報告書
第28期	「地域の教育力を高める公民館の在り方」	平成20年10月 調査研究報告書
第27期	「地域コミュニティにおける自治能力を高めるための学習の在り方」	平成18年10月 調査研究報告書

③第37期青森県社会教育委員名簿

任期：令和6年10月19日～令和8年10月18日

No.	氏 名	所 属 等	備 考
1	島 守 詩 子	三戸町立三戸小学校 校長	
2	吉 川 康 久	青森県教育支援プラットフォーム 東青地区実行委員会 委員	副 議 長
3	岡 詩 子	一般社団法人もったいない研究所 代表理事	
4	岩 本 ヤヨエ	WOMEN'S VISION 代表	
5	越 村 康 英	弘前大学教育学部 准教授	議 長
6	工 藤 貴 子	あおもり家庭教育アドバイザー	
7	小笠原 秀 樹	特定非営利活動法人あおもりラジオくらぶ 代表理事	
8	松 浦 淳	青森中央短期大学 客員研究員/非常勤講師	

令和7年4月1日現在

(3) 青森県立図書館協議会

①概 要

- ・設置根拠 図書館法第14条第1項、青森県立図書館協議会設置条例
- ・設置年月日 昭和27年9月2日
- ・担当事務 図書館法の規定により、県立図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、県立図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる。
- ・委員構成 学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者
- ・委員定数及び任期 10人、2年

②青森県立図書館協議会委員名簿

任期：令和6年5月13日～令和8年5月12日

No.	氏 名	所 属 等	備 考
1	安 田 奈津子	弘前市立千年小学校 校長	
2	竹 浪 廣 美	県立五所川原高等学校 教諭	
3	今 井 邦 子	平川市読書推進運動協議会 会員	
4	須 藤 紀 子	五所川原市教育委員会図書館 次長	
5	伊 藤 友 子	公募委員	
6	小 泉 敦	公募委員	
7	浜 田 祐 子	おいらせ町家庭教育支援チーム・しるくはあと 代表	
8	秋 元 宏 宣	(株)東奥日報社編集局 生活文化部長兼編集委員	
9	澤 田 尚	五戸町教育委員会 教育長	
10	本 間 維	青森中央短期大学食物栄養学科 准教授	

令和7年4月1日現在

5 令和7年度県社会教育関係職員

(1) 県教育庁生涯学習課事務分掌

〒030-8540 青森市長島一丁目1番1号 代表電話 017-722-1111 FAX 017-734-8272

課長 清川 喜之 (内線 3130)

学校地域
連携推進監 西塚 努 (内線 3131)
課長代理

- 1 生涯学習の振興のための重要な施策に関する企画及び調整
- 2 学校、家庭及び地域社会の連携による教育の推進に関する企画・調整及び指導、助言並びに調査及び研究
- 3 特に命ぜられた事務

総務グループ(直通 017-734-9887)

グループマネージャー 小路口 晶子

事務分掌	主担当者	副担当者
1 グループ総括	グループマネージャー 総括主幹 小路口 晶子 内線 3132	八 幡
2 行財政改革 3 指定管理に関すること 4 県立図書館、総合社会教育センター及び少年自然の家の施設設備に関すること 5 少年自然の家老朽化対策に関すること	主 査 八 幡 亜 都 内線 3133	木 村 伊 藤
6 予算・決算(人件費を除く)・監査 7 政策点検 8 市町村社会教育施設の整備等に関すること 9 広報広聴に関すること 10 災害復旧交付金に関すること	主 事 木 村 洸 子 内線 3133	八 幡 伊 藤
11 中学校卒業程度認定試験及び高等学校卒業程度認定試験に関すること 12 情報公開・個人情報に関すること 13 情報セキュリティに関すること 14 予算・決算(人件費) 15 文書管理に関すること 16 生涯学習課ホームページの管理 17 庶務・経理	主 事 伊 藤 俊 輔 内線 3134	八 幡 木 村

事務分掌	主担当	副担当
1 グループ総括	グループマネージャー 副参事 三 上 崇 裕 内線 3135	今
2 社会教育行政の方針と重点に関すること 3 市町村教育委員会生涯学習・社会教育主管課長会議 4 生涯学習・社会教育担当者会議 5 北海道・東北ブロック生涯学習・社会教育主管課長会議 (全国生涯学習・社会教育主管部課長会議) 6 障害者の生涯学習支援活動に係る文部科学大臣表彰 7 特別支援学校における障がいに関する理解促進事業 8 障がい者の生涯学習支援事業 9 共生社会コンファレンスの実施に関すること (主担) 10 障がい者の生涯学習に関する事業構築 (実践研究・普及啓発以外) に関すること	サブマネージャー 社会教育主事 今 敦 子 内線 3138	松 橋 高 館 田 子
11 青森県社会教育委員連絡協議会(会議関係) 12 社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進(キャリア教育の推進) 13 高等教育機関・民間教育事業者との連携に関すること 14 公民館に関すること 15 優良公民館表彰 16 地域と学校とのパートナーシップ強化事業に関すること (地域と学校の交流会に関すること) 17 後援・共催に関すること 18 ボランティア活動に関すること(「小さな親切」運動に関すること)	社会教育主事 松 橋 正 士 内線 3136	今 高 館 須 藤
19 こどもの読書活動推進事業 20 子供の読書活動優秀実践図書館・団体(者)表彰 21 県立図書館に関すること 22 市町村立図書館及び司書一般に関すること 23 読書バリアフリー法に関すること 24 共生社会コンファレンスの実施に関すること (副担) 25 障がい者の生涯学習に関する事業構築 (実践研究・普及啓発) に関すること 26 青森県の社会教育行政の刊行 27 市町村の社会教育に関する現状調査	指導主事 田 子 利 知 内線 3138	今 松 橋
28 青森県生涯学習審議会 29 青森県社会教育委員の会議 30 生涯学習・社会教育総合調査研究事業 31 視聴覚教育・ICT教育に関すること 32 社会教育関連施策合同学習会 33 社会教育主事の育成に関すること 34 総合社会教育センターに関すること	社会教育主事 高 館 秀 典 内線 3136	今 松 橋 田 子 須 藤
35 成人式調査 36 いじめ防止キャンペーン推進事業 37 生涯学習関連事業調査 38 青森県社会教育委員連絡協議会(経理・社教情報関係) 39 社会教育功労者表彰、県褒賞・叙勲等 40 リ・ラーンあおもりの運営 41 国社研の研修に関すること 42 経理	主 事 須 藤 舞 琴 内線 3137	三 上 松 橋 高 館 田 子

事務分掌	主担当者	副担当者
1 グループ総括	グループマネージャー 主任社会教育主事 田 中 雅 人 内線 3139	橋 本
2 若者の社会参加促進事業（自然体験・交流塾） 3 P T A団体の指導・助言(特P連) 4 社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業（社会教育の資質・能力向上と地域課題の解決） 5 県立自然の家の利用促進に関すること 6 優良P T A文部科学大臣表彰	サブマネージャー 社会教育主事 橋 本 卓 内線 3142	田 中 工 藤 成 田
7 あおもり家庭教育支援総合事業(委託事業以外) 8 青少年教育施設に関すること(県立少年自然の家利用促進関係、指定管理者定期指導等(指導課分)、岩手山青少年交流の家関係) 9 P T A団体の指導・助言(県P連) 10 社会教育関係団体(県子連、ボーイスカウト) 11 「家庭教育支援チーム」に係る文部科学大臣表彰 12 全国社会教育主事の会	社会教育主事 工 藤 慎 也 内線 3141	橋 本 佐 々 木
13 地域と学校とのパートナーシップ強化事業(市町村地域学校協働活動支援、市町村支援(※県立学校も含む)) 14 学校・家庭・地域連携協働推進事業(地域学校協働活動推進委員会、統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員) 15 P T A団体の指導・助言(高P連)	指導主事 宮 本 貴 文 内線 3142	工 藤 成 田
16 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について 17 地域と学校とのパートナーシップ強化事業(モデル県立学校、県立学校対象研修会) 18 地域学校協働本部とコミュニティ・スクールに関する調査(文科省) 19 C Sマイスター派遣事業(文科省) 対応他 20 高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業 21 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入事業	指導主事 成 田 邦 彦 内線 3140	宮 本
22 社会教育関係団体(ガールスカウト) 23 学校・家庭・地域連携協働推進事業(国庫補助、放課後児童対策市町村担当者連絡会議、社セ・事務所令達、県立高校の学校運営協議会に係る経費等) 24 あおもり家庭教育支援総合事業(委託事業) 25 女性団体に対する指導・助言(地婦連) 26 各種団体等の助成に関すること(ゆめ基金、ニッセイ、カメイ等) 27 消費者教育・高齢者教育に関すること 28 男女共同参画学習に関すること 29 在学青少年育成費補助に関すること 30 経理関係	主 事 佐 々 木 健 人 内線 3140	橋 本 工 藤 宮 本

(2) 教育事務所及び県立社会教育施設の社会教育関係職員一覧

東青教育事務所

〒038-0031 青森市大字三内字丸山198-4
TEL 017-764-0784 FAX 017-764-6727

所 長	森 三 奈 子
次 長	葛 西 富 生
総括主幹 (総務課長事務取扱)	佐 藤 豪
教育課長	中 居 敬 子
主任社会教育主事 (主任指導主事兼務)	花 田 一 仁
社会教育主事兼指導主事	菊 池 信 吾

西北教育事務所

〒037-0046 五所川原市栄町10
TEL 0173-35-2170 FAX 0173-33-3663

所 長	高 橋 秀 樹
次 長	竹 内 明 人
総務課長	高 松 栄
教育課長	成 田 嗣 人
指導主事	相 馬 智 子
社会教育主事兼指導主事	奈 良 学

中南教育事務所

〒036-8345 弘前市蔵主町4
TEL 0172-32-1137 FAX 0172-36-6584

所 長	岡 村 重 勝
次 長	棟 方 仁 人
総務課長	川 添 直 也
教育課長	木 村 傑
社会教育主事兼指導主事	古 川 和 生
社会教育主事兼指導主事	栗 林 基 由

上北教育事務所

〒039-2593 上北郡七戸町字蛇坂55-1
TEL 0176-62-2128 FAX 0176-62-2130

所 長	佐 藤 真 理
次 長	俵 藤 晶
総括主幹 (総務課長事務取扱)	藤 田 純 也
教育課長	天 間 朋 昭
主任社会教育主事	千 曳 健 二
社会教育主事兼指導主事	工 藤 由 紀

下北教育事務所

〒035-0073 むつ市中央1丁目1-8
TEL 0175-22-1351 FAX 0175-23-8609

所 長	櫻 井 裕 輝
次 長	中 村 邦 夫
総括主幹 (総務課長事務取扱)	蝦 名 忍
教育課長	杉 原 憲 一 郎
社会教育主事兼指導主事	佐 藤 智 義
指導主事	南 谷 保 子

三八教育事務所

〒039-1101 八戸市尻内町字鴨田7
TEL 0178-27-4521 FAX 0178-27-2847

所 長	山 本 篤 実
次 長	武 内 慎 太 郎
総括主幹 (総務課長事務取扱)	大 平 豊
教育課長	久 保 慶 喜
主任社会教育主事	若 林 保
社会教育主事兼指導主事	林 可 人

青森県立図書館

〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7

TEL 017-739-4211 FAX 017-739-8353

館長 (近代文学館長事務取扱)	渡部 泰雄
副館長 (企画支援課長事務取扱)	松谷 泰英
奉仕課長	葛西 奈保美
近代文学館室長	葛西 隆

青森県立郷土館

〒030-0802 青森市本町2丁目8-14

TEL 017-777-1585 FAX 017-777-1588

館長	木村 秀樹
副館長	島口 天

青森県立梵珠少年自然の家

〒037-0611 五所川原市神山字殊ノ峰117-602

TEL 0173-29-3303 FAX 0173-29-3306

所長	北風 州康
総務課長	川村 祐子
研修課長	對馬 明
社会教育主事 (副課長)	古川 浩二
社会教育主事	佐藤 純子
指導主事	今井 陽子
社会教育主事	鶴若 匠

青森県総合社会教育センター

〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7

TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279

所長	白戸 明子
副所長	今泉 武寿
総務課長	崎野 摂
育成研修課長	新山 隆男
総括主幹専門員 (副課長)	佐藤 久常
指導主事	平沢 和哉
指導主事	六角 健太
社会教育主事	眞嶋 朗晋
主事	寺口 桃愛
主事	加藤 禄子
副参事 (教育活動支援課長事務取扱)	川嶋 和代
社会教育主事 (副課長)	佐々木 祥子
社会教育主事	荒木関 文俊
社会教育主事	高橋 俊輔
社会教育主事	橋本 政孝

青森県立種差少年自然の家

〒031-0841 八戸市鮫町膳並平2-26

TEL 0178-38-2131 FAX 0178-38-2727

ホームページ「あおもりの生涯学習—楽しむ 高める 生かす—」のご案内

https://cms.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-shogai/aomorimanabi-e_shogai.html

県教育庁生涯学習課では、生涯学習・社会教育に関するホームページを開設しています。主な内容は以下のとおりです。

タイトル	内容
お知らせ	生涯学習課が主催する、または関わる研修会や大会などの催しやコンクールを紹介しています。
社会教育行政の方針と重点	当該年度の社会教育の方針と重点を紹介しています。
事業内容	生涯学習課及び所管施設の事業を紹介しています。
附属機関	生涯学習課所管の附属機関について紹介しています。
各種調査・公募等	生涯学習課が実施する調査や公募などについて掲載しています。
社会教育施設紹介	生涯学習課が所管する県立社会教育施設を紹介しています。それぞれの施設のHPにリンクしています。
刊行物	生涯学習課が刊行した出版物を掲載しています。


新着情報


現在の位置：ホーム > 組織とさがす > 教育委員会 > 生涯学習課 > あおもりの生涯学習—楽しむ 高める 生かす—
 関連分野：[生涯学習](#) [イベント](#) [公募・募集](#)

更新日付：2025年3月25日 生涯学習課

あおもりの生涯学習—楽しむ 高める 生かす—



啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」第7版



大切なあなたへ贈る青春の三冊優秀作品集[1067KB]



地域学校協働活動実践編

子どもの読書活動を充実させるために
『子ども同士で図書を紹介し合う活動』や『様々な分野の図書に触れる活動』リーフレット



令和6年度いじめ防止キャンペーン動画



IV 令和6年度の実績

1 令和6年度事業一覧

重 点	事業番号	令和6年度事業一覧	所管	掲載ページ
(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成	1	社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業	《企画・地域》	P. 45
ア 地域学校協働活動の促進	2	こどもの読書活動推進事業	《企画》	P. 49
イ 地域が支えるキャリア教育の充実	3	いじめ防止キャンペーン推進事業	《企画》	P. 51
ウ こどもの読書活動の充実	4	特別支援学校における障がいに関する理解促進事業	《企画》	P. 52
エ 家庭教育支援の充実	5	地域と学校とのパートナーシップ強化事業[重点]	《地域・企画》	P. 53
オ 青少年の体験活動の充実	6	学校・家庭・地域連携協働推進事業	《地域》	P. 56
	7	あおり家庭教育支援総合事業	《地域》	P. 58
	8	大学生とカタル！キャリア形成サポート事業	《社セ》	P. 59
	9	高校生スキルアッププログラム推進事業	《社セ》	P. 61
	10	青森で生きる未来人財育成事業	《社セ》	P. 61
	11	青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業	《社セ》	P. 62
	12	あおり家庭教育力向上事業	《社セ》	P. 63
	13	家庭教育支援動画制作普及事業	《社セ》	P. 65
	14	家庭教育相談事業	《社セ》	P. 65
	15	こどもの読書活動推進のための図書セット貸出事業	《図書》	P. 66
	16	県立梵珠少年自然の家主催事業	《梵珠》	P. 67
	17	県立種差少年自然の家主催事業 (自然と遊ぼう、子どもの祭典)	《種差・指定》	P. 70
	18	自然体験活動支援事業	《種差・指定》	P. 71
	19	在学少年宿泊指導者研修	《種差・指定》	P. 72
	20	親子で学ぶ防災キャンプ事業	《種差・指定》	P. 72
(2) 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成	21	社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)	《企画・地域》	P. 73
ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成	22	若者の社会参加促進事業	《地域》	P. 73
イ 次代の地域を担う若者の育成	23	パワフルAOMORI！創造塾	《社セ》	P. 73
ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援	24	地域の今と未来をつなぐキャリア教育推進事業	《社セ》	P. 75
エ 多様な働き方を可能にする学び直しの機会の充実	25	生涯学習・社会教育関係職員研修講座	《社セ》	P. 75

(3) 生涯を通じた学びと社会参加の推進	26	障がい者の生涯学習支援事業費	《企画》	P. 79	
	ア 高齢者や障がい者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実	27	学習情報の収集・提供事業	《社セ》	P. 80
		28	ボランティア関係機関職員養成講座	《社セ》	P. 80
	イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援	29	青森県視聴覚ライブラリー運営事業	《社セ・指定》	P. 81
		30	あおもり県民カレッジ運営業務	《社セ・指定》	P. 81
		31	インフォメーションプラザありすの運営	《社セ・指定》	P. 83
		32	読書バリアフリー推進事業	《図書》	P. 84
		33	近代文学館 特別展開催事業	《図書》	P. 84
	(4) 社会教育推進のための基盤整備	34	近代文学館 企画展開催事業	《図書》	P. 85
		35	アウトリーチサービス推進事業	《図書》	P. 85
36		生涯学習推進基盤整備事業（生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会）	《企画》	P. 86	
ア 社会教育推進体制の充実		37	生涯学習・社会教育総合調査研究事業	《企画》	P. 87
イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進		38	青森県社会教育委員の会議の運営	《企画》	P. 87
ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上		39	市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成	《企画》	P. 88
エ 社会教育関係団体等の活動の支援		40	社会教育主事有資格者育成派遣事業	《企画》	P. 88
		41	生涯学習専門講座派遣事業	《企画》	P. 88
		42	社会教育主事等一般研修	《企画》	P. 88
		43	在学青少年育成費補助事業	《企画》	P. 89
	44	社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)	《企画・地域》	P. 89	
	45	生涯学習・社会教育関係職員研修講座（再掲）	《社セ》	P. 89	
	46	ボランティア関係機関職員養成講座（再掲）	《社セ》	P. 89	
	47	県立図書館資料整備	《図書》	P. 89	
48	市町村立図書館等職員研修事業	《図書》	P. 90		

【所管等凡例】

《企画》生涯学習課企画振興グループ 《地域》生涯学習課地域連携推進グループ 《社セ》県総合社会教育センター

《図書》県立図書館

《梵珠》県立梵珠少年自然の家

《社セ・指定》県総合社会教育センター指定管理者事業 《種差・指定》県立種差少年自然の家指定管理者事業

[重点]重点枠事業

(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 地域学校協働活動の促進
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ こどもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援の充実
- オ 青少年の体験活動の充実

県生涯学習課

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業 1,699千円

〔事業目的及び概要〕

様々な立場から社会教育活動を支援していく人財を育成し、地域の活性化を図り、市町村の社会教育主事等の資質・能力の向上を図るため、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等の地域ネットワークを活用した事業の企画・実践を支援するとともに、地元企業等と学校のネットワーク会議等を実施する事業である。

〔事業内容及び結果〕

- (1) 社会教育主事の資質・能力向上と地域課題の解決【2地区 主管：西北教育事務所・上北教育事務所】
社会教育主事等が中心となり、首長部局、NPO法人、地域づくり団体等とともに、多面的な視点で、地域に関わる課題を解決したり、地域の良さを生かしたりするための事業を企画・実践した。
- ア 西北地区(鶴田町)
- ＜地域課題解決スタートアップ研修会＞
 - 期日：7/3(水) ○会場：鶴田町国際交流会館 ○参加者数：11名
 - 内容：事業説明、ワークショップ形式による協議
 - ＜第1回実行委員会＞
 - 期日：7/25(木) ○会場：鶴田町国際交流会館 ○参加者数：8名
 - 内容：委員長、副委員長、会計、監査の決定、活動内容・計画についての話し合い、実行委員会名義の通帳の準備及び会則作成等
 - ＜第2回実行委員会＞
 - 期日：11/28(木) ○会場：鶴田町国際交流会館 ○参加者数：10名
 - 内容：具体的な活動内容についての話し合い、具体的な活動計画（実践日を含む）の決定、その他について
 - ＜第3回実行委員会＞
 - 期日：12/13(金) ○会場：鶴田町国際交流会館 ○参加者数：8名
 - 内容：事業実施について（当日のスケジュール確認、準備物等）、試作会の日程（15日）について、今後の活動予定について(地域課題解決フォローアップ研修会及び会計監査等)
 - ＜事業の実践＞
 - イベント「親子でクリスマスケーキ作り」の開催
 - 期日：12/22(日) ○会場：鶴田町公民館 ○参加者数：150名
 - 内容：就学前の年中児から小学6年生を対象として、レクリエーションやケーキ用箱のデコレーション、ケーキ作りを親子で協力しながら、1部（午前）31組、2部（午後）23組の計54組が、自分だけのクリスマスケーキを作ることができた。また、下山学園高校の高校生ボランティア26名もイベントに参加し、会場は、こどもも保護者も楽しい時間を過ごすことができ、イベントは大盛況であった。
 - ＜地域課題解決フォローアップ研修会＞
 - 期日：2/12(水) ○会場：鶴田町役場 ○参加者数：24名
 - 内容：西北地区実行委員会による実践発表及び質疑応答、意見交換を行った。
- イ 上北地区(十和田市)
- ＜地域課題解決スタートアップ研修会＞
 - 期日：6/10(月) ○会場：十和田市民図書館 ○参加者数18名
 - 内容：事業説明、ワークショップ形式による協議

<第1回実行委員会・交流会>

○期日：7/10(水) ○会場：十和田市民図書館 ○参加者数8名

○内容：実行委員長、副委員長の決定、活動内容及び計画について

<第2回実行委員会・交流会>

○期日：9/11(水) ○会場：十和田市民図書館 ○参加者数8名

○内容：今後の見学計画、認知症研修等について、情報交換

<第3回実行委員会・交流会>

○期日：1/29(水) ○会場：十和田市民図書館 ○参加者数10名

○内容：これまでの活動の振り返り、フォローアップ研修会の発表内容について

<事業の実践(研修会1)>

「似顔絵とデザイン文字にチャレンジしよう」の開催

○期日：8/30(金) ○会場：タワーレ ○参加者数：39名

○内容：絵本の紹介ポップを効果的に作成するための、似顔絵の描き方とデザイン文字の書き方講座(講師：鈴木信成氏)を行った。

<事業の実践(研修会2)>

「認知症の絵本の読み聞かせ会」の開催

○期日：10/15(火) ○会場：医療法人幸仁会高松病院 ○参加者数：17名

○内容：専門医から認知症という病気そのものの理解促進のための研修会を実施後、認知症を題材とした絵本について学ぶ(講師：高松杏子医師)研修会を行った。

<事業の実践(研修会3)>

「図書館の効果的なレイアウト研修会」の開催 「県立図書館アシスト事業」の活用

○期日：11/15(金) ○会場：十和田市立ちとせ小学校 ○参加者数：14名

○内容：県立図書館アシストプラス事業を活用し、効果的な図書館レイアウトや装飾について学ぶ(講師：県立図書館職員)研修会を行った。

<事業の実践(研修会4)>

「教科書センター見学会」の開催

○期日：2/12(水) ○会場：十和田市立三本木小学校 ○参加者数：9名

○内容：教科書センターにて、複数社から発行されている国語の教科書を閲覧し、掲載されている教科書の内容等について比較するとともに、購入したテキストをもとにレイアウトや季節の装飾、ブックトークについて学ぶ(講師：木村明美氏)研修会を行った。

<事業の実践1>

「読み聞かせと図書室見学」の開催

○期日：9/18(水) ○会場：十和田市立南小学校 ○参加者数：8名

<事業の実践2>

「アニメーション授業と図書室見学」の開催

○期日：9/19(木) ○会場：十和田市立西小学校 ○参加者数：7名

<事業の実践3>

「読み聞かせおたのしみ会と図書室見学」の開催

○期日：11/20(水) ○会場：十和田市立北園小学校 ○参加者数：6名

<事業の実践4>

「読み聞かせクリスマス会と図書室見学」の開催

○期日：11/27(水) ○会場：十和田市立三本木小学校 ○参加者数：8名

<事業の実践5>

「読み聞かせと図書室見学」の開催

○期日：12/5(木) ○会場：十和田市立東小学校 ○参加者数：3名

<事業の実践6>

「読み聞かせクリスマス会と図書室見学」の開催

○期日：12/11(水) ○会場：十和田市立南小学校 ○参加者数：11名

<事業の実践7>

「読み聞かせイベント見学」の開催

○期日：12/13(金) ○会場：十和田市立東小学校 ○参加者数：3名

<事業の実践8>

「読み聞かせクリスマス会と図書室見学」の開催

○期日：12/20(金) ○会場：十和田市立藤坂小学校 ○参加者数：3名

<地域課題解決フォローアップ研修会>

○期日：2/19(水) ○会場：十和田市民図書館 ○参加者数：25名

○内容：上北地区実行委員会「図書でつながる会」による実践発表及び質疑・情報交換を行った。

[成果]

- ・これまでのこどもだけで作るケーキ作りから、親子で作るクリスマスケーキ作りとしたことで、親子の触れ合いの場となり、家庭教育支援につながる事業となった。(西北地区)
- ・他校で実践されている読み聞かせを見学することで、図書館ボランティア同士のネットワークが自然に広がり、情報交換する中でいろいろな気づきを得ることができた。(上北地区)

[課題]

- ・事業の実践が1回のみ企画であったため、対象となる親子が早期希望者に限られてしまったことが残念であった。親子の絆を深める機会を必要としている家庭も多いため、数回にわたる親子事業を企画していく必要性を感じた。(西北地区)
- ・今後、「図書でつながる会」で構築されたネットワークを生かして、新たな人財の発掘・育成につなげる持続的な取組や支援を続けることが重要である。(上北地区)
- ・多様な地域人財及び他部局や他市町村と連携しながら、地域活性化や地域課題等を解決するための事業を企画・実践することで、社会教育主事等の資質向上を図る取組を継続して実施する必要がある。

(2) キャリア教育の推進【6地区 青森県教育支援プラットフォーム各地区実行委員会への事業委託】

ア 地元企業と学校のネットワーク会議の開催

学校、企業、教育支援プラットフォーム、地域学校協働本部等の関係者同士がお互いに「顔の見える関係」を築き、地域の未来を担う人財像を共有するため、各地区において会議を開催し、関係者同士による意見・情報交換を行った。

<東青地区>

期日	場所	内容
4/22(月)	青森市立浜田小学校	参加企業10社、参加者13名
7/11(木)	青森市立大野小学校	参加企業6社、参加者10名

<西北地区>

○期日：10/29(火)

○場所：五所川原市立金木中学校

○内容：職業講話終了後、企業の取り組み、学校から期待すること、実行委員会の取り組み方、職業講話におけるこどもたちへの関わり方等について、企業・学校・実行委員会の出席メンバーで意見交換を行った。

<中南地区>

○期日：8/23(金)

○場所：弘前パークホテル

○内容：地区内高等学校卒業予定者の地元就労について、情報交換を通して、早期から健全な職業観・勤労観の育成についての取組を協議し、地元就労促進に役立てる機会とすることを目的として「職場環境新時代 ～選ばれる会社となるために～」をテーマに講演会を実施した。

○講師：株式会社小林紙工 代表取締役 久保 良太 氏

<上北地区>

○期日：2/25(火)

○場所：十和田市商工会館

○内容：十和田地区雇用対策協議会と共催で開催し、「若者の地元定着・離職率の改善の方策」をテーマに講演とワークショップを実施した。

○講師：特定非営利活動法人プラットフォームあおもり 理事長 米田 大吉 氏

<下北地区>

○期日：7/8(月)

○場所：むつグランドホテル

○内容：むつ商工会議所と連携して、「むつ下北地区高卒者雇用対策協議会」の第2部として実施し、「若者が地元で定着し活躍するために、地域のオトナがするべきこと」をテーマに講演会を実施した。

○講師：特定非営利活動法人プラットフォームあおもり 理事長 米田 大吉 氏

<三八地区>

○期日：7/22(月)

○場所：八戸市立長者中学校

○内容：総合社会教育センター「学校と地域・企業等をつなぐキャリア教育研修会」の一部として開催し、企業、学校関係者、行政関係者等との話し合いをとおして、ネットワークの構築を図った。

○講師：認定NPO法人ハーベスト 代表理事 山崎 賢治 氏

イ 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録及び登録企業の周知

各実行委員会とも関係機関と連携して情報収集しながら、新たに「我が社は学校教育サポーター」に登録する企業の新規開拓を行った。また、「我が社は学校教育サポーター」に登録されている企業について、さらなる活用を促進するために、登録企業の周知を学校等に対して行い、企業による教育支援活動の一層の充実を図った。

ウ キャリア教育推進のためのコーディネート業務

学校からの要望に応じて、地元企業・NPO等が実施している教育支援活動(出前授業・インターンシップ・体験活動等)に係るコーディネートを行った。

(ア)東青地区

期日	学校名	内容
4/22(月)	青森市立浜田小学校	職業講話
7/11(木)	青森市立大野小学校	職業講話
11/20(水)	青森市立浪打中学校	職業講話
11/20(水)	青森市立北小学校	職業講話
12/5(木)	青森市立大野小学校	職業講話

(イ)西北地区

期日	学校名	内容
10/29(火)	五所川原市立金木中学校	職業講話

(ウ)中南地区

期日	学校名	内容
7/2(火)~7/3(水)	大鰐町立大鰐中学校	職場体験
7/3(水)~7/4(木)	弘前市立北辰中学校	職場体験
10/3(木)	弘前市立南中学校	職場体験
10/23(水)~10/24(木)	弘前市立第三中学校	職場体験
2/6(木)	県立尾上総合高等学校	職業講話

(エ)上北地区

期日	学校名	内容
7/11(木)	県立七戸高等学校	ビジネスマナー講習会
10/16(水)	六戸町立六戸小学校	職業講話
11/6(水)	三沢市立第一中学校	職業講話
11/8(金)	十和田市立西小学校	職業講話
11/12(火)	おいらせ町立甲洋小学校	職業講話
12/4(水)	七戸町立天間林小学校	職業講話
12/13(金)	七戸町立城南小学校	職業講話
1/31(金)	十和田市立北園小学校	職業講話
2/7(金)	十和田市立高清水小学校	職業講話
2/13(木)	十和田市立藤坂小学校	職業講話

(オ)下北地区

期日	学校名	内容
7/12(金)	むつ市立第一田名部小学校	職業講話
9/12(木)	大間町立大間小学校	職業講話
11/14(木)	東通村立東通小学校	職業講話
11/19(火)	むつ市立大平小学校	職業講話
11/28(木)	むつ市立大畑小学校	職業講話
12/16(月)	むつ市立奥内小学校	職業講話

(カ)三八地区

期日	学校名	内容
10/28(月), 11/12(火), 12/13(金), 1/29(水), 2/3(月), 2/13(木)	八戸市立小中野中学校 (全6回)	職業講話
11/1(金)	八戸市立青潮小学校	卒業生による講演会

【成果】

- ・地元企業と学校のネットワーク会議では、中南・上北・下北地区においては、青森県高等学校長協会及び青森県若年者就職支援センター(ジョブカフェあおもり)主催の会議と併催する形で実施し、教員の研修等の機会と同日・同会場で開催することにより、多くの教員に対して本事業の取組を理解してもらう機会とすることができた。
- ・学校からの要望に応じて、出前授業や職場体験等の教育支援活動をコーディネートし、学校側からのアンケートでは高い評価を得ることができた。

【課題】

- ・他地区の取組への積極的な参加を促す等、より効果的な事業実施に向けて各地区の連携・協働体制を一層強化する必要がある。
- ・各地区ともに関心のある企業の多くが、すでに「我が社は学校教育サポーター」登録していることもあり、新規登録数が伸び悩んでいる。

こどもの読書活動推進事業 3,574千円

【事業目的及び概要】

「青森県子ども読書活動推進計画(第四次)」に基づき、読書に親しみ自主的に読書活動をするこどもたちを育成するため、こどもが読書に親しむ機会の充実、環境の整備・充実、理解と関心の普及・啓発を進める取組を展開する事業である。

【事業内容】

(1) あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』

中学生・高校生の読書意欲の向上を図り、自主的な読書活動を促すため、県内の中学生・高校生を対象に仲間や友だちなどに薦めたい一冊の本の紹介文を募集し、優秀作品を表彰した。

また、優秀作品集(紹介文集)を32,000部、優秀作品周知ポスターを360部作成し、中学校、高等学校(特別支援学校中学部及び高等部を含む)、図書館等に配布した。

○募集期間：7/1(月)～9/12(木)

○応募数：4,158点(中学生の部：31校1,089点、高校生の部：25校3,069点)

○優秀作品受賞者一覧

<中学生の部>

最優秀賞	青森市立新城中学校 2年 丹代 さくら 『52 ヘルツのクジラたち』(町田 そのこ/著)
優 秀 賞	八戸市立第二中学校 3年 田村 未奈 『かがみの孤城』(辻村 深月/著) 黒石市立黒石中学校 3年 白戸 アリア 『嫌われる勇気』(岸見 一郎 古賀 史健/著) 八戸市立下長中学校 2年 小林 朔瑠 『もしも徳川家康が総理大臣になったら』(眞邊 明人/著) 南部町立福地中学校 1年 金浜 蒼陽

	『失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!』(大野 正人/著) 弘前大学教育学部附属中学校 2年 日ヶ久保 乃愛 『大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした』(クルベウ/著 藤田 麗子/訳)
--	--

< 高校生の部 >

最優秀賞	県立八戸商業高等学校 2年 小坂 羽純 『そして、バトンは渡された』(瀬尾 まいこ/著)
優秀賞	県立八戸商業高等学校 3年 八重垣 樹李 『明日は明日の日は昇るけど、今夜はどうしよう』(ヨンジョン/著 吉川 南/訳) 県立八戸商業高等学校 3年 川畑 悠 『夜明けのすべて』(瀬尾 まいこ/著) 県立五所川原工科高等学校 2年 林 晏未 『かがみの孤城』(辻村 深月/著) 県立八戸商業高等学校 1年 庭田 璃央 『花咲舞が黙ってない』(池井戸 潤/著) 県立弘前実業高等学校 2年 葛西 莉央 『幽落町おばけ駄菓子屋』(蒼月 海里/著)

(2) こどもの読書活動推進大会

広く県民がこどもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体でこどもの読書活動を推進する機運の醸成を図るため、こどもの読書活動推進大会を開催した。

○日時：12/1(日) 13:00~16:00

○場所：つがる市生涯学習交流センター「松の館」

○参加者数：125名

○内容

ア 表彰式

令和6年度あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』

- ・中学生の部及び高校生の部の最優秀賞及び優秀賞受賞者への表彰
- ・最優秀賞及び優秀賞受賞者による本の紹介

イ 講演

演題：『読書で出会った、わたしの友達』

講師：小説家 町田 そのこ 進行：フリーアナウンサー 境 香織

(3) 青森県こども読書活動推進計画

青森県こども読書活動推進協議会を設置し、令和7年2月に青森県こども読書活動推進計画（第五次）を策定した。計画は500部作成し、市町村教育委員会や関係機関等に配布した。

○青森県こども読書活動推進協議会の開催

- ・推進協議会を4回開催（7/24、9/2、10/16、1/17）
- ・専門委員会を2回開催（8/5、12/25~1/7（書面審議））

○あおもり県民政策提案（パブリック・コメント）の実施

○ホームページに掲載

なお、こども読書活動推進計画の未策定・未改定市町村への働きかけについては、文部科学省による「市町村における子供読書活動推進計画の策定状況に関する調査」が実施されず、また、県第五次計画の策定年度であったことから見送ることとした。

[成果]

- ・「あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」は、中学生の部・高校生の部ともに多数の応募があった。学校の担当教師からは「生徒たちの関心が高い。紹介文の文字数が取り組みやすく丁度よい。」「同年代から本を薦められることで、自分も読んでみようという生徒が多くいた。」等、好意的な感想をいただいている。
- ・こどもの読書活動推進大会では、小説家による講演の他に「あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』コンクールの表彰式と最優秀賞及び優秀賞を受賞した生徒による本の紹介を行い、県民に対し本事業の一環である取組を周知した。
- ・啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」については第7版を発行し、22の団体等に合計4,020冊

の提供を行い市町村ブックスタート事業等で活用していただいた。

【課題】

- ・「あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」優秀作品集及び啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」の内容については好評であるため、これらをこどもたちの読書意欲の向上に活用していかなければならない。
- ・こどもの読書活動推進大会において周知ポスター配布時期を早める等、参加者を増やすためのより一層の工夫が必要である。
- ・市町村におけるこども読書活動推進計画の策定及び改定に係る情報提供及び意見交換については、文部科学省による「市町村における子供読書活動推進計画の策定状況に関する調査」が今後は隔年実施が予想されることから、より丁寧に行わなければならない。
- ・今年度策定した「青森県こども読書活動推進計画（第五次）」で示している基本方針（不読率の低減等）に対応した取組を進めていく必要がある。

いじめ防止キャンペーン推進事業 6,332 千円

【事業目的及び概要】

いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止を内容とした標語を募集し、その優秀作品を広告動画を通じて視聴者へ語りかけることにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う事業である。

【事業内容】

(1) いじめ防止標語コンクール

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集し、優秀賞 6 作品、審査員特別賞 4 作品を選定した。

○募集期間：6/3(月)～8/30(金)

○応募数：9,280 作品(小学校 5,464 作品、中学校 2,754 作品、高等学校 991 作品、特別支援学校 71 作品)

○受賞作品

優秀賞	無言でも 寄り添い君を 救いたい	青森市立新城中学校 1年 木村 桜花
	気がついた? いじめと同じ 「無関心」	つがる市立瑞穂小学校 6年 工藤 瑚子
	「助けて」と 言えないあの子に 寄りそって	県立弘前実業高等学校 2年 葛西 莉央
	ありがとう いまのことば わすれない	六ヶ所村立千歳平小学校 4年 佐藤 ほのか
	すこしまて いってはいけない ことばかも	むつ市立奥内小学校 1年 野口 妃
	「助けてよ」 その一言に 気づきたい	階上町立道仏中学校 2年 村田 康汰郎
審査員特別賞	「それ、やめよう。」いうのこわいけど、わたしは、ともだちまもりたい。ちゃんと見て 相手の心の 信号を	弘前市立岩木小学校 1年 木立 一花 中泊町立中里中学校 1年 外崎 滯
	大丈夫 震えた声は SOS	中泊町立中里中学校 3年 加藤 彩姫
	見てみぬふり やめて 心の目を向けよう	県立八戸第一養護学校高等部 1年 佐々木 結愛

(2) Web 広告配信

ア 令和 5 年度制作「いじめ防止キャンペーン動画」を YouTube、Instagram、TikTok にて Web 広告配信 (5/1～5/15、7/16～8/31、12/16～1/31)

イ 令和 6 年度いじめ防止標語コンクール優秀賞作品を活用した動画を制作し、YouTube、Instagram、

TikTokにてWeb広告配信(3/1~3/15)

[成果]

- ・いじめ防止標語コンクールでは、学校から多数の応募があり、また各学校において本コンクールを教育活動等にも活用していることから、学校におけるいじめ防止に向けた意識啓発につながる取組となっている。
- ・Web広告配信では、各媒体の利用者層に応じて配信し、より効果的にいじめ防止に向けた情報発信を行うことができた。

[課題]

- ・本事業において制作した動画の活用に関して、さらに周知していく必要がある。

特別支援学校における障がいに関する理解促進事業 1,430千円

[事業目的及び概要]

県立特別支援学校において、障がいのある児童・生徒を有する父母等が、こどもの健やかな成長のために、障がい児(者)の心理や行動について理解を深めたり、家庭における教育や卒業後の就労などについて必要な知識を習得したりするほか、県民を対象に特別支援学校の有する専門性を生かした公開講座を実施し、障がいに関する理解促進を図るための取組を行う。

[事業内容及び結果]

(1) 理解促進のための研修会

学校名	回数	時間	参加者数	主な内容
県立青森第一養護学校	4	10	38名	パン作り体験、事業所見学、ピラティス&ヨガ体験
県立青森第二養護学校	4	9	37名	談話会、ピザ作り体験、防災教室、こぎん刺し教室
県立青森若葉養護学校	3	6	46名	事業所見学、体験活動「シナプソロジーでフレッシュ」「安心安全!美味しいCOFFEEでほっとタイム」
県立青森第一高等養護学校	2	4	63名	福祉に関する勉強会「障害福祉サービスの利用等について」、保護者交流「めいせい祭を楽しもう」
県立青森第二高等養護学校	4	9	56名	花植え、茶話会、着付け・抹茶体験、二高養祭の準備、苔ポット作り
県立盲学校	6	16	17名	地域の清掃活動参加、クッキー作り、進路指導講話、果物収穫体験、学校祭参加、点字ブロック理解啓発活動
県立浪岡養護学校	7	17	112名	学習会「Let's enjoy music!2」「こぎん刺しで、素敵な小物を作ろう」、浪養祭「PTA展示」
県立弘前第一養護学校	2	6	59名	PTA施設見学会(卒業後の進路先見学)、お菓子作り
県立弘前第二養護学校	7	19	181名	運動会鑑賞、親子レクリエーション、保護者研修会、笹餅作り体験、学習発表会鑑賞、福祉施設見学、進路講演会
県立弘前聾学校	7	15	78名	進路講話、地域交流、親子レクリエーション、プリザーブドフラワー作り、笹餅作り体験、職場・施設見学
県立八戸第一養護学校	3	9	10名	合同研修会「ライフステージから女性の健康を考える」「子供の成長と性に関する支援」、就労支援施設見学
県立八戸第二養護学校	3	9	116名	防災対策や障がい児をもつ保護者としての備えについての学習会、学校に寄付する雑巾作り、合同研修会「子供の成長と性に関する支援」
県立八戸盲学校	5	10	67名	保護者交流会(学校行事への協力)、フライングディスク、体験学習「盲導犬と触れ合おう」、合同研修会「ライフステージから女性の健康を考える」
県立八戸聾学校	5	6	53名	盲聾合同PTA奉仕作業(運動会装飾、パイプ椅子拭き、扇風機清掃)、フライパンピザ作り

県立森田養護学校	3	12	61名	近隣地域公共施設における体験学習(津軽鉄道乗車体験、手打ちそばの体験、斜陽館・三味線会館の見学)、笹餅作り体験、森養祭に向けての活動
県立黒石養護学校	3	7	49名	黒石よされ講習会、黒養祭準備、コサージュ作り
県立七戸養護学校	4	11	30名	福祉施設見学会、県地区P連研修会「リハビリは希望の光、笑いは健康のもと」、県知P連研修会「リハビリは希望の光、笑いは健康のもと」、合同研修会「子供の成長と性に関する支援」、そば作り講習会
県立むつ養護学校	4	9	116名	グラウンドの石拾い、園芸教室、親子レクリエーション、父母学習会(障がい者の福祉に関する学習会)
県立八戸高等支援学校	3	8	85名	進路学習会「一般就労・就労継続支援A型事業所への就労について」「株式会社ハチカンでの障がい者雇用について」「就労継続支援B型事業所・生活介護事業所について」
合計	延べ回数 79回 延べ時間 192時間 参加者数合計 1,274名			

(2) 公開講座

学校名	期間	日数 (回数)	内 容	参加者数
県立青森聾学校	6~9月	7日 (7回)	手話講座	75名

[成果]

- ・アンケートをもとにニーズを把握した上で計画を立て、興味関心の高い内容の企画を実施することができた。
- ・行政機関や障害福祉サービス事業所等、学校外の多様な主体と連携して、事業を実施することができた。

[課題]

- ・参加者が固定されている傾向があり、新規の参加者が少ないという状況が見られる。次年度以降、児童・生徒にも参加を呼び掛ける等、新規の参加者を増やす工夫が期待される。

地域と学校とのパートナーシップ強化事業 [重点] 3,677千円

[事業目的及び概要]

これまでの取組を通じて形成されてきた人財や地域の活動団体等とのつながりを活かし、学校と地域のネットワークをより着実なものとして、地域学校協働活動の推進を図ることを目的として、学校と地域が互いの理解を深め、連携・協働を図りやすい環境の整備や、地域学校協働活動推進員等によるコーディネート機能の強化を促進し、地域全体でこどもたちの成長を支えていく体制を整備する事業である。

[事業内容]

(1) 地域と学校の交流会

ア 地域活動者・企業が学ぶ場と情報交換会

「学校が望む地域との連携・協働」をテーマに、地域学校協働活動の先進事例等について学び、それぞれの取組などを情報交換して、学校との連携の在り方を模索した。

地区	期 日	場 所	参加者数
東青	7/16(火)	県総合社会教育センター	18名
上北	7/17(水)	十和田市東コミュニティセンター	31名

○対象：地域活動者、企業関係者、町内会関係者(地域住民)等

○講師：特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき

イ 学校と地域のネットワークづくり

学校関係者と、学校への協力を申し出ている企業や学校との連携を希望する地域活動者、町内会関係者等が一堂に会して交流を深め、互いの理解を促進した。(ワークショップ等で交流を図った。)

地区	期 日	場 所	参加者数
東青	9/26(木)	県総合社会教育センター	33名
上北	9/27(金)	十和田市東コミュニティセンター	13名

○対象：地域活動者、企業関係者、小・中・県立学校教職員、地域学校協働活動推進員、市町村教育委員会職員、町内会関係者(地域住民)等

○講師：特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき

(2) 市町村地域学校協働活動支援

ア 地域学校協働活動研修

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進についての理解を深めるため、教育委員会担当者や教職員等を対象とし、文科省の動向、県内外の先進事例等を学ぶ研修会を開催した。

地区	期 日	場 所	参加者数
東青	8/ 8(木)	県総合社会教育センター	57名(15名)
西北	8/19(月)	つがる市生涯学習交流センター「松の館」	45名(2名)
中南	7/ 4(木)	弘前市立中央公民館相馬館長慶閣	54名(16名)
上北	8/ 9(金)	東北町コミュニティセンター未来館	56名(5名)
下北	7/ 5(金)	むつ来さまい館	19名(1名)
三八	9/ 3(火)	南部町総合保健福祉センターゆとりあ	59名(13名)

※参加者数の()は、オンラインによる参加者数(内数)

○対象：市町村教育委員会職員、指導主事、社会教育主事、社会教育士、小・中・県立学校教職員、地域学校協働活動推進員、学校運営協議会委員等

○講師：ふくしま学校と地域の未来研究所 代表 安齋 宏之(東青・上北)

ゆめ☆まなびネット 代表 大谷 裕美子(西北)

一般社団法人 S.PLACE 代表理事 井上 尚子(中南・下北・三八)

イ 市町村地域学校協働活動相談支援

安定的な地域学校協働活動推進のために、市町村の本部整備や推進員配置、これらの有効な活用について、課員や統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員(地域学校協働活動コーディネーターアドバイザー)が相談対応するほか、先行市町村等を仲介するなどして、課題解決のためのサポートを行った。

○内容：地域学校協働本部の整備及びコミュニティ・スクールの導入に向けた相談対応、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けた先進事例等の紹介等

○実績 ※県立学校への相談支援も含む

5/16(木) 県立八戸盲学校・八戸聾学校第1回学校運営協議会

5/23(木) 中南管内社会教育関係課長・公民館長及び担当者会議

対象：生涯学習・社会教育関係課長、文化財関係課長、社会体育関係課長、中央公民館長等

5/30(木) 県立森田養護学校第1回学校運営協議会

6/13(木) 五所川原市地域学校協働活動推進員研修

対象：地域学校協働活動推進員、教育委員会担当者

7/18(木) 平内町地域学校協働本部運営委員会

対象：地域学校協働活動推進員、学校関係者

9/26(木) つがる市学校運営協議会委員及び地域学校協働活動推進員研修会

対象：学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、教育委員会担当者

11/20(水) 県立野辺地高等学校拡大校内研修

12/18(水) 弘前市公民館関係職員研修会

対象：公民館関係職員

2/12(水) 弘前市コミュニティ・スクール関係者研修会

対象：学校運営協議会委員、地域コーディネーター

ウ CSマイスター派遣事業(文部科学省) プッシュ型派遣への対応

文部科学省の事業により、黒石市、藤崎町、風間浦村、新郷村の4市町村と、東青地区、三八地区の高等学校を対象とした研修会にCSマイスターを派遣した。

○研修会の概要

9/25(水) 藤崎町教育委員会主催研修会

講師：森 万喜子 CSマイスター

対象：教育委員会担当者

内容：CSの概要(活用法、導入に向けた準備・事務処理の具体について)紹介、質疑応答等

10/16(水)風間浦村教育委員会主催研修会

講師：森 万喜子 CSマイスター

対象：教育委員会担当者、小・中学校管理職

*佐井村教育委員会も参加

内容：CSの概要(仕組み、導入効果等)紹介と熟議体験、質疑応答等

11/25(月)黒石市教育委員会主催研修会

講師：森 万喜子 CSマイスター

対象：教育委員会職員、小・中学校管理職、公民館関係者、地区住民代表

内容：CSの概要(法的根拠、必要性、導入に関する留意点等)紹介と熟議体験、質疑応答等

12/ 5(木)新郷村教育委員会主催研修会

講師：高野 睦 CSマイスター

対象：教育委員会担当者、小・中学校管理職

内容：CSの概要(仕組み、導入効果等)紹介と熟議体験、質疑応答等

11/25(月)県教育庁生涯学習課主催研修会

講師：高野 睦 CSマイスター

対象：東青地区県立学校の校長、教頭、担当教職員等

内容：CSの概要(法的根拠、仕組み、導入効果、高校の好事例等)紹介と熟議体験、質疑応答等

11/26(火)県教育庁生涯学習課主催研修会

講師：高野 睦 CSマイスター

対象：三八地区県立学校の校長、教頭、担当教職員等

内容：CSの概要(法的根拠、仕組み、導入効果、高校の好事例等)紹介と熟議体験、質疑応答等

(3) モデル県立学校への地域学校協働活動推進員配置

学校運営協議会を設置している県立学校のうち3校にモデル校として推進員を配置し、県立学校におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進と、教職員の働き方改革への効果等について、令和7年度に検証を行う。

○モデル校：県立黒石高等学校、県立森田養護学校、県立八戸高等支援学校

(学校運営協議会制度導入済みの県立学校より3校)

[成果]

- ・地域と学校の交流会では、地域と学校の連携の在り方や地域学校協働活動について学び、教育支援活動への理解を深めることができた。また、学校と地域及び企業関係者が意見交換を行い、交流を図ることができた。
- ・地域学校協働活動研修では、県内6地区計290名が参加した。今年度は地域学校協働活動推進員や学校運営協議会委員の参加が増え、国の動向や全国の好事例、それぞれの立場としての役割等について理解を深めることができた。
- ・市町村地域学校協働活動相談支援では、市町村の他に教育事務所や県立学校からの依頼もあり、CSの導入や地域学校協働本部の整備に向けた関心の高まりが感じられた。

[課題]

- ・地域と学校の交流会では、関係者の参加を増やし、参加者同士のつながりを広く構築することにより、学校と地域及び企業関係者との連携・協働が図られるよう、交流会の趣旨が伝わるような周知の工夫をする必要がある。
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に関する理解度は、個人によって大きな差が見られることから、地域学校協働活動研修に、教員だけでなく指導主事や社会教育主事等への参加も積極的に働きかけ、理解を深める必要がある。
- ・相談依頼を受けるだけでなく、各教育事務所や自治体、学校と情報共有を図り、柔軟に伴走支援できる体制を整える必要がある。

学校・家庭・地域連携協働推進事業 37,393 千円

1 地域学校協働活動推進事業(県事業) 2,539 千円

[事業目的及び概要]

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することを目的とし、継続的・安定的に実施する体制づくりを支援する事業である。

[事業内容]

(1) 会議の開催

県内における地域学校協働活動の総合的な在り方や、児童の放課後対策の諸問題について協議するとともに、市町村担当者を対象とした連絡会議を開催し、地域学校協働活動及び放課後児童対策の推進を図った。

ア 地域学校協働活動推進委員会

○期日：1/30（木）

○場所：県庁南棟5階 教育委員会室

○委員

No.	氏名	所属等	備考
1	松浦 淳	青森中央短期大学幼児保育学科 非常勤講師	委員長
2	若松 大輔	弘前大学大学院教育学研究科 助教	
3	舘 千春	五戸町立切谷内小学校 校長	副委員長
4	富樫 克輝	八戸市立鯨中学校 校長	
5	中村 薫	青森市立新城中学校 校長	
6	横岡千和子	県PTA連合会 会長	
7	工藤知久子	青森市立浦町中学校区 CSディレクター	
8	葛西 彩子	五所川原市地域学校協働活動推進員	
9	工藤 清行	黒石高等学校地域学校協働活動推進員	
10	工藤 道子	森田養護学校地域学校協働活動推進員	
11	島脇 一夫	八戸高等支援学校地域学校協働活動推進員	
12	大瀬 公正	黒石市教育委員会社会教育課 主任主事	
13	境 真宏	五戸町教育委員会教育課社会教育班 主事	
14	宮川 厚	平川市健康福祉部子育て健康 課長	
15	附田 昌久	天間西児童センター センター長	
16	米塚 暢子	五所川原市立中央小学校放課後児童クラブ 主任	

イ 放課後児童対策に係る市町村担当者連絡会議

○期日：6/19（水）

○場所：県総合社会教育センター 第1研修室及び第5研修室

○対象：放課後児童対策に係る市町村担当者（社会教育主管課及び福祉部局）

○参加者数：55名

(2) 研修の実施

ア 地域学校協働活動推進のための研修【主管：県総合社会教育センター】

○目的：地域学校協働活動の推進に向けて、地域と学校が協働する仕組みづくりに関わる市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図った。

○期日：6/6(木)

○場所：県総合社会教育センター 第1研修室

○参加者数：43名

○内容：講義・演習 「社会教育で、地域と学校の持続可能&幸せな未来をつくろう」

講師 岩手県生涯学習振興協会 事務局長 佐々木 勉

イ 放課後児童対策に係る支援員等研修会【主管：各教育事務所】

○目的：放課後児童対策の事業等に関わる地域人財を対象に、学習・体験活動等の企画・実施方策、

安全管理方策等の資質向上を図るための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を図るため、合同の研修会を開催する。

○期日：前後期各1日（東青地区の後期は2日）

地区	前期	後期
東青	6/11(火)	9/10(火)、9/11(水)
西北	6/6(木)	10/4(金)
中南	7/12(金)	9/27(金)
上北	6/5(水)	10/28(月)
下北	6/12(水)	10/9(水)
三八	6/4(火)	10/10(木)

○対象：地域学校協働活動推進員等、協働活動支援員、協働活動サポーター、特別支援・共生社会サポーター、放課後児童支援員等

(3) 統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員の配置

県内の地域学校協働活動を推進するため、統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員(地域学校協働活動コーディネーターアドバイザー)を配置し、市町村教育委員会との連絡調整、地域学校協働活動の理解促進、情報提供等を行った。

<主な活動実績>

※ 重点枠事業「地域と学校とのパートナーシップ強化事業」にも記載したもののうち、主として講師等を務めたもの。

◎情報提供等

- ・五所川原市地域学校協働活動推進員研修会(6/13(木))
- ・平内町地域学校協働本部運営委員会(7/18(木))
- ・つがる市学校運営協議会委員及びつがる市地域学校協働活動推進員研修会(9/26(木))
- ・第2回弘前市公民館関係職員研修会(12/18(水))
- ・弘前市コミュニティ・スクール関係者研修会(2/12(水))

◎情報発信・・・「みんながつながる 地域学校協働活動便り」発行

第12号(6/18(火))、第13号(7/30(火))、第14号(9/24(火))、第15号(10/30(水))、第16号(1/9(木))、第17号(3/3(月))

・市町村教育委員会、県立学校等へ配布

◎情報収集…情報提供・情報発信のために、多数の研修会等へ参加した。

2 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助 34,854千円

[事業目的及び概要]

市町村が行う地域学校協働活動の推進に要する経費について、県が補助を行う事業である。

[事業内容]

地域学校協働活動(放課後子供教室を含む。)の取組を行う市町村(中核市を除く。)に補助金を交付する。

【国庫補助 1/3、県補助 1/3、市町村負担 1/3】

交付先 20市町村、地域学校協働本部 30本部、放課後子供教室 72教室

平内町 今別町 外ヶ浜町 五所川原市 つがる市 鱒ヶ沢町 鶴田町 中泊町

弘前市 平川市 大鰐町 十和田市 三沢市 六戸町 おいらせ町 むつ市

風間浦村 佐井村 三戸町 五戸町

[成果]

- ・各研修会において、参加者同士の情報交換ができ、それぞれの業務内容や課題について交流・共有することができた。
- ・今年度も複数の自治体から、統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員に講師依頼があった。自治体の現状やニーズに合った情報提供ができたことから、自治体担当者や参加者の地域学校協働活動への理解が深まった。
- ・補助金の交付を通じ、各市町村における地域学校協働活動の充実につながった。

〔課題〕

- ・今後も、参加者同士の情報交換やネットワークが形成される研修会を充実する必要がある。
- ・国の放課後児童対策パッケージ等に対し、引き続き、こども家庭部と連携しながら、市町村における課題解決、円滑な取組促進が図られるように支援していく必要がある。

あおもり家庭教育支援総合事業 2,514千円

〔事業目的及び概要〕

社会や家庭を取り巻く状況の変化に伴い、家庭教育が一層困難になっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育ができることを目的として、今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するための協議を行い、地域全体で家庭教育を支援していく気運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの機会の充実や支援のネットワークづくり等を行う事業である。

〔事業内容〕

(1) 青森県家庭教育支援推進協議会の開催

今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するため、本県の家庭教育支援事業(学習機会の提供や支援者の活動を推進する研修等)について協議した。

○構成：有識者、家庭教育支援者など 10名以内

○回数：年2回

(2) 家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム」の作成・周知

家庭教育の学習を推進するため、「あおもり家庭教育アドバイザー」が活用する家庭教育の学習テキストを作成する。また、「あおもり親楽プログラム」の活用促進を図るためのリーフレットを関係各所へ配布した。

○体裁：A4判小冊子「改訂版あおもり親楽プログラム」1・2・3の増刷 850部

(3) 青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会の開催

社会全体で家庭教育を支援するため、家庭教育支援に関わる方々が一堂に会し、家庭教育の今日的な課題等について学習するとともに、市町村職員及び家庭教育支援関係者等のつながりを深める研修会を県内2地区で開催した。

地区	日時	場所	参加者数	内容
西北	8/29(木)	鶴田町公民館	28名	講義・演習 「ペアレントトレーニングで学ぶ 親と子の幸せなかかわり方」
上北	8/30(金)	十和田市民文化センター	31名	講師 郡山家庭教育を支援する会 圓谷 円

(4) あおもり家庭教育応援フォーラムの開催

地域が一体となって子どもたちを育むことについて学びを深める講演会及び様々な家庭教育支援に関する情報提供等を通して、家庭教育についての理解と認識を深め、地域全体で家庭教育を支援する意義や必要性についての普及・啓発を行った。

○期日：12/7(土)

○場所：県総合社会教育センター

○参加者数：35名

○内容：ア 講演：「野性的で多様性に富み、共存できる人に」

イ 質問コーナー：「ここが知りたい 安家先生 子育てQ&A」

講師：(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長 安家 周一

(5) 地域の家庭支援を目指した多世代交流・参加型研修会の開催(県地域婦人団体連合会へ委託)

地域の子どもからシニアまでの多世代を対象とした、気軽に参加・交流できる生涯スポーツ的なレクリエーション体験や食育等の学ぶ機会を提供し、地域の家庭支援の土台となる全世代の健康増進や交流・活性化に寄与する研修会を県内2地区で開催した。

地区	日時	場所	参加者数	内容
西北	9/26(木)	鱒ヶ沢町山村開発センター	70名	スカットボールを一緒に楽しもう
下北	9/28(土)	東通村体育館	40名	わなげゲームを一緒に楽しもう

(6) 読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成

県読書団体連絡協議会への委託により、読み聞かせの効果や家庭での読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成と、読み聞かせ実践者のスキルアップを図る研修会を県内

6 地区で開催し、合計 181 名が受講した。そのうち、親子ふれあい読書アドバイザーとして新たに 28 名を登録した。(累計登録者数：553 名)

地区	期日	場所	参加者数	講師
東青	10/12(土)	油川市民センター	15 名	親子ふれあい読書アドバイザー 工藤 清子
西北	10/21(月)	深浦町役場町民文化ホール	18 名	アートセラピーパステル 今 ゆき子 親子ふれあい読書アドバイザー 北澤 由美子
中南	10/23(水)	平川市文化センター	50 名	歌とおはなしグループ「かぜ」 代表 谷 京子
上北	10/14(月)	十和田市民図書館	36 名	語りの会「こま草」 藤盛 順子 阿部 智留恵 他 2 名 青森県読書団体連絡協議会 副会長 西村 恵美子
下北	9/21(土)	むつ市立図書館	4 名	青森大学社会学部 教授 秋田 敏博
三八	11/19(火)	八戸市津波防災センター	58 名	八戸市読書団体連合会読書部 会長 前田 敏子 A T Vフリーアナウンサー 川口 浩一

【成果】

- ・各種研修会において、家庭教育に係る今日的な課題についての学びを提供し、参加者同士の交流・情報交換を行うことができた。
- ・家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム」を活用した研修会を勧める P R 活動を、年間をとおして行い、特に小中学校に広く認知されるようになってきた。
- ・家庭教育支援団体や事業委託団体と適宜、情報交換を行い、県内の家庭教育支援に係る現状や課題について把握することができた。

【課題】

- ・地域全体で家庭教育を支える気運を醸成するための魅力ある研修会を企画・提供していくことが課題である。
- ・家庭教育を支援する個人・団体をフォローアップするための体制を構築していくことが課題である。

県総合社会教育センター

大学生とカタル！キャリア形成サポート事業 1,415 千円

【事業目的及び概要】

大学生が在学中に専門的な研修(コミュニケーション、コーチング等)を受講し、一定のスキルを獲得した上で、高校生等を対象にワークショップを企画運営してもらい、社会人としての実践力を身に付けるための一助とする。

また、高校生等は、ワークショップで、少し年上の大学生と自分の今と将来等について「カタル」ことにより、自分自身と向き合うためのきっかけづくりとする。

ワークショップの開催を通して、参加者全員が自らの夢や目標に向かい、主体的に行動できる人材の育成に繋げるとともに、双方のキャリア形成のサポートに資するものである。

【事業内容】

(1) ワークショップ「キャリサポ」(高校企画)、「Jr. キャリサポ」(中学校企画)の実施

高校生等の意欲を引き出し、自分自身の見つめ直しにつながる、大学生によるワークショップを開催する。

ア 時期：8～2 月

イ 対象校：実施希望の県内高等学校 10 校、中学校 3 校(東青、上北、下北地区)

ウ 対象生徒：実施校の高校生及び中学生

(2) ワークショップ実施に向けたキャリア支援活動

- ア 関係者研修会の開催
 - (ア) 教員対象担当者会議
- イ 大学生研修会の実施
 - (ア) 基本研修
 - (イ) ワークショップ演習
 - (ウ) 合同リハーサル
 - (エ) 応用研修
 - (オ) チーフ研修
 - (カ) 大学生会議

[成果]

(1) 関係者研修会：5/10(金)オンライン実施。高校担当者9名参加。中学校担当者は個別対応。

(2) 参加者の状況

- ア 高校生等の参加状況
 - (ア) 高校生・・・1,526名（実施校・・・10校）
 - (イ) 中学生・・・375名（実施校・・・6校）
- イ 大学生の参加状況
 - (ア) 新規登録者・・・193名（全登録者710名）
- ウ 大学生の研修受講人数状況
 - (ア) 基本研修（年間3回）・・・157名
 - (イ) ワークショップ演習（年間3回）・・・163名
 - (ウ) 応用研修（年間2回）・・・24名
- エ 大学生のワークショップ参加者
 - (ア) 実人数・・・189人
 - (イ) 延人数・・・527人
- オ 実施校別内訳
 - (ア) 高等学校対象ワークショップ「キャリアサポ」

No.	期日	実施校	対象生徒	参加大学生
1	8/23(金)	北斗高等学校	2学年(9クラス159名)	50名
2	28(水)	大湊高等学校	1,2学年(8クラス266名)	58名
3	30(金)	野辺地西高等学校	1学年(3クラス74名)	30名
4	9/4(水)	弘前南高等学校	1学年(5クラス199名)	63名
5	6(金)	五所川原第一高等学校	1学年(2クラス32名)	20名
6	9(月)	六ヶ所高等学校	1,2学年(2クラス76名)	21名
7	18(水)	三本木農業恵拓高等学校	1,2学年(5クラス160名)	46名
8	20(金)	黒石高等学校	1学年(5クラス198名)	60名
9	2/12(水)	八戸工業大学第二高等学校	1学年(6クラス194名)	41名
10	18(火)	柴田学園高等学校	1学年(5クラス168名)	51名

(イ) 中学校対象ワークショップ「Jr. キャリサポ」

	期日	実施校	対象生徒	参加大学生
1	9/3(火)	上磯地区中学4校合同 (蟹田、三厩、蓬田、今別)	蟹田中・・・全学年(3クラス49名) 三厩中・・・2,3学年(2クラス9名) 蓬田中・・・全学年(3クラス64名) 今別中・・・全学年(3クラス14名)	49名
2	11(水)	七戸町立天間林中学校	3学年(1クラス41名)	17名
3	13(金)	むつ市立田名部中学校	3学年(6クラス198名)	48名

[課題]

・卒業後に県内に残り、当事業で学んだことを生かしながら、青森県のために活躍したいと考える人材を育てていくことが必要である。

- ・郷土の魅力やふるさとへの誇りなど、青森県に関する内容に触れることが必要である。

高校生スキルアッププログラム推進事業 225 千円

〔事業目的及び概要〕

学校外学修への積極的な取組とレポート作成によって、高校生の知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図ることを目的とする事業である。

〔事業内容〕

- (1) 高校生スキルアッププログラム(スキルアップ認定証・奨励証の交付)の運営
- (2) 教員説明会の実施
- (3) 評価サービス
- (4) 県民カレッジとの連携

〔成果〕

- ・教員説明会 5/10(金)オンライン開催。高校担当者 15 校 19 名が参加。
- ・参加校数 28 校、参加人数 3,714 名、認定証 54 件、奨励証 45 件
- ・事業連携によるあおもり県民カレッジ新規入学者数 986 名

〔課題〕

- ・生徒が多様な社会活動に取り組み、知識や経験の幅をより広げられるよう、様々な学校外学修情報の提供を継続する必要がある。
- ・参加校や事業の実態に応じて要項の改定を行う必要がある。また、申請に伴う作業負担を軽減するため、生徒や高校担当者にとってわかりやすく使いやすい内容となるよう、マニュアルや申請様式等の改善に引き続き取り組む必要がある。

青森で生きる未来人財育成事業 872 千円

〔事業目的及び概要〕

青少年の自己肯定感や主体性を高めることを目的として、高校生を地域で行われるボランティア活動に派遣する。

〔事業内容〕

- (1) ボランティアチーム養成講座の実施

異年齢交流などの多様な体験活動実施のため、様々なボランティア活動について扱う講座を実施。

	実施日時	内容・講師	受講者数
1	6/9(日) 14:00~15:00	テーマ:「ボランティア活動」 日本赤十字社青森県支部 事業推進課 主事 岩井 雄太郎	41 名
2	6/15(土) 14:00~15:00	テーマ:「スポーツボランティア」 株式会社 ブランデュエ弘前 代表取締役 西澤 雄貴	31 名
3	6/30(日) 14:00~15:00	テーマ:「子育て支援ボランティア」 family café あづま〜る 代表 藤林 秀	27 名

- (2) ボランティアチーム員の登録者数及び派遣、コーディネート先

(令和 6 年度登録者の居住地)

[単位:人]

青森市	五所川原市	弘前市	十和田市	三沢市	野辺地町	六戸町
18	4	1	8	3	1	1
東北町	七戸町	むつ市	東通村	八戸市	五戸町	南部町
1	1	1	1	9	1	1
岩手県二戸市		〔計 15 市町村〕				
1						

団体名	活動名及び活動内容	回数/人数
十和田市農林商工部 戦略課	とわだ産品販売 十和田にんにくの日/ブースの運営補助	1/1

八戸市総合政策部 市民連携推進課	わいぐ交流会／ブース及びステージの運営補助	1/3
弘前市教育委員会 文化財課	大森勝山遺跡冬至の魅力発信ツアー／運営補助	1/2
県総合社会教育センター 教育活動支援課	生涯学習フェア 2024／ブースの運営補助	1/1
青森スポーツクリエイション株式会社	青森ワッツホームゲーム／会場設営・撤去、競技運営	4/7
脳卒中と向き合う活動団体 OneFeels	脳卒中と秋祭り 2024／ブース及びステージの運営補助	1/1
NPO法人子どもネットワーク・すてっぷ	すてっぷ子ども教室 2024／小学生の活動支援	1/1
特定非営利活動法人 日本人財発掘育成協会	ギビング・ツリー2024／プレゼントの受け渡し	2/2
family café あづま〜る	family café あづま〜る／子育てサロンの運営補助	1/2
平川市教育委員会	こつこつ教室／学習支援	1/1
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会	広報ボランティア／啓発・PR活動	2/4

【成果】

- ・ボランティアチーム養成講座について、オンライン受講及び後日のアーカイブ視聴が可能であることにより、県内全域からの参加につながった。
- ・県内の市町村教育委員会及びNPO活動支援担当課に四半期ごとに活動照会を行ったことで、これまでより多くの活動情報を集約して高校生へ情報提供でき、派遣回数 16 回、派遣人数はのべ 25 名となり、前年度より 12 名の増加につながった。

【課題】

- ・ボランティアチーム養成講座について、アーカイブ視聴者の増加に伴い、オンライン受講者が減少しているため、受講者相互のネットワークづくりや実践活動への参加につながる内容を検討する必要がある。
- ・全 3 回の講座受講を活動派遣の条件としたため、受講者数と比較してボランティアチームへの登録者数が少ない傾向が見られた。事業の仕組みを見直し、活動派遣へ効果的につなげる必要がある。

青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業

【事業目的及び概要】

青少年の社会参加活動・創作活動の推進に取り組むための方策の研究を目的として、高校生・大学生・専門学校生等を中心に社会参加活動・創作活動を行っている団体をモデル団体に指定し、支援する事業である。

【事業内容及び結果】

- (1) 団体募集(高校生や大学生、専門学校生等を主体とした団体)
- (2) 団体の指定

	団体名	校種	主な活動内容	人数
社会参加活動	Lesta	高校 大学	・異年齢交流活動の企画、運営 ・小中学生対象の学習支援 ・発達障がい等についての研修	19 名
	青森大学三味線部	大学	・異年齢交流活動の企画、運営 ・伝統芸能継承活動の企画、運営 ・スキル向上のための練習、講習会	21 名
	Glacies	大学	・異年齢交流活動の企画、運営 ・カーリングやスポーツ人口拡大に向けた活動の企画、運営	16 名

創作活動	ORION. liveproject	高校	・青森市内の高校生を主体としたイベントの企画、発表	10名
------	--------------------	----	---------------------------	-----

(3) 団体の活動に対する支援

- ア 研修室等使用料の減免
- イ 運営会議・研修・作業等での教材開発室の使用承認
- ウ 発表の場の提供(生涯学習フェア等)
- エ 情報発信用の専用掲示スペースの設置
- オ 所報「響」やHP等での活動状況の紹介
- カ 社会教育主事等による情報提供とアドバイス
- キ 地域活動団体、創作活動団体、教育活動団体等との連携に関する連絡調整
- ク 協力名義使用の承認(「協力 青森県総合社会教育センター」など)

(4) 研究のための代表者会議の開催

[成果]

- ・青少年社会参加活動モデル団体として3団体、創作活動モデル団体として1団体を指定し、主に研修室等使用料の減免や協力名義使用の承認等の活動に対する支援を行った。
- ・イベントの開催の仕方や必要となる手続き等、活動に対する情報提供やアドバイスを求める団体を支援した。
- ・代表者会議では、各モデル団体の代表者及び役員等参集者を拡大し、各モデル団体の活動状況報告と団体同士の横のつながりを強化する演習を行ったことで、学生団体の活動を持続的に推進するために必要な支援のあり方について研究材料を蓄積することができた。

[課題]

- ・モデル団体同士のつながりの更なる強化が必要である。
- ・活動を更に活性化させるとともに、どのような支援をすれば、各モデル団体が持続的に活発に活動できるか、支援策を検討する必要がある。

あおもり家庭教育力向上事業	957千円
---------------	-------

[事業目的及び概要]

地域における家庭教育支援体制を整備することを目的として、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催するとともに、そこで養成した人財を「あおもり親楽プログラム」を使う研修会等に派遣する事業である。

[事業内容及び結果]

(1) あおもり家庭教育アドバイザー養成講座

実施地区	中南	下北
会場	弘前市総合学習センター	下北文化会館
開催回数	全6回(6月～11月の月1回)	全6回(6月～11月の月1回)
受講者数	18名(のべ59名)	16名(のべ47名)
うち新規登録者数	7名	8名

回	期日・地区	内容・講師
1	6/11(火)・中南	開講式・オリエンテーション 講義「家庭教育支援者の役割・心構え」 特定非営利活動法人 十和田NPO子どもセンター・ハピたの 代表理事 中沢 洋子
	6/21(金)・下北	

2	7/ 4(木)・中南	講義「子どもの気持ちを理解するために」 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 教授 差波 直樹
	7/31(水)・下北	演習「あおもり親楽プログラムⅠ」 県総合社会教育センター 職員
3	8/22(木)・中南	講義・演習 家庭教育支援チーム・子育て支援団体等見学 中南地区 社会福祉法人五倫会 幼保連携型認定こども園 美郷こども園 保育教諭 井澤 直央子
	8/ 2(金)・下北	下北地区 社会福祉法人むつ中央福祉会 大平保育園 園長 岩谷 涼子
4	9/ 5(木)・中南	講義「気になる子どもの理解と対応」 青森県発達障がい者支援センター「Doors」 センター長 分枝 篤史
	9/12(木)・下北	演習「あおもり親楽プログラムⅡ」 県総合社会教育センター 職員
5	10/17(木)・中南	講義「今、親が悩むこと」 柴田学園大学生生活創生学部 こども発達学科 講師 萩臺 美紀
	10/24(木)・下北	演習「あおもり親楽プログラムⅢ」 県総合社会教育センター 職員
6	11/ 6(水)・下北	演習「あおもり親楽プログラムⅣ」 県総合社会教育センター 職員
	11/20(水)・中南	閉講式

(2) あおもり家庭教育アドバイザースキルアップ講座

開催日時	11/17(日) 10:00～12:00
開催形態	オンライン・アーカイブ方式
内容	講義 「スマホと子育て」 株式会社ミヤノモリ・ラボラトリー 代表取締役 高橋 大洋
受講者数	24名

(3) あおもり親楽プログラム普及活動

派遣回数	16回
派遣のべ人数	のべ34名
主な派遣先 (イベント等)	・蓬田村教育委員会 (家庭教育学級) ・むつ子育てイベント実行委員会 (親子マルシェ) ・外ヶ浜町立蟹田小学校 (参観日全体会) など

(4) あおもり家庭教育アドバイザー登録情報の管理

(5) あおもり家庭教育アドバイザーの活用

[成果]

- ・受講者の満足度が高く、アドバイザーとして地域で活動していこうとする意欲が見られた。
- ・アドバイザー派遣実績数が増え、多くのアドバイザーを派遣することができた。

[課題]

- ・アドバイザーの人数が増えているが、活動する機会が少なく、人財を活かしきれていない。
- ・「親楽プログラム」「家庭教育アドバイザー」の認知度が低いため、周知の仕方を工夫する必要がある。

家庭教育支援動画制作普及事業 3,580 千円**[事業目的及び概要]**

子育てに対する不安や悩みを解決する糸口とし、家庭教育の充実を図ることを目的として、子育て情報を動画により発信する事業である。

[事業内容]

(1) 家庭教育支援動画等の制作(委託業者制作)

	タイトル	動画時間
1	家庭教育ってなに？	約3分
2	家庭から始める防災(小学校低学年編、中・高学年編、小学校編、中高生編、総集編)	約6分～10分
3	あおり家庭教育アドバイザー	約3分30秒
4	あおり子育てネットCM	15秒

(2) 家庭教育支援動画等の放映・配信

ア 期日 2/1(土)～2/28(金)

イ SNS種別 YouTube、Facebook、Instagram、xで配信

(3) あおり子育てネットの活用・普及啓発

あおり子育てネットに関するポスター・チラシを制作・発送

ポスター：県内幼稚園、保育園、こども園、小中高等学校、支援団体等1,600ヶ所へ送付

チラシ：2,000部作成し、大型商業施設や総合社会教育センター家庭教育関係事業にて配布

[成果]

- ・関心の高い防災動画や講座・周知で活用しやすい教材動画を制作することができた。
- ・より多くの子育て中の県民へ届くため、SNSを活用するとともに、ポスター・チラシ、県の情報誌等でも周知を行った。

[課題]

- ・YouTubeの視聴回数等から今後の動画制作の在り方を検討していく段階にきている。
- ・県民のためとなる動画テーマの選定をする必要がある。

家庭教育相談事業 372 千円**[事業目的及び概要]**

子育て中の不安や悩みを軽減することを目的として、乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族を対象に、電話・メール等により、寄り添い型の家庭教育相談を行う事業である。

[事業内容]

(1) 対象：乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族

(2) 実施方法：電話相談・週3回 月・水・木曜日(祝日・年末年始を除く)13:00～15:00
メール相談・24時間受付

(3) 場所：県総合社会教育センター電話相談室

(4) 対応内容：発育・発達、しつけ、対人関係などのこどもに対する悩みや家庭教育全般について

(5) 相談体制：家庭教育相談員が対応

(6) 相談件数：17件(電話相談10件、メール相談7件)

[成果]

- ・相談者の悩みに対し、寄り添いながら冷静に対応することができた。
- ・相談者の悩みが軽減し、行動変容につながるような対応ができた。
- ・各相談機関との情報交換や研修会を開催したことによって、相談員の資質向上につながった。

[課題]

- ・相談内容が複雑化・深刻化しているため、相談員の資質向上や専門機関への紹介等がより求められるようになる。
- ・相談件数が昨年度に比べ、大幅に減った。県だけではなく、市町村でも相談機関が充実してきており、今後の在り方について検討していく必要がある。

県立図書館

こどもの読書活動推進のための図書セット貸出事業

[事業目的及び概要]

こどもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に対して、幼児・児童・生徒用の図書セットを貸出する事業である。

[事業内容及び結果]

図書セットの内容		利用対象	配本先	配本冊数
1 市町村内巡回図書セット	(1) 小学校	低学年	74	2,600
		中学年	76	2,640
		高学年	76	2,640
	(2) 中学校	中学校	21	900
	(3) 読み聞かせ絵本児童書等	幼稚園・保育所等	101	2,760
	(4) 大型絵本	幼稚園・保育所等	107	570
2 学習支援セット		小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等	10	868
3 ミニセット		市町村立図書館等(一部、高等学校・特別支援学校を含む。)	48	1,343

[成果]

学校や市町村立図書館等への支援を継続的に行うことができている。

[課題]

学習支援セットについては利用しやすいようにテーマの見直しを行い、貸出数増加につながるよう利用方法について周知していく必要がある。引き続き新しい本を利用してもらえるように、毎年度一定数、図書セットの内容更新を進めていく。

県立梵珠少年自然の家

県立梵珠少年自然の家主催事業 1,615千円

(1) 看板事業

〔事業目的及び概要〕

小学生から中学生までの幅広い年代の「こども」を対象に、豊かな自然環境の中で行う野営・野外炊事などの様々な自然体験活動をとおして、基本的な生活習慣の確立や仲間と協力しようとする態度を育んでいく事業である。

〔事業内容及び結果〕

活動名	期 日	対 象	参加者数	内 容
9歳アドベンチャーキャンプ①～ひとりできるぞ～	7/13(土)～ 7/15(月)	小学3年～ 小学4年 の児童	36名	野外活動(アドベンチャーゲームほか)、キャンドルサービス、野外炊事、思い出クラフト、館内シュラフ泊
夏のチャレンジキャンプ～山に！川に！真夏の挑戦2024～	8/7(水)～ 8/10(土)	小学5年～ 中学3年 の児童生徒	30名	野外活動(登山・ラフティング・キャンプファイヤーほか)、見学(津軽ダムほか)、野外炊事、市街外食、思い出クラフト、テント泊
9歳アドベンチャーキャンプ②～ひとりできるぞ～	10/12(土)～ 10/14(月)	小学3年～ 小学4年 の児童	35名	野外活動(アドベンチャーゲームほか)、キャンドルサービス、野外炊事、思い出クラフト、館内シュラフ泊
冬の3days キャンプ～かまくら基地をつくって冬を楽しもう～	1/10(金)～ 1/12(日)	小学4年～ 中学2年 の児童生徒	34名	かまくら基地作り、野外活動(チューブそり、スノーシューハイク)、屋内活動(館内QRゲーム)、炊事体験、思い出クラフト、館内泊
7歳わんぱくキャンプ～寒さに負けないぼんじゅキッズの冬遊び～	2/15(土)～ 2/16(日)	小学1年～ 小学2年 の児童	28名	ぼんじゅスノーランド作り・遊び、炊事体験、思い出クラフト、館内泊

〔成果〕

- ・定員を上回る応募者のニーズに応え、定員や実施回数を増やすなどの取組ができた。
- ・昨年度の反省等を生かし、活動プログラムや内容などを見直した上で実施したことにより、参加者の満足度を高めることができた。
- ・救護員、救護補助員、ボランティアスタッフの人数や体制を強化したことにより、安全性をより高めることができた。

〔課題〕

- ・定員や実施回数を増やしてもなお定員をオーバーし、抽選で参加者を決定しなければならない事業があったため、さらに実施方法等を検討していく必要がある。
- ・参加者の中には特別な支援を要する者もしばしば含まれていたため、保護者との連絡や連携を密にし、受入れ体制をさらに充実させていく必要がある。

(2) 養成事業

〔事業目的及び概要〕

当施設利用団体の引率者や高校生・大学生などを対象に、豊かな自然環境の中で行う活動プログラムや自然体験活動を安心・安全に実施するための研修やセミナー、講座等の開催をとおして、自然体験活動の指導者及びボランティアを養成する事業である。

[事業内容及び結果]

活動名	期 日	対 象	参加者数	内 容
施設利用団体事前打合せ研修	(全体会) 4/16(火) (個別研修会) 利用日の14日前までに実施	令和6年度利用予定団体の引率者	(全体会) 36名	(全体会) 講義、説明、活動プログラム体験(野外活動、屋内活動、創作活動)
自然体験活動ぼんじゅボランティアセミナー (1)入門(必修) (2)春を楽しむサン day (3)ファミリーS キャンプ (4)9歳アドベンチャーC① (5)ネイチャークラブ① (6)夏のチャレンジキャンプ (7)ネイチャークラブ② (8)9歳アドベンチャーC② (9)ぼんじゅフェスタ (10)クラフト day (11)ウィンタースクール (12)冬の3days キャンプ (13)ホワイト day (14)7歳わんぱくキャンプ (15)ふりかえり(任意) (16)実践レポート	実施日は各事業を参照 (1)5/11(土) (15)3/8(土)	高校生及び大学生	(1)72名 (2)6名 (3)9名 (4)15名 (5)4名 (6)11名 (7)4名 (8)17名 (9)15名 (10)10名 (11)2名 (12)13名 (13)6名 (14)15名 (15)35名 (16)7名	(1)の「ボランティア入門セミナー」は必修として受講した後、看板事業、親子事業、学習・生活習慣支援事業の全13事業の中から1つ以上を選択して受講する。なお、(15)の「ボランティアふりかえりセミナー」は任意参加とする。 セミナー受講者は、事業参加1日につき1単位を付与し、計7単位以上を取得した者は「マスターボランティア」、計30単位以上を取得した者は「レジェンドボランティア」として認定する。実践レポート提出にも1単位を付与する。
ぼんじゅ出前講座	通年実施 【各回即日】 ※直接指導は 11月～ 3月のみ	小・中学校、各種学校、青少年教育団体、幼児施設等	3120名	対象の団体が開催する各種行事(事業)において、直接指導又は間接指導を行う。 なお、派遣職員の旅費は無料とし、活動材料費や用具運搬費は団体の負担とする。

[成果]

- ・実施3年目の「施設利用団体事前打合せ研修」は、研修を必要とする人がより効率的に行うことができる研修に定着してきたという意見等が、参加者アンケートから多く聞かれた。
- ・「自然体験活動ぼんじゅボランティアセミナー」は、登録者の8割を超える者が必修以外のセミナーにも参加し、昨年度を大幅に上回る参加率を達成することができた。
- ・「ぼんじゅ出前講座」では、コミュニティ・スクールでのイベント活動など、多くの人が参集する場面での利用が増えたことにより、昨年度を上回る利用者数となった。

[課題]

- ・「自然体験活動ぼんじゅボランティアセミナー」では、登録者の学校での試験期間と事業日が重なることなどがあり、予定のボランティアスタッフ数に満たなかったこともあったため、別途、近隣の高等学校にボランティアを依頼するなど、対応策を検討しておく必要がある。

(3) 親子事業

[事業目的及び概要]

小・中学生を含む保護者とその家族、いわゆる「親子」を対象に、豊かな自然環境の中で行う自然に親しむための体験活動や創作活動を通して、家族のふれあいや絆を深める機会を提供する事業である。

[事業内容及び結果]

活動名	期日	対象	参加者数	内容
春を楽しむサン day ～五感を使って、春の自然を楽しく学ぼう～	4/29(月)	小・中学生を含む保護者とその家族	142名 (42家族)	野外活動(春の自然観察)、野外炊事(カートンドック)、創作活動
ファミリースプリング キャンプ ～家族で初めてのキャンプ体験をしてみませんか～	5/25(土)～ 5/26(日)		59名 (18家族)	テント泊、野外炊事(ダッチオープン料理、ライスクッカー料理)、野外活動(自然散策、ぼんファイヤーほか)、創作活動
自然体験ぼんじゅフェスタ～学・創・食・遊の体験ブースで梵珠の秋を満喫しよう～	10/27(日)		130名 (37家族)	ダッチオープン体験、ホットサンドメーカー体験、たき火・火起こし体験、本格リース作り体験、創作プログラム体験、遊びリンピック、館内食体験、セルフカフェ
冬をいろどるクラフト day～クリスマス・お正月飾りを親子でつくろう～	12/8(日)		103名 (29家族)	クラフト①「ミニ門松」、クラフト②「絵馬」、クラフト③「クリスマスフォトフレーム」、クラフト④「クリスマスきになる木」 ※その他、昼食提供やセルフカフェの開設あり
冬を楽しむホワイト day～親子で白銀の世界へとびだそう～	2/1(土)		30名 (10家族)	野外活動①(ミニ雪灯籠作りなどから選択)、館内炊事、野外活動②(チューブそり遊びなど自由活動)

[成果]

- ・昨年度の反省等を生かし、活動プログラムや内容などを見直した上で実施したことにより、昨年度並み又は昨年度以上の参加者数となった。
- ・ボランティアスタッフが明るく親切に接してくれたことなどが、参加者の満足度につながったということ、参加者アンケートなどからうかがうことができた。

[課題]

- ・「冬を楽しむホワイト day」は、昨年度より参加者数が減少したため、季節の行事である節分などに関連付けた内容の見直しなどを図りたい。

(4) 学習・生活習慣支援事業

[事業目的及び概要]

小学生から中学生までの「こども」を対象に、豊かな自然環境の中での体験活動を行いながら、主体的に学んだり、規則正しい生活を送ったりする活動をとおして、その後の学校・家庭生活に役立てていくこととする基礎的態度を育てていく事業である。

[事業内容及び結果]

活動名	期日	対象	参加者数	内容
ぼんじゅネイチャー クラブ	① 7/27(土) ② 8/24(土)	小学3年～ 小学6年 の児童	① 20名 ② 13名	① カブトムシトラップ、ホテル観察 ② 水中生物の観察
ぼんじゅウィンタースクール	12/24(火)～ 12/26(木)	小学4年～ 中学2年 の児童生徒	9名	学習タイム、館内食、歯みがきタイム、野外活動タイム(雪灯籠作り、スノーシューハイク、雪上運動会)、フリータイム

【成果】

- ・「ぼんじゅネイチャークラブ」は、年度始めに配布したイベント情報に本事業を掲載し広く周知したことにより、昨年度より参加者数が増えた。
- ・「ぼんじゅウィンタースクール」では、事業に対応する研修課職員をシフト制としたことにより、職員の負担軽減につなげることができた。

【課題】

- ・「ぼんじゅウィンタースクール」は、定員を大きく下回る参加者数であったため、事業の趣旨に則りながらも、魅力のある活動プログラム開発が必要不可欠である。

県立種差少年自然の家

種差少年自然の家主催事業(自然と遊ぼう、こどもの祭典) 1,764千円

【事業目的及び概要】

年長児・小・中学生が自然の中で家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましいこどもを育てることを目的として、種差少年自然の家周辺の山野や海での自然体験活動や創作活動、キャンプ活動などの学習機会の提供をする事業である。

【事業内容】

(1) 自然と遊ぼう

活動名	期 日	対 象	参加者数	内 容
たねさしワールド 「春を感じて」	5/12(日)	年 長 児 ・ 小・中学生 とその保護 者	93名	春の自然を楽しもう ・潮風トレイルウォーク、創作活動 他
たねさしワールド 「エンジョイ! 海遊び」①②③④ ※4回開催	7/6(土)		133名	海で思いっきり遊ぼう ・いかだやカヌー遊び、サンドクラフト作り、磯遊び 他
	7/7(日)		122名	※7/7、8/31は荒天のため、館内活動となった。実施内容は、ニュースポーツ、ロープワーク、貝がらアート 他
	8/31(土)		124名	
	9/1(日)		138名	
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/13(日)		125名	秋の自然を楽しもう ・ツリークライミング、火おこし体験 ・秋の冒険ウォーク、マープリングアート 他
たねさしワールド 「冬の季節を感じて」 ※2回開催	12/7(土)	56名	・ミニしめ飾りづくり	
	12/8(日)	71名		
たねさしワールド 「エンジョイ! 雪遊び」①② ※2回開催	2/1(土)	4歳以上の 幼保・小・中 学生とその 保護者	110名	冬の自然を楽しもう ・スノーチューブすべり、そりあそび、 ぐにやぐにや凧あげ、せんべい焼き 他
	2/2(日)		111名	
たねさしワールド 「こども大作戦」 ①② ※2回開催	2/22(土) ～23(日)	小学3年 ～4年	114名	こどもだけでとまってみよう ・仲間づくり、星空ちょうちんハイク、こども体験ツアー(ツリークライミング、スノーチューブすべり、凧揚げ、ぶんぶんごま作り、砂鉄ストラップ作り) 他
	3/1(土) ～2(日)	小学1年 ～2年	110名	

(2) こどもの祭典

事業名	期 日	対 象	参加人数	内 容
おいでよ! サマーキャンプA	7/30(火) ～31(水)	小学5年～ 中学3年	78名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・キャンプファイヤー ・追跡ハイキング・チャレンジ大会 ・火おこし体験 他
おいでよ! サマーキャンプB	8/10(土) ～11(日)		74名	
わくわくどきどき ウィンターキャン プ	12/25(水) ～27(金)		78名	・冬の野外テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・星空のつどい ・ボンファイヤー ・発見ウォーク ・記念クラフトづくり 他

[成果]

- ・自然と遊ぶの事業には定員以上の申込みがあり、参加者にとっては活動プログラムが、自然の中で年少児から大人まで楽しめるものになっているので、好評であった。
- ・自然と遊ぶの事業では、「春」「夏」「秋」「冬」の四季折々の種差の自然環境を生かしたプログラムと新プログラムの提供をしている。
- ・こどもの祭典の事業では、中学生の参加者が例年よりも多く、そのため、リーダーとして小学生に積極的に支援したり、話し相手になったりと、交流と絆が深まった。

[課題]

- ・ほとんどの事業で定員を上回る応募者数があり、抽選となったところが多く、今後参加人員を増やすなどの工夫が必要である。
- ・こどもの祭典では、小学生の参加が多いのであるが、中学生が少ないので、各中学校にも呼びかけていきたい。
- ・こども大作戦では、ひとつの小学校に応募者が集中することが多かったので、抽選の際は考慮していきたい。

自然体験活動支援事業	349 千円
------------	--------

[事業目的及び概要]

学校や公民館、児童館、放課後児童クラブなどの身近な施設内外の活動場所で、こどもたちに自然体験活動やニュースポーツ活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に出向いて自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の実地支援を行う。また、自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の指導者の資質能力の向上を目的として、小・中学校等の教職員及び青少年団体指導者、市町村社会教育関係者等の指導職員を対象に行う研修事業である。

[事業内容]

事業名	期 日	対 象	参加者数	内 容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10～3月 *6～9月は 原則として 実施なし	三八、上北管内の 小・中学校、児童館、 公民館、放課後児童 クラブ、青少年団体 や成人団体 等	177 団体 16,727 名	種差少年自然の家のプログラムの中で出前対応可能なもの (せんべい焼き、フォトフレーム、ど んぐりアート、動物マグネット、たね さし万華鏡、ミニ門松 他)
自然体験活動 研修会	5/25(土) ～26(日)	小学校・特別支援学 校教諭、市町村教育 委員会職員、高校 生、ボランティアの 会 他	46 名	ネイチャーゲーム、ツリークライミン グ、ランタン作り、ナイトハイク、野 外炊事、避難・救助訓練(海活動)、A ED操作法 他

[成果]

- ・自然体験活動出前講座では、昨年度よりも依頼が増え、小学校団体を中心に保育園、幼稚園、特別支援学校など多岐にわたっており、アンケートでも高い評価を受けている。
- ・活動プログラムでは、「南部せんべい焼き」「たねさしアロマアート」「ニュースポーツ」「ミニしめ飾り」など、各団体独自ではできない活動の依頼が多かった。
- ・自然体験活動研修会では、中堅教諭等資質向上研修の受講者の参加もあり、参加者のアンケートには、「自然体験活動を通して、基礎的な知識や技術を十分に習得できた。」などあり、充実した研修となった。

[課題]

- ・出前講座の利用団体は主に土、日曜日に集中することが多く、利用調整することが多かった。
- ・ニュースポーツの道具の貸出しが増えてきたので、他の教材等の貸出しもできることを周知していきたい。
- ・自然体験活動研修会では、参加者が少ないので、幼稚園や保育園の教諭等に呼びかけ、自分たちでも自然体験活動ができることを周知していきたい。

在学少年宿泊指導者研修

〔事業目的及び概要〕

種差少年自然の家を利用する小・中学校及び特別支援学校の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

- 期日：4/25(木)～26(金)
- 場所：種差少年自然の家
- 対象：令和6年度利用小・中学校及び特別支援学校の引率教員

〔事業内容〕

- 講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方
- 実習：活動プログラムの実習(野外、自然、創作活動、夜の活動)、施設等の利用方法
- 演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認事項

〔成果〕

- ・今年度参加者は56名で、事情等により部分参加となったところもあったが、それぞれの事情をふまえて対応することができた。
- ・海活動での「いかだ遊び」「磯遊び」を通して海岸での避難場所と経路などの確認ができた。
- ・地震や火災等における「避難訓練」を通して、避難の仕方や経路などの確認ができた。

〔課題〕

- ・1泊2日の事業であるが、参加者からは「校内事情から1日行事にしてほしい。」との願いがあるものの、宿泊学習は、こどもの健康・安全に関わることなので、了承を得るようにしたい。
- ・同一利用校同士の擦り合わせに時間がかかるので、簡略化していきたい。
- ・宿泊学習の担当者が参加しない場合が多いので、参加できるように学校側をお願いしていきたい。

親子で学ぶ防災キャンプ事業 185千円

〔事業目的及び概要〕

種差少年自然の家を避難所とし、避難場所の整備・運営を体験することによって、自然災害時における実践的な防災力・減災力を育むことを目的として、小・中学生とその家族及び小・中学校の教員を対象に行う研修事業である。

〔事業内容〕

事業名	期 日	対 象	参加者数	内 容
親子の絆 「防災キャンプ」	9/21(土) ～22(日)	幼・小・中学生 と保護者、市立 公民館長	82名	・人命救助システムについて ・防災講話 ・テント設営 ・蒸しパン作り ・炊き出し体験 ・救命入門コース講習会

〔成果〕

- ・参加者を3年生以上としたら、防災講話など防災に関する知識・理解が深まり、より大人向けの充実した内容となった。
- ・火を使わないのでできる「かんたん蒸しパン作り」は、参加者に好評であった。
- ・参加者のアンケートに、「防災として常備するものなど参考になった。」などの感想があり、好評だった。

〔課題〕

- ・知らない家族同士のために、夜の避難所ならではのアクティビティとしてゲーム的な内容を取り入れるべきだった。
- ・多くの防災士を講師として招聘し、それぞれ防災に関する活動プログラムを担当させることにより、より防災に関する理解が深まると思われる。
- ・館内だけの活動プログラムであるので、津波を想定し、海岸から避難行動など実体験をさせていきたい。

(2) 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 次代の地域を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援
- エ 多様な働き方を可能にする学び直しの機会の充実

県生涯学習課

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)

(P45 (1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成に掲載)

若者の社会参加促進事業 688 千円

[事業目的及び概要]

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える若者の社会参加を促進することを目的として、ボランティア・就労体験や自然体験活動を実施する事業である。

[事業内容]

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりのきっかけを求めている16歳～概ね40歳の若者を対象に、自然体験・交流塾を、種差少年自然の家及び梵珠少年自然の家にて実施した。

(1) 自然体験・交流塾

ア 第1回【体験活動を通じた交流会】

○期日：[梵珠会場] 7/6(土) 開催中止 [種差会場] 7/20(土) 33名

○場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家

○内容：野外炊事、創作活動 等

イ 第2回【自然体験活動】

○期日：[梵珠会場] 9/14(土) 開催中止 [種差会場] 9/28(土) 32名

○場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家

○内容：自然体験活動、創作活動 等

ウ 第3回【ボランティア・就労体験】

○期日：[梵珠会場] 1/25(土) 6名 [種差会場] 2/15(土) 20名

○場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家

○内容：ボランティア・就労体験、創作活動 等

(2) 自然体験・交流塾協力団体等連絡会議

会場ごとに、第1回自然体験・交流塾開催前と第3回自然体験・交流塾終了後、支援団体等により参加者の情報共有をするとともに、成果と課題、活動内容等について話し合った。

[成果]

- ・自然体験活動等を通じて、参加者同士やボランティアとの交流が盛んに行われ、参加者の満足度も高かった。
- ・自然の家や協力団体の担当職員との適切な情報交換により、参加者のニーズに合わせたプログラムを提供することができた。

[課題]

- ・この取組を必要とする県民に届くような周知を行う上で、さらに新規協力団体への直接的な周知活動が必要である。
- ・大学生や一般のボランティアの確保が課題である。

県総合社会教育センター

パワフルAOMORI! 創造塾 1,050 千円

[事業目的及び概要]

地域活動に係る潜在的な人財を掘り起こし、地域を担う人財を育成するとともに、育成した人財相互及び地域活動に関わる関係者等のネットワーク形成を促進することを目的として、講義・演習や企画・

運営をする事業である。

【事業内容】

(1) 講座内容

回	期日	内容	
		ベーシックコース	アクティブコース
1	7/27 (土)	【開講式、オリエンテーション】 【講義・演習】 「地域活動って何?～そして自分の出来ること～」 講師 NPO法人ACTY 理事長 株式会社ACプロモート 代表取締役 町田 直子	
2	8/24 (土) 8/25 (日)	【講義・演習】 「海猫ふれんずと考える地域活動・地域づくり」 講師 海猫ふれんず 小田桐 咲 平沼 日菜子 【実践活動】 地域活動の企画・準備	【講義・演習】 「地域活動～具体的に動くために必要なこと～」 講師 町田 直子 【実践活動】 アクションプランづくり
3	9/28 (土)	【講義・演習】 「好きな場所で好きなことをする」 講師 つるた街プロジェクト 代表 岡 詩子 【実践活動】 地域活動の企画・準備	【実践活動】 アクションプランづくり
実践活動	10/5 (土)	【実践活動】 生涯学習フェアでの企画運営	【実践活動】 生涯学習フェアでの企画運営補助
4	11/16 (土)	【交流会】 「パワフル交流会」 【演習】 「アクションプラン発表会に向けて」	
5	12/7 (土)	【発表】 「アクションプラン発表会」 講評者 町田 直子 【閉講式】	

(2) 場所

県総合社会教育センター

(3) 参加者

塾生 12名(ベーシックコース7名、アクティブコース5名)

内訳：(年代別) 20代7名、30代3名、40代1名、60代1名

(地域別) 東青地域6名、中南地域1名、上北地域2名、三八地域3名

(職種別) 公務員8名、会社員3名、大学生1名

【成果】

- ・幅広い年代、各地域、様々な職種の参加によって、地域活動に係る潜在的な人財を掘り起こし、人材相互のネットワーク形成を促進することができた。
- ・2つのコースを設け、参加者の地域活動への関わり方に応じた講義・演習等を行うことによって、地域活動に多様な側面から関わる人財を育成することができた。

【課題】

- ・座学が多く実際の地域活動について体感することがないため、地域活動が実際に行われている場所を訪れ、地域課題や解決策等を関係者から具体的に聞く必要がある。
- ・参加者のネットワークが各コースで形成されていたため、参加者全員が共に学べる講座内容にし、参加者全体のネットワークが形成されるようにする必要がある。

地域の今と未来をつなぐキャリア教育推進事業 801千円

〔事業目的及び概要〕

企業・NPO・各種団体・地域住民等の関係者が、学校において行われるキャリア教育について相互に理解を深めることを目的として、キャリア教育が推進されるための環境整備を進める事業である。

〔事業内容〕

- (1) 学校と地域・企業等をつなぐキャリア教育研修会
 - ア 期日・場所：中南地区 11/28(木) 大鰐町立大鰐中学校 受講者 22名
三八地区 7/22(月) 八戸市立長者中学校 受講者 36名
 - イ 対象：企業・NPO・各種団体・地域住民(P T A含む)、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)等
※学校関係者(市町村教育委員会、近隣学校の教職員等)も参加可
 - ウ 講師：認定NPO法人ハーベスト 代表理事 山崎 賢治
- (2) 地域資源を活用したキャリア教育推進フォーラム
 - ア 期日：10/25(金)
 - イ 場所：県総合社会教育センター
 - ウ 対象：企業・NPO・各種団体・地域住民、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)等
 - エ 内容：開会行事(あおりキャリア教育応援企業表彰含む)、講演、意見交換会
 - オ 講師：一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 代表理事 岸川 政之
 - カ 参加者 58名
- (3) 「我が社は学校教育サポーター」の運営全般
 - ア 「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの管理・運営
 - (ア)登録企業から報告された令和5年度実績集計結果(令和7年2月調査まとめ)
出前授業：1,319件、職場見学：763件、職場体験・インターンシップ：947件、
その他：147件
 - (イ)登録企業数：728社(令和7年2月現在)
 - イ 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録 25社
 - ウ 学校からの依頼に対する仲介 15件

〔成果〕

- ・学校、地域コーディネーター、各地区プラットフォーム実行委員会、県総合社会教育センターが連携・協力することで、地域の人財を発掘することができ、こどもたちの郷土愛や地域愛を育むキャリア教育の実践例を提案することができた。
- ・キャリア教育支援に携わっている企業や地域側の思いを共有することにより、地域と学校がどのようにつながり、どのようなキャリア教育を推進していく必要があるのかを考える機会になった。
- ・県内の児童生徒に各企業種の魅力を伝え将来を見据えた人財の確保を目的として、「我が社は学校教育サポーター」に登録しキャリア教育支援に協力したいという新規登録企業が増えた。

〔課題〕

- ・キャリア教育の意義や役割について多くの県民に知ってもらうために、研修会やフォーラムの周知について、どこにどのように周知していくのか工夫が必要。
- ・昨年度より、企業等自身がいつでも登録情報を変更できるようにした新システムを構築した。しかし、期日までの登録情報更新がない企業にはメールで再度更新を促したり、電話で直接企業に連絡したり等の業務が増えた。新システムに企業が慣れるまで時間が必要である。

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 619千円

〔事業目的及び概要〕

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上を目的として、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人財育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る事業である。

[事業内容]

- (1) センター研修(定員：各回 30 名程度)
 ベーシック研修
 〈新任職員想定〉

【基礎研修】

※A、B 日程共に同内容

開催日時	A 日程 5/28(火) 10:00~15:00 B 日程 9/3 (火) 10:00~15:00
会 場	県総合社会教育センター 第1研修室
受講形態	会場受講及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)
内 容	【講義】「いま、生涯学習・社会教育関係職員に求められること」 【演習】「『熟議』を体験してみよう」～発表しない、まとめない!? えっ!?～ 講師：秋田県生涯学習センター 主査(兼)社会教育主事 皆川 雅仁

スキルアップ研修

〈中堅職員・管理職等想定〉

【スキルアップ研修1】 [総論的内容]

開催日時	8/23(金) 10:00~15:00
会 場	県総合社会教育センター 第1研修室
受講形態	会場参集及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)
内 容	【講義】 「北海道北広島市の社会教育行政と地域づくりマネジメント」 【演習】 「チームビルディングのための合意形成」 ～チームコミュニケーションのトレーニング～ 講師：北海道北広島市教育委員会 教育部長 吉田 智樹

【スキルアップ研修2】 [実務的内容] (選択制)

※1~3 回目共に同内容

開催日時	7/12(金) 10:30~15:30(開会式、説明等 10:30~10:40) (1 回目 10:40~11:50 2 回目 13:00~14:10 3 回目 14:20~15:30)
会 場	県総合社会教育センター 各研修室
受講形態	会場受講
内 容	【講義・演習】 テーマ「実践演習! 講座の新たな企画・運営のヒント」 ～講座のマンネリ化対策の秘訣とは～ 【選択講座】 ※1 講座から最大 3 講座まで、また、1 回目から 3 回目の希望する時間帯 で受講可能 ア 「ICT 活用に関する講座」 ～Google フォームのアンケート活用法 他～ 講師：岩手県生涯学習推進センター 社会教育主事 高橋 啓 イ 「青少年教育に関する講座」 ～地域資源を活かしてマンネリ解消! ワンポイントアドバイス～ 講師：国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター 企画室長 樋口 拓 ウ 「成人教育(高齢者対象)に関する講座」 ～アクティブシニアが輝くためのヒント～ 講師：山形県生涯学習センター 学習振興部主幹(兼)部長補佐 岡崎 和貴

【取組実績】

研修名		会場受講者（名）	アーカイブ（名）
基礎研修	A 日程	15	15
	B 日程	9	10
スキルアップ研修 1		11	11
スキルアップ研修 2	ICT 活用	17	
	青少年教育	21	
	成人教育	19	

【成果】

- ・新任職員と中堅職員・管理職等想定 of 講座を設定したことから、より対象者のニーズに合った内容で研修を提供することができた。
- ・令和5年度のアンケート（任意）の結果をもとにテーマを設定したことで、市町村行政職員の会場受講者数は増加した。また、これに伴い、研修内容や業務に関する相談も増加した。

【課題】

- ・市町村行政職員の研修内容について、ニーズの把握や要望の検討をさらに進め、業務に役立つ研修講座を提供していく必要がある。

(2) 地区研修

※各地区全て会場参集で開催

	実施日時	場所	内容	受講者数 (名)
東青	5/13(月) 13:00～ 15:00	県総合社会 教育センター	【講義・演習】「デジタル・ディバイド(情報格差)解消に向けた企画運営～公式アカウント等を活用した地域住民への情報配信～」 講師：エイチピースタイリング 代表 高森 三樹	23
西北	9/24(火) 13:30～ 16:10	中泊町総合 文化センター 「パルナス」	【講義・演習】「出番です！こどもまんなかの地域づくり、子育て支援」 講師：NPO法人子育てひろば全国協議会 理事長 認定NPO法人びーのびーの 理事長 奥山 千鶴子	22
中南	7/24(水) 13:30～ 15:30	黒石公民館 (旧黒石市民 文化会館)	【講義・演習】「地域と防災」 講師：一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 代表理事 小山内 世喜子	38
上北	5/16(木) 13:00～ 15:00	野辺地町 中央公民館	【講義・演習】 「持続可能な地域の活性化、そのためのつながりづくりと人づくり～社会教育の役割～」 講師：いちのせき市民活動センター センター長 小野寺 浩樹	53
下北	9/19(木) 13:30～ 16:00	むつ合同庁舎	【講義・演習】 「『持続可能な地域づくり』をするための人財の育成」 講師：岩手県教育委員会教育委員 新妻 二男	21
三八	9/27(金) 13:30～ 15:40	五戸町立 公民館	【講義】 「地域を活性化させるためのつながりづくり」 講師：弘前大学教育学部 准教授 越村 康英	28

[成果]

- ・各地区の担当者や講師と打合せを綿密に行い、各地区のニーズに合った形で、地域課題の把握と課題解決に向けた研修を実施することができた。
- ・令和6年度は、各地区での研修をすべて会場参集形式で実施し、オンライン配信は行わなかった。オンライン配信の取り止めにより生じた時間を、演習時間の確保などに充てることができ、講座内容の質の向上につなげることができた。

[課題]

- ・各地区によって研修の目的や対象者が異なるため、各地区のニーズや課題を担当者と情報共有し、相談しながら、その地区に適した研修の内容を企画・立案する必要がある。

(3) 生涯を通じた学びと社会参加の推進

- ア 高齢者や障がい者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実
- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

県生涯学習課

障がい者の生涯学習支援事業 1,014 千円

〔事業目的及び概要〕

特別支援学校卒業生の自立と社会参加を支援し社会性の向上を目指すことを目的として、集団学習や趣味の講座、障がい者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

〔事業内容及び結果〕

(1) 社会参加学習

学校名	回数	時間	参加者数	主な内容		
県立青森第二養護学校	6	16	237 名	運動会参加、レクリエーション、ボウリング教室、学習発表会見学、ニュースポーツ体験、会報の発行		
県立青森若葉養護学校	2	8	25 名	「開校 30 周年記念オブジェづくり」、体験を広げる校外学習(入級生、職員、地域の方との交流)		
県立青森第一高等養護学校	1	2.5	56 名	めいせい祭参加(在校生、卒業生、保護者、職員との交流)		
県立青森第二高等養護学校	3	12	206 名	情報交換、レクリエーション、学校祭参加(展示及び模擬店見学)、同窓生の集い		
県立盲学校	1	4	4 名	学校祭参加(発表の観賞、運営の手伝い)		
県立青森豊学校	1	2	55 名	家族レクリエーション		
県立浪岡養護学校	2	4	9 名	同窓会、二十歳を祝う会		
県立弘前第一養護学校	2	5	60 名	ひまわりの会総会参加、高等部祭参観(会員相互の親睦及び将来の会員との交流)		
県立弘前第二養護学校	1	1	40 名	二十歳を祝う会		
県立八戸第一養護学校	3	12	70 名	二十歳を祝う会、高等部祭見学		
県立八戸第二養護学校	1	4	102 名	卒業生スポーツ交流		
県立八戸盲学校	1	4	6 名	箏教室		
県立森田養護学校	2	10	58 名	社会参加学習、森養祭参加		
県立黒石養護学校	2	6	75 名	映画観賞、学習発表会		
県立七戸養護学校	3	10	106 名	二十歳を祝う会、同窓会バス旅行		
県立むつ養護学校	4	10	388 名	卒業生のお知らせ、卒業生スポーツ交流会		
県立八戸高等支援学校	1	2.5	60 名	同窓会		
合計	延べ回数	36 回	延べ時間	113 時間	参加者数合計	1,557 名

(2) スポーツ体験交流

実施日	開催場所	参加者数	内容	
7/7(日)	県立森田養護学校	23 名	ボッチャ教室	
7/7(日)	県立黒石養護学校	40 名	レクリエーション的な運動	
7/28(日)	県立青森第一高等養護学校	25 名	ボッチャ教室	
9/8(日)	県立八戸盲学校	9 名	卓球バレー	
9/16(月)	県立青森豊学校	25 名	レクリエーション	
10/20(日)	県立弘前第一養護学校	35 名	ボッチャ、フライングディスク	
12/14(土)	県立青森第二養護学校	32 名	スポーツ体験会	
合計	開催回数	7 回	参加者数合計	189 名

〔成果〕

- ・活動を通して、他の入級生やその家族、教師等とコミュニケーションを図ることで、世代を超えた

参加者の親睦を深めるとともに、参加者の学校に対する所属感を高めることができた。

- ・卒業生の保護者からは「学校を卒業してから運動をする機会がなかったため、とても良かった。」との感想があり、学校卒業後の余暇活動の充実に貢献することができた。

【課題】

- ・制作活動等、参加者によっては活動を行うことが難しい内容もあるので、事前の案内で活動内容についてしっかり周知する必要がある。
- ・世代の異なる参加者同士が、互いに気を遣う場面が見られることもあるので、活動を始める前に簡単なアイスブレイクを行うなど、人間関係づくりがスムーズに進むよう配慮が必要である。

県総合社会教育センター

学習情報の収集・提供事業 8,155 千円

【事業目的及び概要】

県民の生涯学習活動を促進するために必要とされる各種情報を収集し、一覧をインターネットにより県民へ提供するほか、いつでも、どこでも、インターネットで手軽に学べる e ラーニング教材の配信及び管理を行うとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理し、ICT 講座等を実施できる環境を整備する事業である。

【事業内容】

- (1) 学習情報の収集・提供
4 情報(学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材)の収集・提供
- (2) インターネットによる e ラーニング学習教材の配信
ア 元気青森人 PowerUp コンテンツ
イ あおもり学インターネット講座
ウ あおもり子育てネット
- (3) サーバ・パソコン機器等維持管理
学習情報提供に係るサーバ・パソコン機器及び実習用機器の整備

【成果】

- ・県民の生涯学習活動を支援するため、学習情報提供サイト「ありすネット」を運用し、インターネットを通して広く県民へ様々な情報提供を行った。
登録データ件数は計 5,602 件(学習機会情報 2,610 件、指導者人材情報 141 件、団体・サークル情報 145 件、視聴覚教材情報 2,706 件)、ありすネットへのアクセス回数は計 2,486 回(学習機会情報 1,107 回、指導者人材情報 322 回、団体・サークル情報 693 回、視聴覚教材情報 364 回)。
なお、視聴覚教材情報の登録データ件数については、令和 5 年度末の 16mm フィルム貸出終了及び棚卸による教材整備により減となっている。
- ・e ラーニング教材の配信による県民への学習機会の提供を行った。
配信数は、元気青森人 PowerUp コンテンツ計 92 本(はたらく心 92 本)、あおもり学インターネット講座計 21 本(あおもりエトセトラ 6 本、青森県の先人 1 本、青森県の山 7 本、わがふるさと 7 本)、あおもり子育てネット計 45 本。アクセス件数は、元気青森人 PowerUp コンテンツ 175 件、あおもり学インターネット講座 604 件、あおもり子育てネット 3,585 件。
- ・学習情報提供に係るサーバ・パソコン機器及び実習用機器の維持管理を行い、実習環境を整備した。

【課題】

- ・提供する学習情報や学習機会の更なる充実に加え、情報が県民に届くよう、周知に工夫が必要。
- ・インターネットでの情報検索が身近になった現代において、県民のニーズに合った学習情報提供の在り方を検討していく必要がある。

ボランティア関係機関職員養成講座 153 千円

【事業目的及び概要】

ボランティア関係者、実践活動者等の資質向上を目的とした対話・参加型の講座を開催し、本県の社会参加活動の推進及び充実を目指す事業である。

【事業内容】

- (1) 期日：7/17(水) 13:00~15:30
- (2) 場所：県総合社会教育センター

- (3) 対象：市町村の教育委員会及び首長部局職員、市町村社会福祉協議会職員、NPO、ボランティア関係団体、ボランティアに関心のある一般県民等
- (4) 受講者数：会場受講 37 名、オンライン受講 126 名 計 163 名
- (5) 事業内容
- ア 講義：「地域とともにはぐくむボランティア活動」
講師：十和田NPO子どもセンター・ハピたの 代表理事 中沢 洋子
- イ 事例発表：五所川原第一高等学校 教諭 三國 佑太
ボランティアサークル「麦の会」 代表 若木 政人

〔成果〕

- ・アンケート記述から「県内のボランティア活動についてよく学べた。自分が今何をすることができるのか、考えたいと思う。」「地域や今のニーズに合ったものを進めていく事が良いと分かりました。自分の満足で終わらず、相手の立場（気持ち）になって物事を考え、身の周りの小さなことから始めたいと思います。」等、今後のボランティア活動への意欲向上に繋がった。
- ・青森県社会福祉協議会と共同開催し、ハイブリット型の受講形態で実施したことにより、県内各地にサテライト会場ができ、広域学習ができた。

〔課題〕

- ・受講者の所属に偏りがあるため、各市町村教育委員会及びNPO活動支援担当課と連携し、NPO、ボランティア関係団体等の多岐に渡る所属の方々にも参加を促したい。
- ・サテライト会場ごとにオンラインの受信環境をより整えて受講していただけるよう、システムの設定方法等について、事前に説明する必要がある。

青森県視聴覚ライブラリー運営事業 645 千円

〔事業目的及び概要〕

16mm フィルムをはじめとする県内の貴重な映像資料を収集・保管するとともに、その活用を図り、県内の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的として、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営する事業である。

〔事業内容及び結果〕

- (1) 生涯学習社会の充実を図る基礎資料を得るための調査・研究
- (2) 社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚教材の提供
- (3) 全国視聴覚教育連盟への加入
- (4) 視聴覚教材の購入 3 本
- (5) 視聴覚教材のデジタル化業務 263 本

〔成果〕

- ・16mm フィルムを初めとした保管映像資料の点検と、排架・台帳の整備を行った。また、青森県関係記録映像ビデオのデジタル化を継続して行い、県政番組（「県政の窓」ほか）についてはデジタル化が完了した。

〔課題〕

- ・今後は継続して、青森県関係資料を録映像としてデジタル化を行うと共に、保管・活用方法について検討していく必要がある。

あおもり県民カレッジ運営業務

〔事業目的及び概要〕

県民の学習ニーズが多様化・高度化する中、興味・関心の高いテーマについて体系的・継続的に学習し、その学習成果が社会から適切に評価され、学習成果を生かして社会参加できることを目的として、県民の生涯学習を総合的に支援する事業である。

〔事業内容及び結果〕

- (1) あおもり県民カレッジの運営全般
 - ア 学生募集
 - (ア) ポスター、チラシ(入学申込書)による募集
※募集チラシを更新、子どもカレッジコースの募集チラシを新たに作成し、各学校等に配布
 - (イ) イベント時にあおもり県民カレッジ(子どもカレッジ)コーナーを設置
 - (ウ) 各種講座・映画鑑賞会等の開催時に周知

(エ) 生涯学習情報誌「てのひら」、ホームページ等による周知

イ 学生対応

(ア) 入学受付(随時)

(イ) 学生数 29,303名(新規1,066名)

教養学習コース 26,157名

子どもカレッジコース 3,146名

(ウ) 単位認定サービス

認定証交付件数 211件(教養学習コース160件、子どもカレッジコース51件)

奨励賞交付件数 50件(教養学習コース25件、子どもカレッジコース25件)

ウ 学友会活動支援(中南地区及び三八地区)

エ あおもり県民カレッジ連携機関との連携・協力

(ア) 連携機関数：376機関(体験施設88か所を含む)

(イ) 連携機関連絡会議の開催

県民の生涯学習活動と社会参加活動の活性化に向け、6地区であおもり県民カレッジ連携機関の会議を開催し、地域キャンパス講座、生涯学習フェア、ボランティア活動支援等について意見交換するとともに、連携機関を含めた出席者相互の情報共有の場とする。

地区	日時(令和6年)	会場	参加機関数
東青	5月9日(木) 13:30~15:30	県総合社会教育センター4階第2多目的研修室	22
西北	5月8日(水) 13:30~15:30	五所川原合同庁舎1階C会議室	2
中南	5月15日(水) 13:30~15:30	弘前合同庁舎本館2階会議室	8
上北	5月13日(月) 13:30~15:30	上北教育事務所1階大会議室	9
下北	5月14日(火) 13:30~15:30	むつ合同庁舎中会議室	3
三八	5月10日(金) 13:30~15:30	八戸合同庁舎1階第1会議室	4

(ウ) 教育事務所訪問により、あおもり県民カレッジの各地区の状況を説明

(2) 普及啓発事業

ア 生涯学習フェアの開催(10/5(土))

参加者：550名

主な内容 オープニング

菊池 高晴(あおもり県民カレッジ三八学友会)によるサククス演奏

あおもり県民カレッジ公開授業「私にとっての学びとは」

森 岩樹(キャリアコンサルタント) / 中川 隆浩(下北を知る会会長) /

類家 順子(八戸あおば高等学院学院長)

あおもり県民カレッジ認定証交付式

記念講演「やさしい言葉の教室へ、ようこそ」講師：和合 亮一(詩人)

学びと体験のひろば(ものづくり体験)

古本交換会

食彩ひろば

イ こども向けイベント

(ア) 夏のこどもまなびフェスタの開催(7/27(土))

参加者：450名

主な内容 オープニング(ピアノ教室 dolce の演奏)

「みんなが先生！」ゼミナール(7組)

世界でたった一つの宝物をつくろう！

物語を楽しもう！

仲間と一緒に体を動かそう！

(イ) 冬のこどもまなびフェスタの開催(2/15(土))

参加者：235名

主な内容 いなばみどりの出前ラジオ局

「みんなが先生！」ゼミナール

SDGs（おもちゃ病院／絵本・児童書交換会）

体験・遊び（中学生と学んで遊ぼう／子どもカレッジの部屋 他）

ウ 県民カレッジ&生涯学習情報誌「てのひら」の作成・発行(年4回)

エ 映画鑑賞会開催(隔月)

オ ホームページ <https://www.manabi-aomori.com>、フェイスブック、インスタグラムによる情報提供

(3) 学習相談・学習情報提供事業

ア 学習相談の実施

窓口、電話、FAX、郵便、メール等による学習相談の受付 相談件数：59件

イ 学習機会情報の収集及び提供

青森県学習情報提供サイト(ありすネット)への学習情報の登録 登録件数：2,362件

ウ マスメディア活用による情報提供

テレビ、ラジオ、新聞を通して、講座、イベント情報や展示内容について告知

(4) 学習機会提供事業

ア 地域キャンパス講座(県内6地区)の開催

開催数：計49回(東青11回、西北13回、中南7回、上北6回、下北6回、三八6回)

受講者数：延べ1,687名

(5) 社会参加活動支援

ア ボランティア講師による自主講座の開催 講座数：94講座、受講者数：延べ676名

講師登録数：129名

イ まなびサポーター(各種講座やイベントにおける運営ボランティア)の登録・活動奨励

登録者数35名(内高校生15名)

延べ活動者数：109名

ウ イベント時における高校生・中学生ボランティアの活動奨励

延べ活動者数：129名

ボランティア活動証明書の発行

[成果]

- ・県民カレッジについては、イベントや主催講座等を通じて周知と啓発を図った。
- ・県民カレッジの入学、単位認定手続きについて、オンラインによる手続きができるようにした。
- ・カレッジ学生数は毎年増加しているものの、実態にそぐわない側面も見受けられるため、昨年度に引き続き高齢者（98歳以上）の学生に継続意思調査を実施した。
- ・学習機会提供事業では、地域キャンパス講座、ボランティア講師による自主講座等の開催数、受講者数が、コロナ禍による落ち込みから回復傾向にある。

[課題]

- ・県民カレッジの単位認定者数（実数）を増やすよう引き続き努める。
- ・地域キャンパス講座、自主事業等については、社会的ニーズを踏まえた内容としていく。

インフォメーションプラザありすの運営

[事業目的及び概要]

インフォメーションプラザありす(学習情報サービス室)は、生涯学習に関する総合窓口であり、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービスの業務を行っている。

[事業内容及び結果]

(1) 窓口対応時間 9:00～19:00

(2) 視聴覚教材貸出サービス

(3) ポスター、チラシの配架

(4) 学習成果の展示

ア 階段ギャラリー、コリドー展示室、2階展示ギャラリー「画伯のたまご」、ギャラリーありす、1階ロビー等を活用して、多様な作品を展示した。

イ 季節ごとの館内装飾と展示

[成果]

- ・インフォメーションプラザありす、ロビーのラーニングスペース、自主学習室、ほのぼのルームの各利用者数は、コロナ禍による落ち込みからやや回復傾向にある。個人の学習スペースとして定着

してきているものと考えられる。

- ・展示スペースについては、所内各スペースの展示内容を区分し、それぞれに特徴ある作品を展示するようにしている。ギャラリーありすは、ボランティア講師による自主講座の講師や受講者の作品を展示するなど、学習成果を生かす場ともしている。また、1階ロビーに、地域キャンパス講座（東青地区）の紹介パネル展示など、時宜に応じた展示を行った。

[課題]

- ・引き続き適切な窓口対応、電話対応を心がけ、利用者数が増えるよう努める。
- ・定期的な展示替えにより来館者が楽しめる展示とする。

県立図書館

読書バリアフリー推進事業 1,328千円

[事業目的及び概要]

視覚障がい等さまざまな障がいのある方が図書館をより利用しやすい環境に整備することを目的として、大活字本やデージー図書等のアクセシブルな書籍の購入や読書バリアフリーのための機器・用具を整備する事業である。

[事業内容]

読書バリアフリー推進に係るアクセシブルな書籍や機器・用具等の整備

[成果]

- ・アクセシブルな書籍の購入及び新しい用具の整備
- ・関係団体への情報提供
- ・郵送貸出開始

[課題]

- ・図書館バリアフリーサービスの利用促進を図るため、より広く県民へ周知していく必要がある。

近代文学館 特別展開催事業 1,449千円

[事業目的及び概要]

文学に関心を寄せる方から普段文学に馴染みのない方まで、幅広い層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに添った特別展を開催する事業である。

[事業内容]

(1) 名称：特別展「作家とのりもの」

(2) 会期：7/13(土)～10/14(月・祝)

(3) 内容：展示、特別展イベントを実施する。

○展示：本州最北端、三方を海に囲まれる青森は、昔から交通の要所として栄えてきた。これまでも多くの人々が船や鉄道、車など様々な乗り物に乗って青森を訪れ、時には更に北に向かいあるいは青森から旅立っていった。そういった地域柄もあってか、乗り物に関する文学作品を発表した青森の作家や、青森にゆかりのある乗り物が登場する文学作品も少なくなく、青森の作家・青森にゆかりのある乗り物に関する文学作品やエピソードについて、乗り物の模型や写真などを紹介した。

展示資料数：323点

○特別展イベント：

特別展に関心をもってもらうことを目的として、イベントを開催。

ア あおもりのりもの写真展

内容：「あおもりのりもの」をテーマに、青森の高校生たちが撮った写真を展示。

日時：特別展開催期間常時

場所：近代文学館展示ギャラリー(企画展示室横)

[成果]

- ・模型や写真などを数多く展示し、こどもからお年寄りまで楽しめるよう工夫した結果、幅広い年齢層の来館につながった。
- ・イベントには24点の応募があり、展示を充実させるものとなった。

[課題]

- ・県内各地の幅広い世代の来館が定着するよう、魅力あるテーマの設定やイベントの計画を継続する。

近代文学館 企画展開催事業 646 千円**〔事業目的及び概要〕**

文学に関心を寄せる方から普段文学に馴染みのない方まで、幅広い層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を中心に展示・公開する企画展を開催する事業である。

〔事業内容〕

(1) 名称：企画展「あおもりの校歌」

(2) 会期：12/7(土)～ 3/23(日)

(3) 内容：展示、企画展イベントを実施する。

○展示：学校生活において誰もが歌う校歌は、その学校を象徴するものであり、学校や地域への帰属意識を高めると共に、学校への愛着や誇りを抱かせ、卒業後には懐かしさを感じさせる。そのような校歌の中には、学校関係者や地域の人々の思いを託された作家が作詞したものも少なくなく、青森にゆかりのある作家や著名な作家が作詞した校歌について、歌詞に込められた思いや作家と学校との結びつきが感じられる資料などを紹介した。

展示資料数：126 点

○企画展イベント：企画展と青森県の文学に関心を持ってもらうことを目的として、企画展のテーマに関連したイベントを開催。

ア あおり文学ゼミ

内容：講演「あおもりの校歌」

出品資料や展示内容などについて詳細に解説。

日時：12/22（日）14 時～15 時

場所：県立図書館研修室

参加者数：11 名

〔成果〕

- ・各学校等の協力を得て、校歌にかかわる貴重な資料を展示することができた。
- ・校歌歌詞を地域・校種ごとに分析したコーナー、校歌を試聴できるコーナーが来館者からの好評を得た。

〔課題〕

- ・県内各地の幅広い世代の来館が定着するよう、魅力あるテーマの設定やイベントの計画を継続する。

アウトリーチサービス推進事業 428 千円**〔事業目的及び概要〕**

心身に障がいがあるなどの事由により、図書館への来館が困難な者に対して、宅配便による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

〔事業内容及び結果〕

○登録者数：19 名(うち新規登録者数 4 名)

○貸出：件数 120 件／冊数 766 点

〔成果〕

- ・県立図書館に直接来館することが難しい利用者に対して、サービスを提供することができた。

〔課題〕

- ・利用者が希望する資料が本館にない場合の対応が難しいことが課題となっている。

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

県生涯学習課

生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会) 1,022千円

〔事業目的及び概要〕

生涯学習振興法(生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律)の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備していくため、生涯学習推進本部等を運営する。また、生涯学習推進に資する施策の総合的な推進に関する重要事項について調査、審議するため、生涯学習審議会を運営する。

〔事業内容〕

(1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

(2) 青森県生涯学習審議会

ア 第16期青森県生涯学習審議会

- 委員：15名
- 任期：2年(R4/10/19～R6/10/18)
- 諮問：「障がい者の生涯学習の推進方策について」
- 審議事項：1「障がい者の多様な学習活動の充実」
2「障がいの有無にかかわらず共に学ぶ場づくり」
3「障がい者の学びを推進するための基盤の整備」
- 会議等の概要：第6回審議会 6/20(木) 答申案(素案)について
第7回審議会 7/24(水) 最終答申案について【書面開催】
答申書提出 8/20(火) 会長から県教育長へ答申書を提出

イ 第17期青森県生涯学習審議会

- 委員：15名
- 任期：2年(R6/10/19～R8/10/18)
- 諮問：「ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について」
- 審議事項：1「公民館等の社会教育施設におけるこどもたちの継続的な地域学習の推進について」
2「こどもたちの主体的な地域活動の促進について」
3「地域に根付いた持続可能な取組にするための仕組みづくりについて」
- 会議等の概要：第1回審議会 12/4(水) 諮問内容について
第2回審議会 1/23(木) 審議事項に関する現状や課題等について

〔成果〕

- ・第16期審議会では、県教育委員会からの諮問「障がい者の生涯学習の推進方策について」を受け、令和6年7月までに7回の会議及び委員による実地調査を行い、令和6年8月に答申書を県教育委員会に提出した。
- ・答申書では、「障がいのある人のニーズに応える生涯を通じた学習活動の充実」「障がいのある人の学びに対する社会全体の理解促進」「障がいのある人の生涯にわたる学びを支える体制の整備」について、具体的方策を提言することができた。

〔課題〕

- ・第17期審議会では、県教育委員会からの諮問「ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について」を受け、審議を進めているところであり、今後、先進事例実地調査等の分析を踏まえ、提言をまとめていく必要がある。

生涯学習・社会教育総合調査研究事業 697 千円

〔事業目的及び概要〕

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う。

〔事業内容及び結果〕

一般県民2,500人を対象にアンケート方式による調査を行い、その結果を分析し、報告書にまとめる。

○調査テーマ：「ふるさと青森を愛する心と行動に関する県民の意識調査」

○調査対象：県内在住の20代～70代の一般県民2,500人

○有効回答：878人(35.12%)

○顧問の委嘱：調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に研究顧問を委嘱する。

弘前大学教育学部 准教授 越村 康英

八戸学院大学地域経営学部 准教授 井上 丹

○報告書：135部を印刷し関係機関に配布した。

〔成果〕

- ・地域活動に対する意識が低い層への対策としては、文化施設において意識が高い層と会話や交流ができる機会をつくり、さらに地域活動について理解できる時間、そして参加したいと思えるような広報活動が有効と考えられることがわかった。
- ・県教育委員会に期待する取組としては、様々な視点から地域の姿を捉えられる地域学習の機会や各地域の状況等に応じたオーダーメイド型の取組が求められることがわかった。

〔課題〕

- ・一般県民を対象とする調査では、調査対象者の抽出にあたり、住民基本台帳及び選挙人名簿抄本による作業を行うこととなる。その際、自治体によって対応が異なるため、できるだけ作業が煩雑にならないように工夫する必要がある。

青森県社会教育委員の会議運営 231 千円

〔事業目的及び概要〕

社会教育法第17条に基づき、本県社会教育の振興方策について審議及び調査研究を行い、県教育委員会に答申、建議を行う。

〔事業内容〕

(1) 青森県社会教育委員の会議

ア 第36期青森県社会教育委員

○委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務

○任期：2年(R4/10/19～R6/10/18)

○調査研究テーマ：「障がい者の生涯学習の推進方策について」

※青森県生涯学習審議会の審議テーマに基づき、必要に応じて調査研究を行う。

○会議等の概要

第3回青森県社会教育委員の会議 5/14(火) 第16期青森県生涯学習審議会答申の素案について

イ 第37期青森県社会教育委員

○委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務

○任期：2年(R6/10/19～R8/10/18)

○会議の概要

第1回青森県社会教育委員の会議 12/4(水) 議長・副議長選出

〔成果〕

- ・第36期社会教育委員の会議では、「障がい者の生涯学習の推進方策について」をテーマに答申素案について書面で審議を行い、表現方法について理解しやすくする観点で委員からの意見を得たことにより、第6回生涯学習審議会ですんなり審議を行うことができた。

〔課題〕

- ・第17期審議会では、県教育委員会からの諮問「ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について」を受け、審議を進めているところであり、今後、必要に応じて調査研究を行う必要がある。

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成 250 千円

〔事業目的及び概要〕

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 市町村の社会教育行政調査
- (2) 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
- (3) 「令和6年度青森県の社会教育行政」の作成配布(550部作成)

〔成果〕

- ・県及び市町村における社会教育事業の概要・実績、社会教育行政の現状等について取りまとめ、社会教育行政関係者に広く周知した。

〔課題〕

- ・青森県の社会教育行政の内容について、読み手がわかりやすくなるよう記載量や記載方法について改善を続けることが必要である。

社会教育主事有資格者育成派遣事業 643 千円

〔事業目的及び概要〕

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- 派遣研修：社会教育主事講習(岩手大学)
- 研修期間：7/16(火)～8/9(金)

〔成果〕

- ・中学校教員、教育事務所社会教育担当職員の計3名が新たに講習を修了し、有資格者となった。

〔課題〕

- ・小・中学校教員の社会教育主事の職務に対する認知度が低く、受講希望者が少ない。

生涯学習専門講座派遣事業 184 千円

〔事業目的及び概要〕

生涯学習の振興において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 社会教育主事専門講座
 - (2) 地域教育力を高めるボランティアセミナー
- ※(1)、(2)ともに国立教育政策研究所社会教育実践研究センター主催。受講者なし。

〔成果〕

- ・なし

〔課題〕

- ・令和6年度は受講者がなかったが、今後も専門的教育職員育成のため、引き続き中央研修への派遣を実施し、最新の知見が得られるよう努める。

社会教育主事等一般研修 161 千円

〔事業目的及び概要〕

県社会教育関係職員が一堂に会し、県の社会教育行政の方針と重点について研修や社会教育関係職員同士が情報交換を行い、職務遂行能力のスキルアップを図る。

〔事業内容〕

- 合同学習会の実施
- | | | |
|-----|---------|-------------|
| 第1回 | 4/22(月) | 県総合社会教育センター |
| 第2回 | 9/30(月) | 県総合社会教育センター |
| 第3回 | 2/7(金) | 県総合社会教育センター |

〔成果〕

- ・担当事業についての情報交換及び講師による講義演習を通じて、施策や今後の目指す方向性について

て職員間で共通理解を図ることができた。

[課題]

- ・第3回の日程調整が難しいため、内容の精選や開催時期を変更する等見直しが必要である。

在学青少年育成費補助事業 359 千円

[事業目的及び概要]

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年(高校生)を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

[事業内容]

主に東京及びその近郊に在住する青森県出身者並びに青森県にゆかりのある方々を講師として県内高校に派遣する講演会事業に対する助成。

期日	場 所	参加生徒数	内 容
9/12(木)	県立黒石高等学校	519 名	演題 「人は後ろ向きに未来に入って行く！ ～今を、そして未来を変える ために!～」
9/13(金)	県立弘前南高等学校	626 名	講師 国士舘大学 学長 佐藤 圭一
10/22(火)	県立大湊高等学校	365 名	演題 「一緒にスウィングしましょ。 ～たとえ、ささやかな存在でも、心 の振り子を揺さぶり動かしたい～」
	県立むつ工業高等学校	270 名	講師 株式会社スウィング 代表取締役 橋本 洋子

[成果]

- ・本県にゆかりのある著名な講師による、職業観や人生観等をテーマとする講演は、高校生にとって、これから直面する様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくための多くの示唆を与える機会となっている。

[課題]

- ・毎年3地区6校で開催しているところだが、今年度は2地区4校での開催となったため、機会を最大限提供できるよう団体へ働きかけていく。

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)

(P45 (1)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

県総合社会教育センター

生涯学習・社会教育関係職員研修講座(再掲)

(P75 (2)活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成に掲載)

ボランティア関係機関職員養成講座(再掲)

(P80 (3)生涯を通じた学びと社会参加の推進に掲載)

県立図書館

県立図書館資料整備 65,226 千円

[事業目的及び概要]

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的に、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。

なお、令和3年度から電子書籍を閲覧することができる電子図書館システムを導入している。

[事業内容及び結果]

受入資料数(R6/4/1～R7/3/31)

区分	資料整備費	受入資料数
県立図書館	60,559 千円	22,188 冊
(うち電子書籍)	(5,280 千円)	(619 冊)
近代文学館	4,667 千円	6,211 冊
合計	65,226 千円	28,399 冊

市町村立図書館等職員研修事業 76 千円

[事業目的及び概要]

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を目的として、初任者研修、基本研修及び学校図書館支援研修を実施する事業である。

[事業内容及び結果]

(1) 初任者研修

ア 開催日	7/17(水)～7/18(木)
イ 場所	県立図書館
ウ 対象	勤務経験が2年以内の図書館・公民館等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員
エ 参加者	1日目：市町村立図書館等職員33名、学校図書館業務担当職員7名、その他4名 2日目：市町村立図書館等職員33名、学校図書館業務担当職員5名、その他4名
オ 内容	図書館の役割や基本的なサービス等を理解するための研修 「講話、関係法規、公共図書館の現状と課題・県立図書館の読書バリアフリーの取組、学校図書館の現状と課題、資料管理、児童サービス、グループワーク」

(2) 学校図書館支援研修

ア 開催日	10/30(水)
イ 場所	県総合学校教育センター
ウ 対象	市町村立図書館、公民館図書室等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員等
エ 参加者	市町村立図書館等職員35名、学校図書館業務担当職員19名、その他18名
オ 内容	テーマ「教育現場で学校図書館が活用されるために」

(3) 基本研修

ア 開催日	11/14(木)
イ 場所	県立図書館
ウ 対象	市町村立図書館、公民館図書室等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員等
エ 参加者	市町村立図書館等職員48名、学校図書館業務担当職員8名、その他1名
オ 内容	テーマ「国立国会図書館における複写サービスと著作権」
カ 講師	国立国会図書館 利用者サービス部複写課 米井 大貴

[成果]

- ・初任者研修では、新たに図書館に勤務することとなった市町村職員等が、図書館の業務やサービスの基本的なことについて学び、各館での業務に必要な知識・技術習得の機会となった。
- ・基本研修では、国立国会図書館の講師派遣型研修を活用し、複写サービスと著作権の関係を中心とした講義と演習を行い、基礎的な知識を学ぶ研修機会となった。

[課題]

- ・学校図書館支援研修では、学校図書館シンポジウムと同日開催とし、参加者の利便性を図ったが、休憩等の時間設定に配慮が必要であった。

3 青少年教育施設の概要

(1) 少年自然の家の利用状況

令和7年3月31日現在

		梵珠少年自然の家				種差少年自然の家			
		利用団体数	比率	延利用人数	比率	利用団体数	比率	延利用人数	比率
対象別	幼稚園・保育園	28	12.4%	709	4.8%	36	5.6%	1,620	4.4%
	小学校	100	44.4%	7,386	50.2%	59	9.1%	5,339	14.5%
	中学校	3	1.3%	524	3.6%	11	1.7%	748	2.0%
	高等学校	1	0.4%	80	0.5%	8	1.2%	602	1.6%
	特別支援学校	1	0.4%	12	0.1%	6	0.9%	119	0.3%
	その他の学校	2	0.9%	58	0.4%	4	0.6%	188	0.5%
	青少年団体	24	10.7%	1,145	7.8%	254	39.2%	7,618	20.7%
	成人・その他	2	0.9%	153	1.0%	63	9.7%	1,659	4.5%
主催事業・支援事業・出前講座		64	28.4%	4,655	31.6%	207	31.9%	18,868	51.3%
計		225	100%	14,722	100%	648	100%	36,761	100%
宿泊日数別	1日研修	107	47.6%	5,373	36.5%	524	80.9%	26,479	72.0%
	1泊2日	110	48.9%	8,322	56.5%	98	15.1%	7,814	21.3%
	2泊3日	7	3.1%	843	5.7%	15	2.3%	1,133	3.1%
	3泊4日以上	1	0.4%	184	1.2%	11	1.7%	1,335	3.6%
計		225	100%	14,722	100%	648	100%	36,761	100%
宿泊月別	4月	3	1.3%	252	1.7%	35	5.4%	1,315	3.6%
	5月	15	6.7%	1,364	9.3%	36	5.6%	1,857	5.1%
	6月	42	18.7%	2,880	19.6%	68	10.5%	4,881	13.3%
	7月	36	16.0%	2,505	17.0%	67	10.3%	5,788	15.7%
	8月	9	4.0%	660	4.5%	40	6.2%	2,576	7.0%
	9月	34	15.1%	2,084	14.2%	44	6.8%	4,840	13.2%
	10月	23	10.2%	1,594	10.8%	70	10.8%	4,898	13.3%
	11月	14	6.2%	895	6.1%	70	10.8%	3,135	8.5%
	12月	9	4.0%	403	2.7%	44	6.8%	2,013	5.5%
	1月	14	6.2%	749	5.1%	53	8.2%	1,311	3.6%
	2月	19	8.4%	1,130	7.7%	46	7.1%	1,642	4.5%
	3月	7	3.1%	206	1.4%	75	11.6%	2,505	6.8%
計		225	100%	14,722	100%	648	100%	36,761	100%

6年度事業の実績

(2) 県立以外の主な青少年教育施設の概要

公立小川原湖青年の家	〒039-2402 上北郡東北町大字大浦字道の下104-6 TEL 0176-56-2393 FAX 0176-56-5042
-------------------	--

■令和7年度事業予定

事業名	期 日	対象・定員	内 容
友情のつどい～春～	5/10(土)～11(日)	小学生30名	青年の家での様々な活動を通して、ふれあいと友情、絆を深めながら、青少年の豊かな心を育てる。
自然ふれあい トレッキング～春～	5/21(水) 5/22(木)	一般30名 一般30名	県内各地の各所の自然散策を通し、自然に親しみながら、参加者同士の親睦を深める。
刈払機取扱作業安全衛生教育講習	5/30(金)	一般100名	刈払機（草刈機）の取扱作業において、労働安全衛生法に基づき作業者の受講が必須となるため、講習会を開催する。
自然ふれあい トレッキング～秋～	10/21(火)	一般30名	県内各地の各所の自然散策を通し、自然に親しみながら、参加者同士の親睦を深める。
友情のつどい～秋～	11/22(土)～23(日)	小学生50名	青年の家での様々な活動を通して、ふれあいと友情、絆を深めながら、青少年の豊かな心を育てる。
友情のつどい～冬～	2/7(土)～8(日)	小学生50名	冬の野外体験を通して、自然と人間の関わりについて考え、意欲的に未知のことから挑戦する勇気と意志を養う。

■令和6年度事業実績

事業名	期 日	対象・参加者数	内 容
友情のつどい～春～	5/11(土)～12(日)	小学生33名	青年の家での様々な活動を通して、ふれあいと友情、絆を深めながら、青少年の豊かな心を育てる。
自然ふれあい トレッキング～春～	5/22(水)	一般33名	春の山を訪ね、自然に親しみながら、参加者相互の交流と親睦を深める。
自然ふれあい トレッキング～秋～	10/1(火)	一般32名	秋の山を訪ね、自然に親しみながら、参加者相互の交流と親睦を深める。
刈払機取扱作業安全衛生教育講習	10/22(火)	一般74名	刈払機（草刈機）の取扱作業において、労働安全衛生法に基づき作業者の受講が必須となるため、講習会を開催する。
友情のつどい～秋～	11/23(土)・24(日)	23日小学生12名 24日小学生25名	青年の家での様々な活動を通して、ふれあいと友情、絆を深めながら、青少年の豊かな心を育てる。2日間日帰りで行う。
友情のつどい～冬～	2/8(土)～9(日)	小学生46名	冬の野外体験を通して、自然と人間の関わりについて考え、意欲的に未知のことから挑戦する勇気と意志を養う。

■令和7年度事業予定

事業名	期 日	対象・定員	内 容
岩木山さくらウォーク2025	4/29(火)	一般(親子) 100名	岩木山観光協会と連携し、世界一の桜並木道のオオヤマザクラを見学する体験会を行う。
パークゴルフ記録会	5月下旬 8月上旬 10月下旬	一般40名	経験や年齢を問わず、誰もが気軽に楽しめるパークゴルフ記録会を開催することで、参加者間の親睦を図る。
ジュニアクロスカントリースキー大会	12/27(土)~29(月)	小・中・高校生 100名	スキーシーズンのスタートとなるクロスカントリースキー大会として開催し、本県のスキー競技の普及・振興を図る。
冬キャンプにチャレンジ	12月~3月 (月1回)	一般(親子) 100名	自然環境を生かし、キャンパーのニーズに対応した冬ならではのキャンプ体験事業を実施する。

■令和6年度事業実績

事業名	期 日	対象・参加者数	内 容
岩木山さくらウォーク2024	4/20(土)~21(日)	一般108名、子供2名 宿泊5名	岩木山観光協会と連携し、世界一の桜並木道のオオヤマザクラの見学体験会を行い、参加者間の親睦を深めることができた。
パークゴルフ記録会 (年2回 開催)	5/19(日) 10/7(月)	一般33名 一般42名	参加者間の親睦と生涯スポーツの必要性や重要性の認識を深めることができた。
岩木山御来光・朝とり嶽きみツアー2024	9/2(月)~3(火)	一般17名	お山参詣見学と御来光祈願をあわせた登山、ツアーを実施し、参加者間の親睦を深めることができた。
ジュニアクロスカントリースキー大会	12/27(金)~29(日)	小・中・高校生 89名	スキーシーズン幕開けの大会として開催し、競技力向上と普及・振興を図ることができた。
冬キャンプにチャレンジ	11/30(土)~12/1(日) 12/7(土)~12/8(日) 1/11(土)~1/13(月) 2/22(土)~2/24(月) 3/15(土)~3/16(日)	一般168名	利用者のニーズに対応するため、冬を最大限に生かしたキャンプ事業を実施することができた。

■令和7年度事業予定

事業名	期 日	対象・定員	内 容
里山ふれあいウォッチング「春」	4/10(木)	大人 30 名	四季折々の自然に親しむと同時に、ふるさとの自然再発見の機会を提供する。
体感するジオパーク「春」	4/24(木)	大人 30 名	下北各所にあるジオパークを知り、体感する機会を提供する。
使用団体事前研修会①	4/30(水)	利用団体引率指導者 20 名	利用団体の引率者が、効果的に日程や活動プログラムを進めていくうえで必要となる知識・技能を習得してもらう機会とする。
ツリーイング体験	5/ 6(火)	家族 30 名	ツリーイングなどの自然体験を経験する機会を提供する。
健康づくり「春」	5/15(木)	大人 40 名	いつまでも健康で過ごすために、自分の体の状態を知り、食事や運動のバランスの大切さを感じてもらう機会とする。
黒森山登山「春」	5/23(金)	大人 30 名	新緑時の黒森山を登山し、自然とのふれあいを深める機会を提供する。
使用団体事前研修会②	5/30(金)	利用団体引率指導者 20 名	利用団体の引率者が、効果的に日程や活動プログラムを進めていくうえで必要となる知識・技能を習得してもらう機会とする。
ファミリーキャンプ	7/19(土) ～20(日)	家族 30 名	活動を通して家族のふれあいを深める機会を提供する。
夏のイベント	7/26(土)	家族 30 名	体験活動を通して親子、参加者同士のふれあいを深める機会を提供する。
冒険半島しもきた「夏」	8/ 8(金) ～11(月)	小中学生 36 名	こどもだけの宿泊体験型事業を通して、自然体験を楽しみながら仲間との絆を深め、自分自身の可能性に挑戦する機会を提供する。
体感するジオパーク「秋」	9/25(木)	大人 30 名	四季折々の自然に親しむと同時に、ふるさとの自然再発見の機会を提供する。
ふれあい開放day	10/ 4(土) ～ 5(日)	家族 60 名	施設を知ってもらう機会を提供する。
秋のイベント	10/11(土)	家族 40 名	体験活動を通して親子、参加者同士のふれあいを深める機会を提供する。
チャレンジ宿泊3年生	10/18(土) ～19(日)	小学生 3 年生 30 名	こどもだけの宿泊体験型事業を通して、自然体験を楽しみながら仲間との絆を深め、自分自身の可能性に挑戦する機会を提供する。
健康づくり「秋」	10/30(木)	大人 40 名	いつまでも健康で過ごすために、自分の体の状態を知り、食事や運動のバランスの大切さを感じてもらう機会とする。
黒森山登山「秋」	11/ 7(金)	大人 30 名	紅葉時の黒森山を登山し、自然とのふれあいを深める機会を提供する。
里山ふれあいウォッチング「秋」	11/20(木)	大人 30 名	四季折々の自然に親しむと同時に、ふるさとの自然再発見の機会を提供する。
伝統体験としな作り	12/ 6(土)	家族 50 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。
伝統体験べこもち作り	12/20(土)	家族 32 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。
冒険半島しもきた「冬」	1/ 9(金) ～11(日)	小中学生 24 名	こどもだけの宿泊体験型事業を通して、自然体験を楽しみながら仲間との絆を深め、自分自身の可能性に挑戦する機会を提供する。
冬のイベント	1/24(土)	家族 50 名	体験活動を通して親子、参加者同士のふれあいを深める機会を提供する。
里山ふれあいウォッチング「冬」	2/12(木)	大人 30 名	四季折々の自然に親しむと同時に、ふるさとの自然再発見の機会を提供する。
伝統体験そば打ち(大人)	2/21(土)	大人 16 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。
伝統体験そば打ち①	2/22(日)	家族 24 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。
伝統体験そば打ち②	2/23(月)	家族 24 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。

■令和6年度事業実績

事業名	期 日	対象・参加者数	内 容
里山ふれあいウォッチング「春」	4/11(木)	大人 33 名	四季折々の自然に親しむと同時に、ふるさとの自然再発見の機会を提供する。
体感するジオパーク「春」	4/25(木)	大人 35 名	下北各所にあるジオパークを知り、体感する機会を提供する。
使用団体事前研修会①	4/30(火)	利用団体引率指導者 6 名	利用団体の引率者が、効果的に日程や活動プログラムを進めていくうえで必要となる知識・技能を習得してもらう機会とする。
健康づくり「春」	5/16(木)	大人 34 名	いつまでも健康で過ごすために、自分の体の状態を知り、食事や運動のバランスの大切さを感じてもらい機会とする。
黒森山登山「春」	5/25(土)	大人 17 名	新緑時の黒森山を登山し、自然とのふれあいを深める機会を提供する。
使用団体事前研修会②	5/29(水)	利用団体引率指導者 10 名	利用団体の引率者が、効果的に日程や活動プログラムを進めていくうえで必要となる知識・技能を習得してもらう機会とする。
ツリーイング体験	6/ 2(日)	家族 30 名	ツリーイングなどの自然体験を経験する機会を提供する。
ファミリーキャンプ	7/13(土) ～14(日)	家族 28 名	活動を通して家族のふれあいを深める機会を提供する。
夏のイベント	7/27(土)	大人 11 名	体験活動を通して親子、参加者同士のふれあいを深める機会を提供する。
冒険半島しもきた「夏」	8/ 6(火) ～ 9(金)	小中学生 35 名	こどもだけの宿泊体験型事業を通して、自然体験を楽しみながら仲間との絆を深め、自分自身の可能性に挑戦する機会を提供する。
ふれあい開放day	9/21(土) ～23(月)	家族 50 名	施設を知ってもらう機会を提供する。
秋のイベント	9/28(土)	家族 41 名	体験活動を通して親子、参加者同士のふれあいを深める機会を提供する。
チャレンジ宿泊3年生	10/12(土) ～13(日)	小学生 3 年生 30 名	こどもだけの宿泊体験型事業を通して、自然体験を楽しみながら仲間との絆を深め、自分自身の可能性に挑戦する機会を提供する。
里山ふれあいウォッチング「秋」	10/24(木)	大人 16 名	四季折々の自然に親しむと同時に、ふるさとの自然再発見の機会を提供する。
体感するジオパーク「秋」	10/31(木)	大人 22 名	四季折々の自然に親しむと同時に、ふるさとの自然再発見の機会を提供する。
黒森山登山「秋」	11/ 9(土)	大人 19 名	紅葉時の黒森山を登山し、自然とのふれあいを深める機会を提供する。
健康づくり「秋」	11/21(木)	大人 19 名	いつまでも健康で過ごすために、自分の体の状態を知り、食事や運動のバランスの大切さを感じてもらい機会とする。
伝統体験としな作り	12/ 1(日)	家族 32 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。
伝統体験べこもち作り	12/15(日)	家族 17 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。
冒険半島しもきた「冬」	1/ 9(木) ～11(土)	小中学生 24 名	こどもだけの宿泊体験型事業を通して、自然体験を楽しみながら仲間との絆を深め、自分自身の可能性に挑戦する機会を提供する。
冬のイベント	1/25(土)	家族 17 名	体験活動を通して親子、参加者同士のふれあいを深める機会を提供する。
里山ふれあいウォッチング「冬」	2/13(木)	大人 12 名	四季折々の自然に親しむと同時に、ふるさとの自然再発見の機会を提供する。
伝統体験そば打ち(大人)	2/22(土)	大人 12 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。
伝統体験そば打ち①	2/23(日)	家族 21 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。
伝統体験そば打ち②	2/24(月)	家族 25 名	日本の伝統文化や地域の伝統文化を体験し、深く理解する機会を提供する。

○ 施設利用状況(主催事業を除く) 令和7年3月31日現在

小川原湖青年の家

		利用団体数	比率	延利用人数	比率
対象別	幼稚園・保育園	2	0.7%	170	1.2%
	小学校	49	16.9%	3,917	27.8%
	中学校	9	3.1%	933	6.6%
	高等学校	8	2.8%	917	6.5%
	特別支援学校	0	0.0%	0	0.0%
	その他の学校	0	0.0%	0	0.0%
	青少年団体	72	24.8%	3,916	27.7%
	成人・その他	150	51.7%	4,261	30.2%
計		290	100%	14,114	100%
宿泊日数別	1日研修	192	66.2%	6,450	45.7%
	1泊2日	83	28.6%	5,946	42.1%
	2泊3日	7	2.4%	849	6.0%
	3泊4日以上	8	2.8%	869	6.2%
	計	290	100%	14,114	100%

岩木青少年スポーツセンター

		利用団体数	比率	延利用人数	比率
対象別	幼稚園・保育園	2	0.3%	234	0.6%
	小学校	43	6.2%	3,714	9.0%
	中学校	25	3.6%	1,283	3.1%
	高等学校	27	3.9%	3,373	8.1%
	特別支援学校	2	0.3%	46	0.1%
	その他の学校	7	1.0%	182	0.4%
	青少年団体	85	12.2%	8,450	20.4%
	成人・その他	506	72.6%	24,112	58.2%
計		697	100%	41,394	100%
宿泊日数別	1日研修	268	38.5%	15,147	36.6%
	1泊2日	361	51.8%	20,469	49.4%
	2泊3日	44	6.3%	2,991	7.2%
	3泊4日以上	24	3.4%	2,787	6.7%
	計	697	100%	41,394	100%

むつ市下北自然の家

		利用団体数	比率	延利用人数	比率
対象別	幼稚園・保育園	48	22.3%	917	16.9%
	小学校	64	29.8%	1,896	34.9%
	中学校	0	0.0%	0	0.0%
	高等学校	0	0.0%	0	0.0%
	特別支援学校	3	1.4%	37	0.7%
	その他の学校	0	0.0%	0	0.0%
	青少年団体	25	11.6%	885	16.3%
	成人・その他	75	34.9%	1,693	31.2%
計		215	100%	5,428	100%
宿泊日数別	1日研修	176	81.9%	2,982	54.9%
	1泊2日	34	15.8%	2,079	38.3%
	2泊3日	3	1.4%	206	3.8%
	3泊4日以上	2	0.9%	161	3.0%
計		215	100%	5,428	100%

[参考]令和6年度社会教育関係刊行物一覧

課・施設名	刊行物名称	発行担当G・課
県生涯学習課	1 令和6年度青森県の社会教育行政	企画振興G
	2 障がい者の生涯学習の推進方策について（答申）	
	3 令和6年度生涯学習・社会教育総合調査研究事業 「ふるさと青森を愛する心と行動に関する県民の意識調査報告書」	
	4 子どもの読書活動推進事業 令和6年度「あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」優秀作品集	
	5 青森県子ども読書活動推進計画（第五次）	
県総合社会教育センター	1 令和6年度要覧	総務課
	2 令和6年度研修講座一覧	教育活動支援課
	3 所報（128号、129号）	育成研修課
県立図書館	1 要覧（令和6年度版）	企画支援課
	2 青森県の図書館（令和6年度版）	
	3 青森県立図書館報（第49号、50号、51号）	
	4 青森県近代文学館資料集第十四輯「葛西善蔵・原稿「妻の手紙」」	近代文学館
県立梵珠少年自然の家	1 令和6年度要覧「ぼんじゅ」	研修課
県立種差少年自然の家	1 令和6年度要覧「たねさし」	研修課

V 令和6年度青森県生涯学習関連事業調査の結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ①今後の生涯学習施策を推進する上での参考とするため、本県の各行政機関における生涯学習関連事業の実施状況を把握し、系統的に分類整理する。
- ②各行政機関が事業内容を再検討したり、連携・協力して事業計画を立案する際に役立つ情報を提供する。
- ③県民の学習活動の一層の充実を図るため、市町村や関係団体等に対して県の生涯学習関連事業についての情報を提供する。

※照会先：知事部局、警察本部及び教育委員会の関係所属 121 箇所

(2) 事業区分について

本調査では、生涯学習に関連する事業について、次の I～V に整理・区分した。

I 学習機会の提供

※ 1～3 は青少年を対象とする。
4～14 は広く県民一般を対象とする。

1 自然体験活動による学習

野外活動(キャンプ等)、自然観察 等

3 多様な学習活動

交通安全学習、職業学習、スポーツ・レクリエーション活動、読書活動、環境学習、人権学習 等

2 社会体験活動による学習

ボランティア活動、職場・就業体験、勤労生産体験、文化・芸術体験、交流体験 等

4 職業能力の向上に関する学習

農業技術、漁業技術、情報処理、電気技術、資格取得、職業観・勤労観、転職、起業等に関する学習

10 スポーツ・レクリエーション活動

各種スポーツ活動、レクリエーション活動
身体活動

5 健康・医療・福祉に関する学習

健康の維持・増進、医療、福祉等に関する学習

11 人権・男女共同参画に関する学習

人権、男女共同参画等に関する学習

6 子育て・家庭教育に関する学習

子育て学習、将来親になるための学習、家庭教育講座

12 幅広い教養を身につける学習

外国語、歴史、経済、法律、国際情勢、まちづくり、国際理解、郷土、自然科学等に関する学習

7 環境・資源に関する学習

自然保護、環境保全、エネルギー等に関する学習

13 その他の学習

区分番号 4～12 に当てはまらないもの

8 安全・安心な社会生活を営むための学習

交通安全、防犯、消費生活、防災、生活環境等に関する学習

14 施設開放

県立施設の公開・開放による学習の場の提供

9 芸術・文化に関する学習

書道、音楽、美術、文学、文化財等に関する学習

Ⅱ 人財育成

15 社会参加活動につながる指導者等の養成や研修

ボランティアコーディネーター、地域活動実践者、家庭教育支援者、読書活動支援者、スポーツクラブマネージャー、学校支援ボランティア、女性リーダー、青年活動リーダー、シニアリーダー等を対象とした研修会等

Ⅲ 学習情報提供・学習相談

16 多様なメディアによる学習情報の提供

インターネット、テレビ、ラジオ、リーフレット、情報誌等による学習情報の提供

17 学習上の悩みや問題解決を図る助言・援助活動

学習相談窓口や相談電話の設置

Ⅳ 普及啓発イベント

18 学習の必要性や学ぶことの楽しさを体験できるイベントの開催

- ①フェスティバル、キャンペーン、シンポジウム、表彰、講演
- ②コンクール、発表会、大会、競技会、展示会

V その他

19 指導者やボランティア等の派遣、コーディネート

人材情報の整備、紹介、派遣、活動の場の提供

21 調査・研究

生涯学習に関する調査・研究活動

20 民間団体・自主活動グループの育成と支援

生涯学習に関するNPO、団体、グループ等に対する助言、活動費助成、ネットワーク形成

22 学習プログラム等の開発

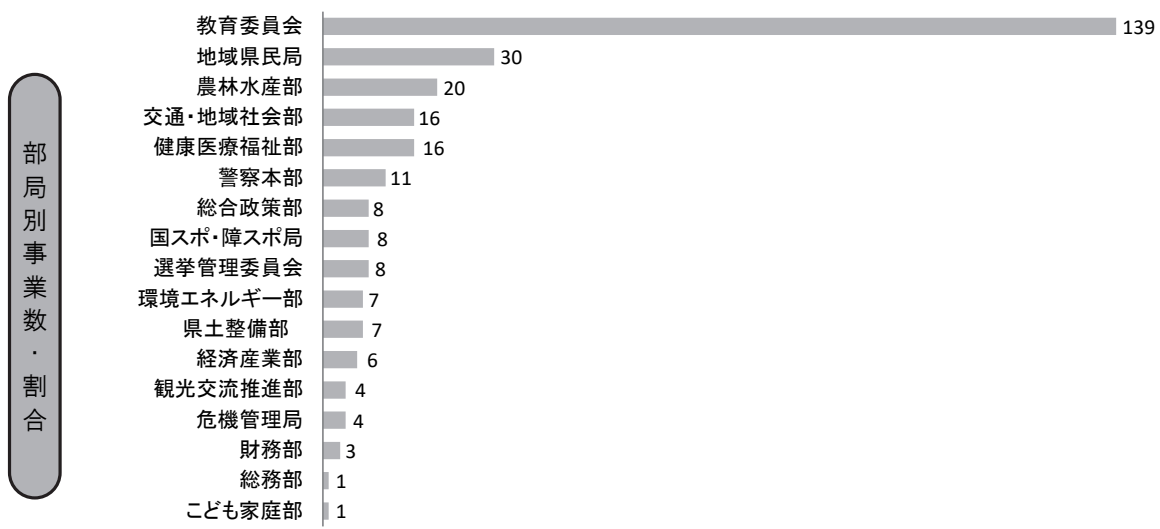
生涯学習に関する学習プログラムの開発
教材開発

2 令和6年度中に実施した生涯学習関連事業

(1) 実施主体別分類

実施部局名	事業区分 実施機関名	I 学習機会の提供											II	III	IV	V			実施機関の事業数合計	部局の事業数合計					
		青少年の自然体験活動	青少年の社会体験活動	青少年の多様な学習活動	職業能力の向上	健康・医療・福祉	子育て・家庭教育	環境・資源	安全・安心な社会生活	芸術・文化	スポーツ・レク活動	人権・男女共同参画	幅広い教養	その他の学習	施設開放	人財育成	学習情報の提供	学習相談			普及啓発イベント	その他			
																						指導者等の派遣	団体等の育成・支援	調査・研究	学習プログラム開発
総務部	広報広聴課												1										1	1	
財務部	税務課			1									1		1								3	3	
総合政策部	総合政策課																	1					1		
	DX推進課				1									2				1					4		
	統計分析課														2			1					3	8	
子ども家庭部	若者定着還元促進課				1																		1	1	
交通・地域社会部	地域交通・連携課			1										5									6		
	地域生活文化課		1						3					1				5					10	16	
環境エネルギー部	環境政策課			1																			1		
	環境保全課	1						3															4		
	自然保護課							2															2	7	
健康医療福祉部	障がい福祉課				1	3				1		1			1		1						8		
	動物愛護センター		2	3	2												1						8	16	
経済産業部	産業イノベーション推進課			1	5																		6	6	
観光交流推進部	県立美術館		1							3													4	4	
農林水産部	農林水産政策課				1			1						1									3		
	食ブランド・流通推進課			4		1					1			1	1								8		
	構造政策課・営農大学校				1																		1		
	林政課		2	1	1																		4		
	農村整備課		1									1												2	
	水産振興課				2																			2	20
県土整備部	監理課			1														1					2		
	整備企画課		2	2																			4		
	建築住宅課								1														1	7	
危機管理局	防災危機管理課								1					1									2		
	消防学校								2														2	4	
国スポ・障スポ局	総務企画課										1			1			1						3		
	障スポ課			3										1			1						5	8	
選挙管理委員会	-			3											3		1						8	8	
地域県民局	西北	地域健康福祉部												1									1		
		地域農林水産部	2	9	1																			12	
	中南	地域連携部		1								1												2	
		地域農林水産部	3																					3	
	上北	地域農林水産部				2																		2	
		地域健康福祉部					1	1																2	
	下北	地域農林水産部	1			2																		3	
		地域連携部				1									1									2	
	三八	地域健康福祉部					1																	1	
地域農林水産部		1			1																		2	30	

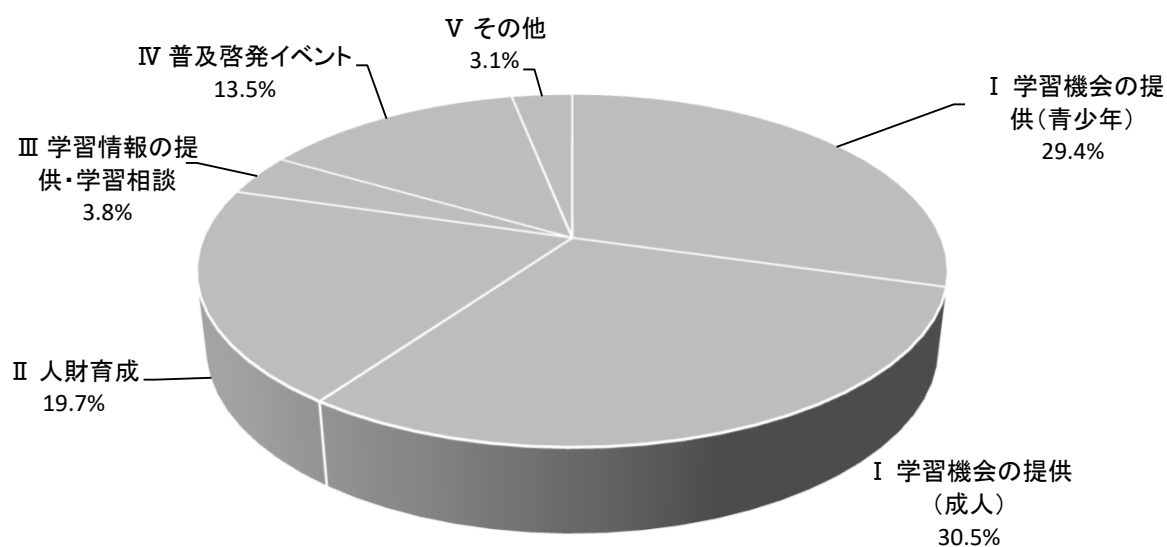
実施部局名	事業区分 実施機関名	I 学習機会の提供											II	III	IV	V その他			実施機関の事業数合計	部局の事業数合計					
		青少年の自然体験活動	青少年の社会体験活動	青少年の多様な学習活動	職業能力の向上	健康・医療・福祉	子育て・家庭教育	環境・資源	安全・安心な社会生活	芸術・文化	スポーツ・レク活動	人権・男女共同参画	幅広い教養	その他の学習	施設開放	人財育成	学習情報の提供	学習相談			普及啓発イベント	指導者等の派遣	団体等の育成・支援	調査・研究	学習プログラム開発
		生涯学習課	1		1			3			1						3					2		3	4
スポーツ健康課										1					3			1					5		
文化財保護課																		3					3		
東青教育事務所															3								3		
西北教育事務所															2								2		
中南教育事務所															2								2		
上北教育事務所															4								4		
下北教育事務所															2								2		
三八教育事務所															4								4		
埋蔵文化財調査センター		1	2						4					2	1		2						12		
県立図書館		1	1						2						3								7		
梵珠少年自然の家	6														3		5						14		
種差少年自然の家	15		1							1			1										18		
総合社会教育センター		1	1			2						1		6	4	1	1			2			19		
郷土館			3									3					3						9		
三内丸山遺跡センター									8					1			8						17	139	
生活安全企画課			2											1									3		
広報課									1														1		
警務課			1				1																2		
人身安全対策課														2									2		
サイバー犯罪対策課								2															2		
交通企画課								1															1	11	
		30	22	33	22	6	6	6	11	20	3	0	9	3	2	57	10	1	39	0	3	6	0	289	



(2) 事業別分類

区分	番号	事業内容	事業数	小計	構成比
I 学習機会の提供	青少年	1 自然体験活動による学習	30	85	29.4%
		2 社会体験活動による学習	22		
		3 多様な学習活動	33		
	成人（対象を限定せず）	4 職業能力の向上に関する学習	22	88	30.5%
		5 健康・医療・福祉に関する学習	6		
		6 子育て・家庭教育に関する学習	6		
		7 環境・資源に関する学習	6		
		8 安全・安心な社会生活を営むための学習	11		
		9 芸術・文化に関する学習	20		
		10 スポーツ・レクリエーション活動	3		
		11 人権・男女共同参画に関する学習	0		
		12 幅広い教養を身につける学習	9		
		13 その他の学習	3		
		14 施設開放	2		
II 人財育成	15 社会参加活動につながる指導者等の養成や研修	57	57	19.7%	
III 学習情報の提供 ・学習相談	16 多様なメディアによる学習情報の提供	10	11	3.8%	
	17 学習上の悩みや問題解決を図る助言・援助活動	1			
IV 普及啓発イベント	18 学習の必要性や学ぶことの楽しさを体感できるイベントの開催	39	39	13.5%	
V その他	19 指導者やボランティア等の派遣、コーディネート	0	9	3.1%	
	20 民間団体・自主活動グループの育成と支援	3			
	21 調査・研究	6			
	22 学習プログラム等の開発	0			
合 計			289	289	100.0%

項目別の事業数・割合



(3) 事業一覧(令和6年度実績)

①青少年を対象とした自然体験活動による学習 30事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ 参加人数
1	環境エネルギー部	環境保全課	水環境保全に係る普及啓発事業(全国水生生物調査、環境省及び国交通省主催)の支援	6~12	106
2	西北地域県民局 地域農林水産部	林業振興課	きのこ栽培教室	4	38
3	西北地域県民局 地域農林水産部	林業振興課	西北地区緑の少年団交流会(グリーンジャンボリー)	9	192
4	中南地域県民局 地域農林水産部	林業振興課	西目屋児童クラブ緑の少年団森林学習会	7	31
5	中南地域県民局 地域農林水産部	林業振興課	白岩緑の少年団森林学習会	8	8
6	中南地域県民局 地域農林水産部	林業振興課	南田中緑の少年団森林学習会	9	9
7	下北地域県民局 地域農林水産部	林業振興課	下北地区緑の少年団交流集会(グリーンジャンボリー)	11	20
8	三八地域県民局 地域農林水産部	林業振興課	三八地区緑の少幼年団グリーンジャンボリー	7	37
9	教育委員会	生涯学習課	若者の社会参加促進事業(自然体験・交流塾の開催)	7~2	91
10	教育委員会	梵珠少年自然の家	9歳アドベンチャーキャンプ①	7	108
11	教育委員会	梵珠少年自然の家	ぼんじゅネイチャークラブ	7~8	33
12	教育委員会	梵珠少年自然の家	夏のチャレンジキャンプ	8	120
13	教育委員会	梵珠少年自然の家	9歳アドベンチャーキャンプ②	10	105
14	教育委員会	梵珠少年自然の家	冬の3daysキャンプ	1	102
15	教育委員会	梵珠少年自然の家	7歳わんぱくキャンプ	2	56
16	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「春を感じて」	5	93
17	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「エンジョイ!海遊び」①	7	133
18	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「エンジョイ!海遊び」②	7	122
19	教育委員会	種差少年自然の家	こどもの祭典「おいでよ!サマーキャンプ」A日程	7	78
20	教育委員会	種差少年自然の家	こどもの祭典「おいでよ!サマーキャンプ」B日程	7	74
21	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「エンジョイ!海遊び」③	8	124
22	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「エンジョイ!海遊び」④	9	138
23	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「秋を感じて」	10	125
24	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「冬の季節を感じて」	12	40
25	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「冬の季節を感じて」	12	71
26	教育委員会	種差少年自然の家	こどもの祭典「わくわくどきどき ウインターキャンプ」	12	52
27	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「エンジョイ!雪遊び」	2	110
28	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「エンジョイ!雪遊び」	2	111
29	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「こども大作戦」①	2	114
30	教育委員会	種差少年自然の家	たねさしワールド「こども大作戦」②	3	112

②青少年を対象とした社会体験活動による学習 22事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ 参加人数
1	交通・地域社会部	地域生活文化課	芸術文化出前教室開催事業	5~3	1,150
2	健康医療福祉部	動物愛護センター	職場体験	通年	52
3	健康医療福祉部	動物愛護センター	職場体験(適応教室)	6~11	61
4	観光交流推進部	県立美術館	教育普及関連事業(鑑賞サポーターの配置・育成)	4~3	176
5	農林水産部	林政課	インターンシップ	8~9	8
6	農林水産部	林政課	林業のしごと体験(林業労働力確保支援センター事業)	7,9, 10~11	188
7	農林水産部	農村整備課	インターンシップ・現場見学会等の受け入れ	7~9	17
8	県土整備部	整備企画課	「Aomoriインフラアカデミー」推進事業(県土整備部インターンシップ(キャリアゼミ))	8	120
9	県土整備部	整備企画課	「Aomoriインフラアカデミー」推進事業(職場体験・訪問)	10	3
10	西北地域県民局 地域農林水産部	西北地方水産事務 所水産普及課	大戸瀬中学校総合学習「網起こし体験」	5	11
11	西北地域県民局 地域農林水産部	西北地方水産事務 所水産普及課	鱈ヶ沢産アユ稚魚放流(赤石川)	5	30
12	西北地域県民局 地域農林水産部	西北地方水産事務 所水産普及課	中泊町・小泊・下前漁協「ふれあい体験教室」	6~7	140
13	西北地域県民局 地域農林水産部	西北地方水産事務 所水産普及課	大戸瀬中学校「料理教室」	7	31
14	西北地域県民局 地域農林水産部	西北地方水産事務 所水産普及課	赤石川・鱈ヶ沢産アユ(成魚)放流体験	8	30

15	西北地域県民局 地域農林水産部	西北地方水産事務 所水産普及課	十三漁協「水産教室」	8	21
16	西北地域県民局 地域農林水産部	西北地方水産事務 所水産普及課	深浦中学校「料理教室」	12	31
17	西北地域県民局 地域農林水産部	西北地方水産事務 所水産普及課	大戸瀬中学校「料理教室」	12	32
18	西北地域県民局 地域農林水産部	西北地方水産事務 所水産普及課	大戸瀬中学校「料理教室」	3	35
19	中南地域県民局 地域連携部	地域支援チーム	中南型キャリアデザインが育む地元愛着・定着促進事業	10～1	913
20	教育委員会	埋蔵文化財調査セン ター	職場体験	随時	52
21	教育委員会	県立図書館	職場体験・インターンシップ	8～10	11
22	教育委員会	総合社会教育セン ター	青森で生きる未来人財育成事業	6～2	99

③青少年を対象とした多様な学習活動 33事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ 参加人数
1	財務部	税務課	租税教室	4～1	486
2	交通・地域社会部	地域交通・連携課	未来ひらめき創造塾	7	43
3	環境エネルギー部	環境政策課	環境出前講座実施事業	5～12	2,602
4	健康医療福祉部	動物愛護センター	職場紹介・職業学習	7～12	270
5	健康医療福祉部	動物愛護センター	サマースクール	7～8	15
6	健康医療福祉部	動物愛護センター	動物ふれあい活動	4～11	1086
7	経済産業部	産業イノベーション推 進課	未来を築く創造性豊かな産業人財育成事業費	通年	1,023
8	農林水産部	食ブランド・流通推進 課	みんなが食育アクション事業(農業高校生を講師とする園児 対象の食農体験会)	9～12	84
9	農林水産部	食ブランド・流通推進 課	みんなが食育アクション事業(あおり食命人による小中学生 対象の調理講座)	10～1	162
10	農林水産部	食ブランド・流通推進 課	みんなが食育アクション事業(高校生対象の調理講座)	10～12	121
11	農林水産部	食ブランド・流通推進 課	みんなが食育アクション事業(共食の場における食育講座)	11～2	127
12	農林水産部	林政課	林業出前講座	7,9, 10～11	147
13	県土整備部	監理課	建設業の魅力を再発見！夏休み親子バスツアー	8	37
14	県土整備部	整備企画課	「Aomoriインフラアカデミー」推進事業(インフラ出前授業)	2	73
15	県土整備部	整備企画課	「Aomoriインフラアカデミー」推進事業(連携授業)	7,9～1	200
16	国スポ・障スポ局	障スポ課	青の煌めきあおり障スポオープン競技出前授業(デフボウリ ング)	11～2	30
17	国スポ・障スポ局	障スポ課	青の煌めきあおり障スポオープン競技出前授業(ブラインド テニス)	1	20
18	国スポ・障スポ局	障スポ課	青の煌めきあおり障スポオープン競技出前授業(ファイン ボール)	12	20
19	選挙管理委員会事 務局	-	明るい選挙啓発ポスターコンクール	5～2	215
20	選挙管理委員会事 務局	-	選挙出前講座	通年	2,021
21	選挙管理委員会事 務局	-	高校生模擬議会	4～2	488
22	警察本部	警務課	命の大切さを学ぶ教室	5～12	1,856
23	警察本部	生活安全企画課	女性が性犯罪等の被害に遭わないための防犯講話	4,7	270
24	警察本部	生活安全企画課	小学生の危険回避能力のための地域安全マップづくり教室	9～10	98
25	教育委員会	生涯学習課	障がい者の生涯学習支援事業	5～2	1,507
26	教育委員会	埋蔵文化財調査セン ター	遺跡現地見学会	7～9	184
27	教育委員会	埋蔵文化財調査セン ター	夏休みに考古学者になろう	7	27
28	教育委員会	県立図書館	図書館実習	7	1
29	教育委員会	種差少年自然の家	親子の絆「防災キャンプ」	9	82
30	教育委員会	総合社会教育セン ター	高校生スキルアッププログラム推進事業	通年	3,714
31	教育委員会	郷土館	出前授業・特別出前授業	7～11	175
32	教育委員会	郷土館	夏休みこどものくに「タイムカプセル缶詰をつくろう～未来の 自分へ～」	7	19
33	教育委員会	郷土館	冬休みこどものくに「づくりまわし大会」	1	26

④職業能力の向上に関する学習 22事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	総合政策部	DX推進課	聴覚障がい者等を対象としたデジタル技術活用講座	8～12	30
2	子ども家庭部	若者定着還流促進課	障がい者短期職場実習推進事業(障がい者雇用促進加速化事業のメニュー)	4～3	88
3	健康医療福祉部	障がい福祉課	パソコン講習会	通年	513
4	健康医療福祉部	動物愛護センター	インターンシップ	通年	23
5	健康医療福祉部	動物愛護センター	ゆめココ教室	11	11
6	経済産業部	産業イノベーション推進課	知的財産啓発・連携強化事業費	通年	95
7	経済産業部	産業イノベーション推進課	知的財産活用新事業創出推進事業費	通年	842
8	経済産業部	産業イノベーション推進課	短期(向上)訓練	4～3	456
9	経済産業部	産業イノベーション推進課	離職者等再就職訓練事業	4～3	925
10	経済産業部	産業イノベーション推進課	障がい者の多様なニーズに対応した委託訓練事業	4～3	29
11	農林水産部	農林水産政策課	「スマート農業」技術実装加速化推進事業	4～3	255
12	農林水産部	営農大学校	農力向上支援事業	5～2	186
13	農林水産部	林政課	チェーンソー講座(青い森林業アカデミー運営事業)	10	14
14	農林水産部水産局	水産振興課	賓陽塾	8～9	7
15	農林水産部水産局	水産振興課	あおもり漁業体験	5～6,8	20
16	西北地域県民局 地域農林水産部	西北地方水産事務所水産普及課	ヤリイカ・ハタハタ学習会	11	34
17	上北地域県民局 地域農林水産部	農業普及振興室	ヤングファーマーゼミナール	6～3	97
18	上北地域県民局 地域農林水産部	農業普及振興室	女性起業講座	9,1	26
19	下北地域県民局 地域農林水産部	農業普及振興室	躍進しもきた新規就農者所得アップ支援事業	5～3	274
20	下北地域県民局 地域農林水産部	農業普及振興室	下北の持続的水田農業構築事業	5～10	39
21	三八地域県民局 地域連携部	地域企業支援課	協働ロボットを活用した三八地域ものづくり企業支援事業	6～12	315
22	三八地域県民局 地域農林水産部	農業普及振興室	三八農業経営改善モデル創出事業(新規就農者対象のマネジメントゲームによる農業経営研修)	1	9

⑤健康・医療・福祉に関する学習 6事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	健康医療福祉部	障がい福祉課	初めて手話を学ぶ方のための体験講座	6～12	235
2	健康医療福祉部	障がい福祉課	聴覚障がい者のための手話講座	6～2	189
3	健康医療福祉部	障がい福祉課	難聴者・中途失聴者のための手話・読話等の体験講座	10～12	30
4	農林水産部	食ブランド・流通推進課	みんなが食育アクション事業(社員の食生活改善セミナー)	12～3	285
5	下北地域県民局 地域健康福祉部	福祉子ども総室 子ども相談課	令和6年度子ども虐待要保護児童対策研修会	12	46
6	三八地域県民局 地域健康福祉部	保健総室 健康増進課	働く人の健康づくり応援プログラム定着事業	6～3	210

⑥子育て・家庭教育に関する学習 6事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	下北地域県民局 地域健康福祉部	福祉子ども総室 子ども相談課	令和6年度子ども虐待要保護児童対策研修会	12	46
2	教育委員会	生涯学習課	あおもり家庭教育支援総合事業(あおもり家庭教育応援フォーラムの開催)	12	35
3	教育委員会	生涯学習課	あおもり家庭教育支援総合事業(地域の家庭支援を目指した多世代交流・参加型研修会の開催)(2地区)	9	110
4	教育委員会	生涯学習課	特別支援学校における障がいに関する理解促進事業	5～2	1,174
5	教育委員会	総合社会教育センター	あおもり家庭教育力向上事業	6～11	106
6	教育委員会	総合社会教育センター	家庭教育支援動画制作普及事業	通年	-

⑦環境・資源に関する学習 6事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	環境エネルギー部	環境保全課	小川原湖水質改善事業(生活排水対策講習会開催)	5	60
2	環境エネルギー部	環境保全課	廃棄物処理法周知推進事業	7	549
3	環境エネルギー部	環境保全課	生活排水対策推進事業(生活排水対策講習会開催)	10,2	69
4	環境エネルギー部	自然保護課	青森県立自然ふれあいセンター年間行事	通年	845
5	環境エネルギー部	自然保護課	白神山地ビジターセンター年間行事	通年	203
6	農林水産部	農林水産政策課	山・川・海をつなぐ健全な水循環の確保推進事業	7~9	432

⑧安全・安心な社会生活を営むための学習 11事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	交通・地域社会部	地域生活文化課	消費生活大学講座	5~10	625
2	交通・地域社会部	地域生活文化課	消費生活サポーター研修会	5~6	24
3	交通・地域社会部	地域生活文化課	交通安全教材貸出	通年	-
4	県土整備部	建築住宅課	ZEH・青森型省エネ住宅・健やかリフォーム普及促進事業	3	50
5	危機管理局	防災危機管理課	地域防災活動強化促進事業	6~2	544
6	危機管理局	消防学校	実践的防災教育推進事業(青森県防災教育センターでの体験型防災学習)	通年(平日及び第3日曜日(第3日曜日の開館は6~11月))	4,071
7	危機管理局	消防学校	人口減少時代の危機管理体制構築事業費(自主防災組織等、災害発生時における避難所運営に携わる団体を対象とした研修の開催)	6~12(毎週土曜日)	201
8	警察本部	警務課	犯罪被害者等支援県民フォーラム	11	250
9	警察本部	サイバー犯罪対策課	サイバーセキュリティ対策研修事業	11	69
10	警察本部	サイバー犯罪対策課	中高年層向けスマホ防犯教室事業	9~2	210
11	警察本部	交通企画課	交通安全教育車派遣事業	4~11	3,159

⑨芸術・文化に関する学習 20事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	健康医療福祉部	障がい福祉課	文化講座	通年	162
2	観光交流推進部	県立美術館	教育普及関連事業(アート体験促進プログラム)	5~12	317
3	観光交流推進部	県立美術館	教育普及関連事業(キッズアートプログラム)	5~2	60
4	観光交流推進部	県立美術館	教育普及関連事業(一般プログラム)	4~3	0
5	警察本部	広報課	令和6年度県民と警察の音楽の集い	11	1,200
6	教育委員会	生涯学習課	こどもの読書活動推進事業「あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」	7~3	4,158(応募総数)
7	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	あおもり発掘フェア2024	12	388
8	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	遺跡現地見学会	7~9	184
9	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	出前講座・講師派遣	随時	253
10	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	リクエスト講座	随時	0
11	教育委員会	県立図書館	特別展イベント	7~10	24
12	教育委員会	県立図書館	あおもり文学ゼミ	12	11
13	教育委員会	三内丸山遺跡センター	三内丸山遺跡普及啓発事業(さんまる縄文体験・縄文学講座)	5~12	250
14	教育委員会	三内丸山遺跡センター	さんまる発掘体験	7	-
15	教育委員会	三内丸山遺跡センター	三内丸山遺跡発掘調査ガイド	7~9	946
16	教育委員会	三内丸山遺跡センター	三内丸山遺跡現地説明会	9	260
17	教育委員会	三内丸山遺跡センター	三内丸山遺跡報告会	3	-
18	教育委員会	三内丸山遺跡センター	縄文時遊館さんまるミュージアムガイド	通年	1,115
19	教育委員会	三内丸山遺跡センター	ギャラリートーク	通年	-
20	教育委員会	三内丸山遺跡センター	縄文“体感”世界遺産講座	通年	311

⑩スポーツ・レクリエーション活動 3事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	国スポ・障スポ局	総務企画課	青の煌めきダンス出前教室をはじめとする青の煌めきダンス普及啓発	4～3	約4,300
2	教育委員会	スポーツ健康課	総合型地域スポーツクラブによる地域の健康課題等を踏まえた運動教室	6～2	805
3	教育委員会	種差少年自然の家	自然体験活動研修会	5	46

⑪人権・男女共同参画に関する学習 ※該当なし

⑫幅広い教養を身につける学習 9事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	健康医療福祉部	障がい福祉課	スポーツ教室	通年	915
2	農林水産部	食ブランド・流通推進課	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業(地域の実情に応じた食育活動)	7～2	718
3	農林水産部	農村整備課	あおもりの農山漁村を体感するバスツアー	11	17
4	中南地域県民局 地域連携部	地域支援チーム	古津軽ブランド魅力向上事業	9～10	8,847
5	選挙管理委員会事務局	-	明るい選挙出前講座推進事業	通年	200
6	教育委員会	総合社会教育センター	あおもり県民カレッジ運営全般	通年	-
7	教育委員会	郷土館	自然観察会	7	21
8	教育委員会	郷土館	あおもり街かど探偵団	10	12
9	教育委員会	郷土館	土曜セミナー	5～3	226

⑬その他の学習 3事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	総務部	広報広聴課	出前トーク(県が取り組む事業や県政の課題にかかるテーマを設定し、県民からの要望に基づき、集会や学校等に県職員が出向いて説明をするとともに、意見交換を行う。)	通年	8,538
2	財務部	税務課	ふるさと納税広報士検定試験	11	54
3	教育委員会	種差少年自然の家	在学少年宿泊指導者研修	4	112

⑭施設開放 2事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	施設見学	随時	36
2	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	一般見学・蔵書公開	随時	69

⑮社会参加活動につながる指導者等の養成や研修 57事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	総合政策部	DX推進課	障がい者支援のための「ICTサポーター」育成講座	9～1	15
2	総合政策部	DX推進課	高齢者のためのデジタルサポーター育成講座	9～1	35
3	交通・地域社会部	地域交通・連携課	地域づくりファシリテーター養成研修	11～2	104
4	交通・地域社会部	地域交通・連携課	あおもりグローバルアカデミー	10～12	20
5	交通・地域社会部	地域交通・連携課	AX青森新時代ゼミナール	8～2	37
6	交通・地域社会部	地域交通・連携課	奥入瀬サミット	9	52
7	交通・地域社会部	地域交通・連携課	人生100年時代をどう過ごす？ライフシフトセミナー	9～11	10
8	交通・地域社会部	地域生活文化課	防災ボランティアコーディネーター連携研修会開催事業	11	20
9	農林水産部	農林水産政策課	女性起業課題解決・活躍促進事業	5～2	164
10	農林水産部	食ブランド・流通推進課	みんなが食育アクション事業、あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業(食育指導者研修会)	3	41
11	危機管理局	防災危機管理課	防災士活動促進事業	7～9	169
12	国スポ・障スポ局	障スポ課	あおもり国スポ・障スポに係る情報支援ボランティア養成	4～3	331
13	国スポ・障スポ局	総務企画課	青の煌めきあおもり国スポ・障スポに係るボランティアネットワークの構築と運用	4～3	29
14	西北地域県民局 地域健康福祉部	西北福祉こども総室 福祉調整課	社会福祉法人による地域共生社会西北モデル強化事業(ご近所見守りさん講座)	11	100
15	三八地域県民局 地域連携部	観光政策課	インバウンド向けまちあるきガイド育成研修	10～1	57
16	選挙管理委員会事務局	-	ヤングフォーラム2024	12	16

17	選挙管理委員会事務局	-	市町村推協会長・選管委員長合同研修	8	83
18	選挙管理委員会事務局	-	明るい選挙推進協議会組織・活動活性化研修会	11~12	66
19	警察本部	生活安全企画課	「子供・女性110番の家」等に対するスキルアップ研修会	11	49
20	警察本部 (県との二者連携)	人身安全対策課	青少年のネットセーフティ加速化事業	7	107
21	警察本部	人身安全対策課	少年非行防止JUMPチームオンライン大会2024	11	215
22	教育委員会	生涯学習課	地域と学校とのパートナーシップ強化事業	7~9	385
23	教育委員会	生涯学習課	社会教育主事有資格者育成派遣事業	7~8	3 (派遣人数)
24	教育委員会	生涯学習課	あおり家庭教育支援総合事業(読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成)	9~11	181
25	教育委員会	スポーツ健康課	総合型地域スポーツクラブの活用による健康課題克服に向けたワークショップの開催	6	16
26	教育委員会	スポーツ健康課	総合型地域スポーツクラブアシスタントマネージャー養成講習会	9	19
27	教育委員会	スポーツ健康課	地域スポーツ実践成果発表会	3	25
28	教育委員会	東青教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(前・後期)	6,9	227
29	教育委員会	東青教育事務所	管内生涯学習・社会教育行政関係職員研修会	5	20
30	教育委員会	東青教育事務所	スポーツ推進委員東青地区研修会	10	15
31	教育委員会	西北教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会	6,10	199
32	教育委員会	西北教育事務所	スポーツ推進委員西北地区研修会	7	29
33	教育委員会	中南教育事務所	スポーツ推進委員中弘黒平地区研修会	6	49
34	教育委員会	中南教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(前・後期)	7,9	138
35	教育委員会	上北教育事務所	スポーツ推進委員等上北地区研修会	6	24
36	教育委員会	上北教育事務所	上北地区放課後児童対策に係る支援員等研修会(前・後期)	6,10	476
37	教育委員会	上北教育事務所	社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業 地域課題解決スタートアップ研修会	6	18
38	教育委員会	上北教育事務所	社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業 地域課題解決フォローアップ研修会	2	20
39	教育委員会	下北教育事務所	スポーツ推進委員・スポーツ指導者むつ下北研修会	6	20
40	教育委員会	下北教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(前期・後期)	6,10	177
41	教育委員会	三八教育事務所	スポーツ推進委員三八地区研修会	5	46
42	教育委員会	三八教育事務所	放課後児童対策に係る支援員等研修会(前・後期)	6,10	140
43	教育委員会	三八教育事務所	管内市町村文化財担当者研修会	6	15
44	教育委員会	三八教育事務所	三八地区文化財保護研究集会	11	30
45	教育委員会	県立図書館	ボランティア事前研修	3	6
46	教育委員会	県立図書館	市町村立図書館等職員研修	6,7, 10~11	523
47	教育委員会	県立図書館	学校図書館アシスト事業プラス	通年	103
48	教育委員会	梵珠少年自然の家	施設利用団体事前打合せ研修~全体会	4	36
49	教育委員会	梵珠少年自然の家	自然体験活動ぼんじゅボランティアセミナー	通年	241
50	教育委員会	梵珠少年自然の家	ぼんじゅ出前講座	通年	3,120
51	教育委員会	総合社会教育センター	地域の今と未来をつなぐキャリア教育推進事業	6~11	96
52	教育委員会	総合社会教育センター	生涯学習・社会教育関係職員研修講座	5~11	313
53	教育委員会	総合社会教育センター	地域学校協働活動推進のための研修	6	43
54	教育委員会	総合社会教育センター	パワフルAOMORI! 創造塾	7~12	63
55	教育委員会	総合社会教育センター	大学生とカタル! キャリア形成サポート事業	通年	2,428
56	教育委員会	総合社会教育センター	ボランティア関係機関職員養成講座	7	163
57	教育委員会	三内丸山遺跡センター	縄文遺跡群世界遺産ガイド養成講座	3	-

⑬多様なメディアによる学習情報の提供 10事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ参加人数
1	財務部	税務課	租税教育用リーフレット「私たちの生活と税金」の発行	9	-
2	総合政策部	統計分析課	「ピカイチデータ数字で読む青森県」の発行	3	21,000 (発行部数)
3	総合政策部	統計分析課	統計グラフコンクールの開催	6~2	85
4	健康医療福祉部	障がい福祉課	青森県手話動画	通年	-
5	農林水産部	食ブランド・流通推進課	みんなが食育アクション事業(YouTubeでの子育て世代向け食育動画の配信)	2~3	-

6	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	「地元の縄文」情報発信	通年	29,405 (アクセス数)
7	教育委員会	総合社会教育センター	学習情報の収集・提供事業	通年	-
8	教育委員会	総合社会教育センター	青森県視聴覚ライブラリー運営事業	通年	-
9	教育委員会	総合社会教育センター	あおもり県民カレッジ学習機会提供事業	通年	-
10	教育委員会	総合社会教育センター	あおもり県民カレッジ学習情報提供・学習相談事業	通年	-

⑰学習上の悩みや問題解決を図る助言・援助活動 1事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ 参加人数
1	教育委員会	総合社会教育センター	家庭教育相談事業	通年	18 (相談件数)

⑱学習の必要性や学ぶことの楽しさを体感できるイベントの開催 39事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ 参加人数
1	総合政策部	総合政策課	あおもりサステナブルDay2024	12	67
2	総合政策部	DX推進課	デジタル体験創造フェア	11	1,624
3	総合政策部	統計分析課	統計グラフコンクールの開催	6~2	85
4	交通・地域社会部	地域生活文化課	安全・安心まちづくり青森県民大会	10	350
5	交通・地域社会部	地域生活文化課	高校生ファッションチャレンジ事業	5,8	400
6	交通・地域社会部	地域生活文化課	青森県民文化祭開催事業	9~11	7,126
7	交通・地域社会部	地域生活文化課	青森県美術展覧会開催事業費補助	9~10	1,900
8	交通・地域社会部	地域生活文化課	あおもり文化芸術推進プロジェクト事業	6~3	2,000 (見込)
9	健康医療福祉部	障がい福祉課	ありのままの表現展2024	2	705
10	健康医療福祉部	動物愛護センター	動物愛護フェスティバル	9	829
11	県土整備部	監理課	建設カーニバル	9	77
12	国スポ・障スポ局	総務企画課	青の煌めきあおもり国スポ・障スポ開催2年前イベント	9	約1,500
13	国スポ・障スポ局	障スポ課	アップリート君ねぶた制作・運行	6~8	330
14	選挙管理委員会事務局	-	明るい選挙推進公開講座	3	68
15	教育委員会	生涯学習課	こどもの読書活動推進事業「こどもの読書活動推進大会」の開催	12	125
16	教育委員会	生涯学習課	いじめ防止キャンペーン推進事業	6~3	9,280 (標語コンクール 応募総数)
17	教育委員会	スポーツ健康課	青森県民スポーツ・レクリエーション祭	7	3,929
18	教育委員会	文化財保護課	こども民俗芸能大会	9	300
19	教育委員会	文化財保護課	北海道・東北ブロック民俗芸能大会	10	600
20	教育委員会	文化財保護課	記録で紡ぐ！無形民俗文化財継承推進事業	通年	250
21	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	「地元の縄文」再発見フェア	1	1,251
22	教育委員会	埋蔵文化財調査センター	出張展示・連携展示		-
23	教育委員会	梵珠少年自然の家	春を楽しむサンday	4	142
24	教育委員会	梵珠少年自然の家	ファミリースプリングキャンプ	5	118
25	教育委員会	梵珠少年自然の家	自然体験ぼんじゅフェスタ	10	130
26	教育委員会	梵珠少年自然の家	冬をいろどるクラブday	12	103
27	教育委員会	梵珠少年自然の家	冬を楽しむホワイトday	2	30
28	教育委員会	総合社会教育センター	あおもり県民カレッジ普及啓発事業・生涯学習フェア	10	550
29	教育委員会	郷土館	博物館の仕事普及啓発事業	10	36
30	教育委員会	郷土館	展示事業(サテライト展)「缶詰王国あおもり」	7~10	6,104
31	教育委員会	郷土館	講師派遣事業	通年	262
32	教育委員会	三内丸山遺跡センター	三内丸山遺跡センター来館者数	通年	233,687
33	教育委員会	三内丸山遺跡センター	特別展	4~9	25,567
34	教育委員会	三内丸山遺跡センター	企画展	10~3	35,219
35	教育委員会	三内丸山遺跡センター	魅力発見！さんまる縄文体験事業	4,7,9,2	22,292

36	教育委員会	三内丸山遺跡センター	「みんなあつまれ！三内丸山遺跡」保存・活用事業	通年	-
37	教育委員会	三内丸山遺跡センター	県内縄文遺跡群を舞台とした来訪促進企画の展開（縄文おでかけスタンプラリー）	4～10	8,997 (組数)
38	教育委員会	三内丸山遺跡センター	北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録記念フォーラム（青森・名古屋・東京開催）	7,10,1	2,150
39	教育委員会	三内丸山遺跡センター	青森の縄文遺跡群情報発信拠点施設 あおもり縄文ステーション じよもじよもオープニング・イベント (JR青森駅東口ビル4階)	4	-

⑩指導者やボランティア等の派遣、コーディネート ※該当なし

⑪民間団体・自主活動グループの育成と支援 3事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ 参加人数
1	教育委員会	生涯学習課	在学青少年育成費補助事業	通年	1,780
2	教育委員会	生涯学習課	社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業	通年	-
3	教育委員会	生涯学習課	あおもり家庭教育支援総合事業(青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会の開催)(2地区)	8	59

⑫調査・研究 6事業

No.	部局	課・室	事業名	実施月	延べ 参加人数
1	教育委員会	生涯学習課	生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会)	通年	-
2	教育委員会	生涯学習課	生涯学習・社会教育総合調査研究事業	通年	-
3	教育委員会	生涯学習課	青森県社会教育委員の運営	通年	-
4	教育委員会	生涯学習課	市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成	1～3	-
5	教育委員会	総合社会教育センター	青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業	通年	61
6	教育委員会	総合社会教育センター	あおもり県民カレッジ評価サービス及び活動支援事業	通年	-

⑬学習プログラム等の開発 ※該当なし

第 2 部

I 令和7年度市町村の社会教育行政

1 市町村教育委員会の社会教育担当主管部署一覧

令和7年4月1日現在

管内	市町村名	担当主管部署	〒	住所	TEL	FAX
東青	1 青森市	文化学習活動推進課	030-0801	青森市新町一丁目3-7	017-718-1376	017-718-1372
	2 平内町	生涯学習課	039-3321	平内町大字小湊字下槻12-1	017-755-2565	017-755-2078
	3 今別町	教育課	030-1502	今別町大字今別字今別166	0174-35-2157	0174-35-3923
	4 蓬田村	教育課社会教育班	030-1203	蓬田村大字郷沢字浜田136-76	0174-31-3111	0174-31-3112
	5 外ヶ浜町	社会教育課	030-1393	外ヶ浜町字蟹田高銅屋44-2	0174-31-1233	0174-31-1234
西北	6 五所川原市	社会教育課	037-8686	五所川原市字布屋町41-1	0173-35-2111	0173-23-4095
	7 つがる市	社会教育スポーツ課	038-3138	つがる市木造若緑52	0173-49-1200	0173-49-1212
	8 鱒ヶ沢町	教育みらい課	038-2792	鱒ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321	0173-82-0972	0173-72-2374
	9 深浦町	教育課	038-2324	深浦町大字深浦字苗代沢84-2	0173-74-4419	0173-74-3050
	10 板柳町	生涯学習課	038-3672	板柳町大字灰沼字岩井61	0172-72-1800	0172-72-1801
	11 鶴田町	社会教育係	038-3503	鶴田町大字鶴田字早瀬200-1	0173-22-2111	0173-22-6007
	12 中泊町	教育課	037-0392	中泊町大字中里字紅葉坂209	0173-57-2111	0173-57-3849
中南	13 弘前市	生涯学習課	036-1393	弘前市大字賀田一丁目1-1	0172-82-1641	0172-82-2313
	14 黒石市	社会教育課	036-0306	黒石市大字内町24-1	0172-52-2111	0172-52-3777
	15 平川市	生涯学習課	036-0102	平川市光城二丁目30-1	0172-44-1221	0172-44-8780
	16 西目屋村	教育課	036-1411	西目屋村大字田代字稲元143	0172-85-2858	0172-85-3132
	17 藤崎町	生涯学習課	038-1214	藤崎町大字常盤字三西田35-1	0172-65-3100	0172-65-3128
	18 大鰐町	学務生涯学習課	038-0211	大鰐町大字大鰐字前田51-8	0172-48-3201	0172-48-3215
	19 田舎館村	生涯学習課	038-1121	田舎館村大字畑中字藤本159-1	0172-58-2250	0172-58-2394
上北	20 十和田市	スポーツ・生涯学習課	034-8615	十和田市西十二番町6-1	0176-58-0186	0176-24-3954
	21 三沢市	生涯学習課	033-8666	三沢市桜町1丁目1-38	0176-53-5111	0176-52-3963
	22 野辺地町	社会教育・スポーツ課	039-3131	野辺地町字野辺地123-1	0175-64-2119	0175-64-8083
	23 七戸町	生涯学習課	039-2592	七戸町字七戸31-2	0176-62-9702	0176-62-6256
	24 六戸町	教育課	039-2371	六戸町大字犬落瀬字前谷地61-1	0176-55-5511	0176-55-5514
	25 横浜町	教育課	039-4141	横浜町字三保野57-8	0175-78-6622	0175-78-6112
	26 東北町	社会教育スポーツ課	039-2401	東北町大字上野字上野191-15	0176-56-5180	0176-56-4235
	27 六ヶ所村	社会教育課	039-3212	六ヶ所村大字尾駸字野附478-2	0175-72-8173	0175-72-2246
	28 おいらせ町	社会教育・体育課	039-2289	おいらせ町上明堂60-6	0178-56-4276	0178-56-4268
下北	29 むつ市	生涯学習課	035-0085	むつ市大湊浜町13-1	0175-31-1188	0175-24-1912
	30 大間町	教育課	039-4601	大間町大字大間字奥戸下道20-4	0175-37-2103	0175-37-4661
	31 東通村	教育総務課	039-4292	東通村大字砂子又字沢内5-34	0175-33-2341	0175-27-3027
	32 風間浦村	教育課	039-4502	風間浦村大字易国間字大川目28-5	0175-35-2210	0175-35-2123
	33 佐井村	生涯学習課	039-4711	佐井村大字佐井字糠森20	0175-38-4506	0175-38-4512
三八	34 八戸市	社会教育課	031-8686	八戸市内丸一丁目1-1	0178-43-9154	0178-47-4997
	35 三戸町	教育委員会事務局	039-0141	三戸町大字川守田字関根川原55	0179-22-2186	0179-23-4196
	36 五戸町	教育課	039-1518	五戸町字下毛沢向8-2	0178-62-7965	0178-62-5252
	37 田子町	教育課	039-0201	田子町大字田子字柏木田169	0179-20-7070	0179-20-7075
	38 南部町	社会教育課	039-0592	南部町大字平字広場28-1	0178-38-5969	0178-38-5979
	39 階上町	教育課	039-1201	階上町大字道仏字天当平1-87	0178-88-2698	0178-88-1803
	40 新郷村	総務課	039-1801	新郷村大字戸来字風呂前10	0178-78-2111	0178-78-3294

2 市町村教育委員会事務局の社会教育関係職員数

令和7年4月1日現在

管内	市町村名	課長		社会教育主事		社会教育主事補		社会教育指導員	その他の職員		計
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任		専任	兼任	
東青	1 青森市	1							15		16
	2 平内町		1		2				9	1	13
	3 今別町		1							1	2
	4 蓬田村		1		1				2		4
	5 外ヶ浜町		1						1	3	5
	小計	1	4	0	3	0	0	0	27	5	40
西北	6 五所川原市		1		1				1	4	7
	7 つがる市		1							5	6
	8 鱒ヶ沢町		1		1				9		11
	9 深浦町	1			1				4		6
	10 板柳町		1		1				8		10
	11 鶴田町	1			1				4		6
	12 中泊町		1		1				11		13
小計	2	5	0	6	0	0	0	37	9	59	
中南	13 弘前市	1			2				21		24
	14 黒石市	1		1					6		8
	15 平川市		1		1					9	11
	16 西目屋村		1							4	5
	17 藤崎町		1		1				4	6	12
	18 大鱒町		1		1					9	11
	19 田舎館村		1							2	3
	小計	2	5	1	5	0	0	0	31	30	74
上北	20 十和田市	1			2				11		14
	21 三沢市	1				1			4		6
	22 野辺地町	1			1				5	1	8
	23 七戸町		1	1							2
	24 六戸町		1						4		5
	25 横浜町		1							5	6
	26 東北町		1		1			1	3		6
	27 六ヶ所村		1	1					2	4	8
	28 おいらせ町	1			1				5	3	10
小計	4	5	2	5	1	0	1	34	13	65	
下北	29 むつ市	1						1	4		6
	30 大間町		1							4	5
	31 東通村		1					2			3
	32 風間浦村		1							2	3
	33 佐井村		1		1					1	3
	小計	1	4	0	1	0	0	3	4	7	20
三八	34 八戸市	1			1				13	2	17
	35 三戸町	1			1					4	6
	36 五戸町		1		2				3	6	12
	37 田子町		1							5	6
	38 南部町		1		2					3	6
	39 階上町		1	1					3		5
	40 新郷村		1		1					4	6
小計	2	5	1	7	0	0	0	19	24	58	
合計		12	28	4	27	1	0	4	152	88	316
前年度合計		16	29	20	22	0	0	4	209	75	375

3 市町村の社会教育委員の委嘱状況

令和7年4月1日現在

管内	市町村名	定員数	現員数			任期			委員委嘱数内訳				令和5年度社会教育委員の会議の開催回数	令和6年度社会教育委員の会議の開催予定回数
			計	男	女	開始日	終了日	学校教育の関係者	社会教育の関係者	家庭教育の向上に資する者	学識経験のある者			
東青	1 青森市	10	10	4	6	2年	R6.11.21	R8.11.20	2	6	1	1	3	3
	2 平内町	10	7	6	1	2年	R6.4.1	R8.3.31	2	4	1		2	2
	3 今別町	10	6	3	3	2年	R5.6.1	R7.5.31	1	2	1	2	2	2
	4 蓬田村	12	6	5	1	2年	R6.4.1	R8.3.31	2	2		2	2	2
	5 外ヶ浜町	10	10	8	2	2年	R7.4.1	R9.3.31	1	4	1	4	2	3
	小計	52	39	26	13				8	18	4	9		
西北	6 五所川原市	10	10	8	2	2年	R7.4.1	R9.3.31	1	6		3	3	3
	7 つがる市	15	13	10	3	2年	R7.4.1	R9.3.31	2	3	2	6	2	2
	8 鱒ヶ沢町	10	10	6	4	2年	R6.6.1	R8.5.31	3	4	1	2	2	3
	9 深浦町	6	4	2	2	2年	R7.4.1	R9.3.31	1	1	1	1	1	1
	10 板柳町	10	10	5	5	2年	R6.4.1	R8.3.31	1	3	3	3	2	3
	11 鶴田町	5	4	1	3	2年	R6.4.1	R8.3.31	1	2	1		2	3
	12 中泊町	10	10	6	4	2年	R5.5.1	R7.4.30	1	5	2	2	2	2
小計	66	61	38	23				10	24	10	17			
中南	13 弘前市	10	10	5	5	2年	R6.8.1	R8.7.31	2	4	2	2	2	2
	14 黒石市	9	9	6	3	2年	R6.4.1	R8.3.31	1	5	1	2	2	2
	15 平川市	12	12	7	5	2年	R6.5.1	R8.4.30	3	5	4		2	2
	16 西目屋村	5	3	1	2	2年	R7.4.1	R9.3.31	1	1		1	2	2
	17 藤崎町	12	7	5	2	2年	R7.4.1	R9.3.31	1	2	1	3	2	3
	18 大鰐町	5	5	3	2	2年	R6.6.15	R8.6.15		2	3		2	2
	19 田舎館村	10	6	4	2	2年	R6.4.1	R8.3.31	1		2	3	2	2
	小計	63	52	31	21				9	19	13	11		
上北	20 十和田市	10	10	6	4	2年	R5.7.1	R7.6.30	3	3	2	2	4	4
	21 三沢市	12	10	6	4	2年	R6.4.1	R8.3.31	2	3	2	3	2	3
	22 野辺地町	10	7	3	4	2年	R5.5.1	R7.4.30	3	3		1	2	2
	23 七戸町	10	8	4	4	2年	R7.4.1	R9.3.31	1	3	1	3	2	2
	24 六戸町	5	4	2	2	2年	R6.4.1	R8.3.31		1	3		3	3
	25 横浜町	10	10	7	3	2年	R7.4.1	R9.3.31	2	2	1	5	2	2
	26 東北町	10	10	5	5	2年	R5.7.1	R7.6.30	1	8		1	3	3
	27 六ヶ所村	10	9	5	4	2年	R7.4.1	R9.3.31	3	1	2	3	2	2
	28 おいらせ町	10	10	6	4	2年	R6.4.1	R8.3.31	1	5	1	3	3	3
小計	87	78	44	34				16	29	12	21			
下北	29 むつ市	13	12	7	5	2年	R5.10.1	R7.9.30		7	3	2	1	1
	30 大間町	10	10	10		2年	R6.4.1	R8.3.31	5	1		4	1	1
	31 東通村	5	5	4	1	1年	R6.4.1	R7.3.31	2	2		1	1	1
	32 風間浦村	10	3	1	2	2年	R5.10.1	R8.9.30		3			1	1
	33 佐井村	10	9	9		2年	R6.4.1	R8.3.31	3	5		1		1
	小計	48	39	31	8				10	18	3	8		
三八	34 八戸市	15	13	8	5	2年	R6.5.1	R8.4.30	3	5	2	3	2	2
	35 三戸町	20	8	5	3	2年	R6.4.1	R8.3.31	1	6		1	1	1
	36 五戸町	15	10	7	3	2年	R7.4.1	R9.3.31	1	3	1	5	2	5
	37 田子町	10	8	3	5	2年	R6.4.1	R8.3.31	2	3		3	1	1
	38 南部町	10	9	6	3	2年	R6.5.18	R8.5.17	2	2	2	3	2	2
	39 階上町	7	7	4	3	2年	R5.4.1	R7.3.31	1	4	1	1	1	2
	40 新郷村	10	8	6	2	2年	R6.4.1	R8.3.31	1	4	1	2	2	2
小計	87	63	39	24				11	27	7	18			
合計		403	332	209	123				64	135	49	84		

市町村の社会教育行政

◎令和6年度に行った建議・答申・報告書

市町村名	建議・答申・報告書名	日付
	なし	

4 社会教育施設の状況

(1) 公民館数及び公民館職員数

管内	市町村名	館数		
		本館		分館数
		中央館数	地区館数	
東青	1 青森市※	2	9	31
	2 平内町	1	5	
	3 今別町	1		
	4 蓬田村	1	8	
	5 外ヶ浜町	1	2	
	小計	6	24	31
西北	6 五所川原市	1	1	
	7 つがる市※		2	
	8 鱒ヶ沢町	1	5	
	9 深浦町		1	2
	10 板柳町※	1		
	11 鶴田町	1		
	12 中泊町	1	2	
	小計	5	11	2
中南	13 弘前市	3	12	
	14 黒石市※		10	
	15 平川市	2		
	16 西目屋村※	1	1	
	17 藤崎町※		6	
	18 大鰐町	1		
	19 田舎館村	1		
	小計	8	29	0
	上北	20 十和田市		
21 三沢市※		1		
22 野辺地町		1	1	
23 七戸町		2		15
24 六戸町		1	1	
25 横浜町		1		
26 東北町		1	1	11
27 六ヶ所村		1	2	8
28 おいらせ町		1	2	
小計		9	7	34
下北	29 むつ市	4	21	16
	30 大間町			
	31 東通村			
	32 風間浦村	1	3	
	33 佐井村※	1	7	
	小計	6	31	16
三八	34 八戸市※		24	4
	35 三戸町	1		11
	36 五戸町	1		
	37 田子町	1	1	
	38 南部町		3	1
	39 階上町		1	
	40 新郷村		2	
小計	3	31	16	
合計		37	133	99

※は指定管理者制度を導入

前年度合計	37	134	99
-------	----	-----	----

公民館職員数(人)									
本館									
中央館									
館長			主事			その他			
専任	兼任	非常勤	専任	兼任	非常勤	専任	兼任	非常勤	
1		1				15		31	
	1						1		
	1						1		
	1						3		
	1					3		4	
1	4	1	0	0	0	18	5	35	
	1						5	3	
	1						2	1	
	1						13		
1						1		1	
	1								
1	4	0	0	0	0	1	20	5	
1	2		13	4	1	1	11	4	
	2						11	3	
	1						3		
	1						9	3	
	1			5					
1	7	0	13	9	1	1	34	10	
1						9			
1						1		1	
	2					4		4	
	1						4		
	1						5	1	
	1					3			
	1						4		
	1							1	
2	7	0	0	0	0	17	13	7	
1	3		3	3	8			2	
							4		
	1						2		
1	5	0	3	3	8	0	6	2	
	1			4				4	
	1					1	1		
	1						5	1	
0	3	0	0	4	0	1	6	5	
合計	6	30	1	16	16	9	38	84	64
前年度合計	5	28	1	14	14	13	45	86	62

公民館職員数(人)																	
本館									分館								
地区館																	
館長			主事			その他			館長			主事			その他		
専任	兼任	非常勤	専任	兼任	非常勤	専任	兼任	非常勤	専任	兼任	非常勤	専任	兼任	非常勤	専任	兼任	非常勤
		9						42			31						31
		5															
	1						2	2									
0	1	14	0	0	0	0	2	44	0	0	31	0	0	0	0	0	31
	1							3									
	1	1						3									
	5							6	2								
1						2				2							
	2																
1	9	1	0	0	0	2	9	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0
		12			54			2									
		10				20											
	1																
	2	4						8									
0	3	26	0	0	54	20	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1							1									
	1							4		15							
	1																
1	1					1	1	4			11					8	
	2							2									
1	6	0	0	0	0	1	5	7	15	0	19	0	0	8	0	0	0
		21									16						
	3																
0	3	28	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0
	1	23			69			19			4			12			
														11			11
	1							4	1								
	3					1	3			1							1
	1							1	1								
	2								2								
0	8	23	0	0	69	1	27	4	0	5	11	0	12	11	0	1	11
2	30	92	0	0	123	24	51	62	15	7	77	0	12	19	0	1	42
3	31	91	1	0	124	29	50	61	15	7	76	0	12	19	0	1	42

(2) 公民館一覧

令和7年4月1日現在

管内	市町村名	館種	公民館名
東 青	1 青森市	中央館 1	青森市中央市民センター
		中央館 2	青森市浪岡中央公民館※
		地区館 1	青森市東部市民センター※
		地区館 2	青森市大野市民センター※
		地区館 3	青森市横内市民センター※
		地区館 4	青森市戸山市民センター※
		地区館 5	青森市浪岡北中野公民館※
		地区館 6	青森市浪岡本郷公民館※
		地区館 7	青森市浪岡野沢公民館※
		地区館 8	青森市浪岡女鹿沢公民館※
		地区館 9	青森市浪岡大杉公民館※
		分館 1	小柳分館
		分館 2	松森分館
		分館 3	筒井分館
		分館 4	中筒井分館
		分館 5	西滝分館
		分館 6	相野分館
		分館 7	西田沢分館
		分館 8	飛鳥分館
		分館 9	瀬戸子分館
		分館 10	内真部分館
		分館 11	左堰分館
		分館 12	小橋分館
		分館 13	後瀧分館
		分館 14	白旗野分館
		分館 15	戸門分館
		分館 16	鶴ヶ坂分館
		分館 17	岡町分館
		分館 18	三内分館
		分館 19	石江分館
		分館 20	岩渡分館
分館 21	細越分館		
分館 22	安田分館		
分館 23	高田分館		
分館 24	野沢分館		
分館 25	浪館分館		
分館 26	田茂木野分館		
分館 27	大矢沢分館		
分館 28	合子沢分館		
分館 29	雲谷分館		
分館 30	戸山分館		
分館 31	駒込分館		

管内	市町村名	館種	公民館名
東 青	2 平内町	中央館 1	平内町中央公民館
		地区館 1	平内町公民館小豆沢分館
		地区館 2	平内町公民館浦田分館
		地区館 3	平内町公民館狩場沢分館
		地区館 4	平内町公民館松野木分館
	地区館 5	平内町公民館沼館分館	
	3 今別町	中央館 1	今別町中央公民館
	4 蓬田村	中央館 1	蓬田村中央公民館
		地区館 1	中沢分館
		地区館 2	長科分館
		地区館 3	阿弥陀川分館
		地区館 4	蓬田分館
地区館 5		郷沢分館	
地区館 6		瀬辺地分館	
地区館 7		広瀬分館	
地区館 8	高根分館		
5 外ヶ浜町	中央館 1	外ヶ浜町中央公民館	
	地区館 1	外ヶ浜町蟹田公民館	
	地区館 2	外ヶ浜町平館交流センター	
西 北	6 五所川原市	中央館 1	五所川原市中央公民館
		地区館 1	金木公民館
	7 つがる市	地区館 1	つがる市森田公民館
		地区館 2	つがる市牛湍公民館※
	8 鱒ヶ沢町	中央館 1	鱒ヶ沢町中央公民館
		地区館 1	鱒ヶ沢公民館
		地区館 2	赤石公民館
		地区館 3	中村公民館
		地区館 4	鳴沢公民館
	地区館 5	舞戸公民館	
9 深浦町	地区館 1	深浦町公民館	
	分館 1	大戸瀬分館	
	分館 2	岩崎分館	
10 板柳町	中央館 1	板柳町公民館※	
11 鶴田町	中央館 1	鶴田町公民館	
12 中泊町	中央館 1	中泊町中央公民館	
	地区館 1	武田公民館	
地区館 2	内湍公民館		

※は指定管理者制度を導入

管内	市町村名	館種	公民館名
中 南	13 弘前市	中央館 1	弘前市立中央公民館
		中央館 2	弘前市立中央公民館岩木館
		中央館 3	弘前市立中央公民館相馬館
		地区館 1	弘前市立東目屋公民館
		地区館 2	弘前市立和徳公民館
		地区館 3	弘前市立東部公民館
		地区館 4	弘前市立清水公民館
		地区館 5	弘前市立石川公民館
		地区館 6	弘前市立堀越公民館
		地区館 7	弘前市立千年公民館
		地区館 8	弘前市立船沢公民館
		地区館 9	弘前市立高杉公民館
	地区館 10	弘前市立裾野公民館	
	地区館 11	弘前市立新和公民館	
	地区館 12	弘前市立藤代公民館	
	14 黒石市	地区館 1	黒石市立中郷公民館※
		地区館 2	黒石市立六郷公民館※
		地区館 3	黒石市立山形公民館※
		地区館 4	黒石市立浅瀬石公民館※
		地区館 5	黒石市立東公民館※
		地区館 6	黒石市立中部公民館※
		地区館 7	黒石市立牡丹平公民館※
		地区館 8	黒石市立追子野木公民館
		地区館 9	黒石市立上十川公民館※
		地区館 10	黒石市西部地区センター※
	15 平川市	中央館 1	平川市平賀公民館
		中央館 2	平川市碓ヶ関公民館
	16 西目屋村	中央館 1	西目屋村中央公民館
		地区館 1	大白公民館※
	17 藤崎町	地区館 1	藤崎公民館※
		地区館 2	常盤公民館
		地区館 3	福館公民館※
		地区館 4	榊公民館※
		地区館 5	福島公民館※
		地区館 6	福左内公民館※
	18 大鱈町	中央館 1	大鱈町中央公民館
	19 田舎館村	中央館 1	田舎館村中央公民館

管内	市町村名	館種	公民館名
上 北	20 十和田市	なし	
	21 三沢市	中央館 1	三沢市立中央公民館※
	22 野辺地町	中央館 1	野辺地中央公民館
		地区館 1	馬門公民館
	23 七戸町	中央館 1	七戸中央公民館
		中央館 2	七戸南公民館
		分館 1	七戸中央公民館榎林分館
		分館 2	七戸中央公民館岨分館
		分館 3	七戸中央公民館白石分館
		分館 4	七戸中央公民館李沢分館
		分館 5	七戸中央公民館坪分館
		分館 6	七戸中央公民館天間館分館
		分館 7	七戸中央公民館中野分館
		分館 8	七戸中央公民館花松分館
		分館 9	七戸中央公民館二ツ森分館
		分館 10	七戸中央公民館道ノ上分館
		分館 11	七戸中央公民館森ノ上分館
		分館 12	七戸南公民館野々上分館
		分館 13	七戸南公民館西野分館
	分館 14	七戸南公民館倉岡分館	
	分館 15	七戸南公民館鶴児平分館	
	24 六戸町	中央館 1	六戸町文化ホール
		地区館 1	七百地区公民館
	25 横浜町	中央館 1	横浜町立公民館
	26 東北町	中央館 1	東北町中央公民館
		地区館 1	東北町上北地区公民館
		分館 1	蛭沢地区学習等供用センター
		分館 2	千曳地区学習供用センター
		分館 3	水喰地区学習等供用センター
		分館 4	北農村環境改善センター
		分館 5	淋代生涯学習センター
		分館 6	寒水地区生涯学習センター
分館 7		美須々地区生涯学習センター	
分館 8		滝沢平地区生涯学習センター	
分館 9		舟ヶ沢地区生涯学習センター	
分館 10	夫雑原地区生涯学習センター		
分館 11	清水目地区生涯学習センター		

※は指定管理者制度を導入

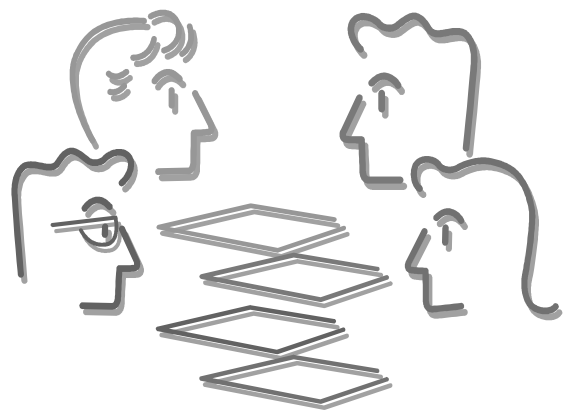
管内	市町村名	館種	公民館名	
上 北	27 六ヶ所村	中央館 1	六ヶ所村立中央公民館	
		地区館 1	泊地区ふれあいセンター	
		地区館 2	千歳平地区公民館	
		分館 1	出戸分館	
		分館 2	尾駁分館	
		分館 3	二又分館	
		分館 4	戸鎖分館	
		分館 5	平沼分館	
		分館 6	倉内分館	
		分館 7	中志分館	
		分館 8	笹原分館	
	28 おいらせ町	中央館 1	中央公民館	
		地区館 1	北公民館	
		地区館 2	東公民館	
	下 北	29 むつ市	中央館 1	むつ市中央公民館
			中央館 2	むつ市川内公民館
			中央館 3	むつ市大畑公民館
			中央館 4	むつ市脇野沢公民館
			地区館 1	むつ市川内公民館蛸崎地区公民館
地区館 2			むつ市川内公民館宿野部地区公民館	
地区館 3			むつ市川内公民館松川地区公民館	
地区館 4			むつ市川内公民館田野沢地区公民館	
地区館 5			むつ市川内公民館戸沢地区公民館	
地区館 6			むつ市川内公民館下小倉平地区公民館	
地区館 7			むつ市川内公民館上小倉平地区公民館	
地区館 8			むつ市川内公民館銀杏木地区公民館	
地区館 9			むつ市川内公民館安部城地区公民館	
地区館 10			むつ市川内公民館畑地区公民館	
地区館 11			むつ市川内公民館湯野川地区公民館	
地区館 12			むつ市川内公民館初見地区公民館	
地区館 13			むつ市川内公民館斐川地区公民館	
地区館 14			むつ市川内公民館石倉地区公民館	
地区館 15			むつ市大畑公民館関根橋地区公民館	
地区館 16			むつ市大畑公民館小目名地区公民館	
地区館 17			むつ市大畑公民館孫次郎間地区公民館	
地区館 18		むつ市大畑公民館木野部地区公民館		
地区館 19		むつ市大畑公民館赤川地区公民館		
地区館 20		むつ市大畑公民館二枚橋地区公民館		
地区館 21		むつ市大畑公民館正津川地区公民館		
分館 1		新田分館		
分館 2		烏沢分館		
分館 3		川代分館		
分館 4		出戸分館		
分館 5		高梨分館		

管内	市町村名	館種	公民館名	
下 北	29 むつ市	分館 6	北関根分館	
		分館 7	南関根分館	
		分館 8	柁山分館	
		分館 9	最花分館	
		分館 10	近川分館	
		分館 11	奥内分館	
		分館 12	金谷沢分館	
		分館 13	大曲分館	
		分館 14	若松町分館	
		分館 15	宇曾利川分館	
		分館 16	角達分館	
		30 大間町	なし	
		31 東通村	なし	
		32 風間浦村	中央館 1	風間浦村中央公民館
			地区館 1	下風呂公民館
			地区館 2	蛇浦公民館
地区館 3	桑畑公民館			
33 佐井村	中央館 1		佐井村中央公民館	
	地区館 1		原田地区公民館※	
	地区館 2		川目地区公民館※	
	地区館 3	矢越地区公民館※		
	地区館 4	磯谷地区公民館※		
	地区館 5	長後地区公民館※		
	地区館 6	福浦地区公民館※		
地区館 7	牛滝地区公民館※			
三 八	34 八戸市	地区館 1	八戸市公民館※	
		地区館 2	八戸市立小中野公民館	
		地区館 3	八戸市立白銀公民館	
		地区館 4	八戸市立鮫公民館	
		地区館 5	八戸市立上長公民館	
		地区館 6	八戸市立柏崎公民館	
		地区館 7	八戸市立大館公民館	
		地区館 8	八戸市立下長公民館	
		地区館 9	八戸市立吹上公民館	
		地区館 10	八戸市立湊公民館	
		地区館 11	八戸市立是川公民館	
		地区館 12	八戸市立館公民館	
		地区館 13	八戸市立根城公民館	
		地区館 14	八戸市立三八城公民館	
		地区館 15	八戸市立江陽公民館	
		地区館 16	八戸市立長者公民館	
		地区館 17	八戸市立田面木公民館	
		地区館 18	八戸市立市川公民館	
		地区館 19	八戸市立南浜公民館	

※は指定管理者制度を導入

管内	市町村名	館種	公民館名		
三八	34 八戸市	地区館	20	八戸市立根岸公民館	
		地区館	21	八戸市立白銀南公民館	
		地区館	22	八戸市立東公民館	
		地区館	23	八戸市立南郷公民館	
		地区館	24	八戸市立白山台公民館	
		分館	1	八戸市立南郷公民館中野分館	
		分館	2	八戸市立南郷公民館緑分館	
		分館	3	八戸市立南郷公民館頃巻沢分館	
	分館	4	八戸市立南郷公民館古里分館		
	35 三戸町	中央館	1	三戸町中央公民館	
		分館	1	泉山公民館	
		分館	2	梅内公民館	
		分館	3	目時公民館	
		分館	4	豊川公民館	
		分館	5	斗内公民館	
		分館	6	蛇沼公民館	
		分館	7	袴田公民館	
		分館	8	下田公民館	
		分館	9	貝守公民館	
		分館	10	杉沢公民館	
	分館	11	大舌公民館		
	36 五戸町	中央館	1	五戸町立公民館	
	37 田子町	中央館	1	田子町中央公民館	
		地区館	1	上郷公民館	
	38 南部町	地区館	1	剣吉公民館	
		地区館	2	福地公民館	
		地区館	3	南部公民館	
		分館	1	福地公民館苦米地分館	
	39 階上町	地区館	1	道仏公民館	
	40 新郷村	地区館	1	西越地区公民館	
		地区館	2	小坂地区公民館	

※は指定管理者制度を導入



(3) 公立図書館一覧

令和7年4月1日現在

地区	市町村名	No.	図書館名
東青	青森市	1	青森市民図書館
	平内町	2	平内町立図書館
西北	五所川原市	3	五所川原市立図書館
	"	4	五所川原市立図書館金木分館
	"	5	五所川原市立図書館市浦分館
	つがる市	6	つがる市立図書館※
	板柳町	7	板柳町民図書館
	中泊町	8	中泊町図書館
中南	弘前市	9	弘前市立弘前図書館※
	"	10	弘前市立岩木図書館※
	黒石市	11	黒石市立図書館
	平川市	12	平川市平賀図書館
	"	13	平川市尾上図書館
	藤崎町	14	藤崎町図書館大夢※
上北	十和田市	15	十和田市民図書館
	三沢市	16	三沢市立図書館※
	野辺地町	17	野辺地町立図書館
	七戸町	18	七戸中央図書館
	六戸町	19	六戸町立図書館
	横浜町	20	横浜町民図書館
	東北町	21	東北町立図書館
	六ヶ所村	22	六ヶ所村民図書館※
	おいらせ町	23	おいらせ町立図書館※
下北	むつ市	24	むつ市立図書館
	"	25	むつ市立図書館川内分館
	"	26	むつ市立図書館大畑分館
	"	27	むつ市立図書館脇野沢分館
三八	八戸市	28	八戸市立図書館
	"	29	八戸市立南郷図書館※
	"	30	八戸市図書情報センター※
	三戸町	31	三戸町立図書館
	五戸町	32	五戸町図書館※
	田子町	33	田子町立図書館

※は指定管理者制度を導入(業務の一部に導入している施設を除く。)



市町村の社会教育行政

(4) 博物館等一覧

令和7年4月1日現在

地区	市町村名	No.	施設名	区分	
東青	青森市	1	青森市森林博物館※	類似	
	"	2	あおり北のまほろば歴史館※	類似	
	"	3	縄文の学び舎・小牧野館※	類似	
	"	4	小牧野の森・どんぐりの家※	類似	
	平内町	5	平内町歴史民俗資料館	登録	
	外ヶ浜町	6	大平山元遺跡展示施設むーもん館	登録	
西北	五所川原市	7	五所川原市市浦歴史民俗資料館※	相当	
	つがる市	8	つがる市木造亀ヶ岡考古資料室	類似	
	"	9	つがる市森田歴史民俗資料館	類似	
	"	10	つがる市縄文住居展示資料館(カルコ)	類似	
	鱒ヶ沢町	11	鱒ヶ沢町郷土文化保存伝習館(光信公の館)	類似	
	深浦町	12	深浦町歴史民俗資料館	類似	
	"	13	深浦町美術館	類似	
	"	14	太宰の宿ふかうら文学館	類似	
	"	15	風待ち館※	類似	
	板柳町	16	板柳町立郷土資料館	類似	
	鶴田町	17	鶴田町歴史文化伝承館	登録	
	中泊町	18	中泊町博物館	類似	
	"	19	小説「津軽の像」記念館※	類似	
	弘前市	20	弘前市立博物館	登録	
	"	21	鳴海要記念陶房館※	類似	
	"	22	高岡の森弘前藩歴史館	登録	
	"	23	弘前市立郷土文学館※	類似	
	"	24	弘前れんが倉庫美術館	相当	
中南	平川市	25	平川市郷土資料館	類似	
	藤崎町	26	常盤ふるさと資料館 あすか※	類似	
	田舎館村	27	田舎館村埋蔵文化財センター※	類似	
	"	28	田舎館村博物館※	類似	
	十和田市	29	十和田市郷土館	類似	
	"	30	十和田市十和田湖民俗資料館	類似	
	"	31	十和田市馬事公苑称徳館※	類似	
	"	32	十和田市現代美術館※	類似	
	三沢市	33	三沢市歴史民俗資料館※	類似	
	"	34	三沢市先人記念館※	類似	
上北	"	35	三沢市寺山修司記念館※	類似	
	野辺地町	36	野辺地町立歴史民俗資料館	類似	
	七戸町	37	七戸町立鷹山宇一記念美術館※	類似	
	"	38	ニッ森貝塚館	類似	
	六戸町	39	郷土資料館	類似	
	横浜町	40	横浜町郷土館	類似	
	東北町	41	東北町歴史民俗資料館	類似	
	"	42	日本中央の碑保存館	類似	
	六ヶ所村	43	六ヶ所村立郷土館※	類似	
	おいらせ町	44	大山将棋記念館※	類似	
	"	45	おいらせ阿光坊古墳館※	類似	
	"	46	おいらせ町民具ふれあい館※	類似	
	下北	東通村	47	東通村歴史民俗資料館	類似
		佐井村	48	佐井村海峡ミュージアム	類似
三八	八戸市	49	八戸市博物館	登録	
	"	50	八戸市視聴覚センター・児童科学館※	類似	
	"	51	八戸市南郷歴史民俗資料館	類似	
	"	52	八戸市埋蔵文化財センター—是川縄文館	類似	
	"	53	八戸市縄文学習館(是川縄文館分館)	類似	
	三戸町	54	三戸町立歴史民俗資料館	類似	
	五戸町	55	ごのへ郷土館※	類似	
	階上町	56	階上町民俗資料収集館	類似	

※は指定管理者制度を導入(業務の一部に導入している施設を除く。)

(5) 青少年教育施設一覧

令和7年4月1日現在

地区	市町村名	No.	施設名
東青	青森市	1	青森市浪岡細野山の家※
	平内町	2	平内町勤労青少年ホーム
西北	深浦町	3	ふれあいと創造の館
上北	野辺地町	4	野辺地町勤労青少年ホーム
下北	大間町	5	大間町勤労青少年ホーム
三八	三戸町	6	三戸町勤労青少年ホーム

※は指定管理者制度を導入(業務の一部に導入している施設を除く。)

(6) 教育委員会が所管するその他の社会教育施設一覧

令和7年4月1日現在

地区	市町村名	No.	施設名
東青	青森市	1	青森市西部市民センター※
	〃	2	青森市古川市民センター※
	〃	3	青森市沖館市民センター※
	〃	4	青森市油川市民センター※
	〃	5	青森市荒川市民センター※
	〃	6	北部地区農村環境改善センター※
	蓬田村	7	蓬田村文化伝承館
	〃	8	蓬田村ふるさと総合センター
西北	つがる市	9	つがる市生涯学習交流センター「松の館」
	鱒ヶ沢町	10	日本海拠点館
	深浦町	11	岩崎社会文化会館
	板柳町	12	板柳町多目的ホール(あふる)
	〃	13	旧板柳高等学校
中泊町	14	中泊町総合文化センター(パルナス)	
中南	弘前市	15	弘前市学習情報館
	黒石市	16	黒石市婦人会館※
	藤崎町	17	藤崎町文化センター※
	〃	18	常盤生涯学習文化会館
	〃	19	ふれあいずーむ館※
田舎館村	20	田舎館村文化会館	
〃	21	田舎館村総合案内所※	
上北	十和田市	22	十和田市民文化センター※
	〃	23	十和田市生涯学習センター※
	三沢市	24	三沢市織笠団体活動センター
	〃	25	三沢市六川目団体活動センター
	〃	26	三沢市淋代団体活動センター
	〃	27	三沢市はまなす団体活動センター
	〃	28	三沢市谷地頭団体活動センター
	〃	29	三沢市根井団体活動センター
	野辺地町	30	野辺地町有戸地区学習等供用センター
	七戸町	31	七戸町文化交流センター
六戸町	32	小松ヶ丘地域交流館	

地区	市町村名	No.	施設名
上北	東北町	33	東北町民文化センター
	〃	34	東北町コミュニティセンター(未来館)
	六ヶ所村	35	六ヶ所村二又夢はぐ館※
	おいらせ町	36	おいらせ町みなくる館※
	〃	37	おいらせ町民交流センター
下北	むつ市	38	むつ市下北自然の家※
	〃	39	むつ市海と森ふれあい体験館(シェルホール)※
	〃	40	むつ市文化財収蔵庫
	〃	41	川内地区文化財収蔵庫
	大間町	42	大間町奥戸交流館
佐井村	43	旧三上家住宅	
三八	三戸町	44	ジョイ・ワーク三戸
	南部町	45	南部町立町民ホール(楽楽ホール)
	〃	46	南部町立名川中学校図書室1階
	〃	47	南部町農村環境改善センター福寿館
	〃	48	南部町史跡聖寿寺館跡案内所
	階上町	49	階上町石鉢ふれあい交流館
	〃	50	階上町道仏交流センター
	新郷村	51	都市農村交流センター(美郷館)
〃	52	山村開発センター	

※は指定管理者制度を導入(業務の一部に導入している施設を除く。)

II 令和6年度市町村の社会教育事業の実績

1 市町村の事業実施件数

所管	市町村名	計	学習機会提供事業							学習機会提供事業以外の事業	総計
			青少年教育事業	成人教育事業			関家庭わ教育の支援業に	関団体支援・指導者養成事業に	提その他の学習機会		
				成人一般対象	女性対象	高齢者対象					
東青	1 青森市	207	33	51	14	11	1	2	95	2	209
	2 平内町	6	0	1	0	0	1	0	4	1	7
	3 今別町	6	0	0	0	0	2	0	4	0	6
	4 蓬田村	11	2	6	0	1	2	0	0	0	11
	5 外ヶ浜町	8	0	2	0	1	1	0	4	0	8
	小計	238	35	60	14	13	7	2	107	3	241
西北	6 五所川原市	11	0	2	0	3	0	0	6	0	11
	7 つがる市	9	0	4	0	1	3	0	1	0	9
	8 鱒ヶ沢町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9 深浦町	7	1	0	0	0	0	0	6	2	9
	10 板柳町	23	10	2	0	1	1	0	9	0	23
	11 鶴田町	7	1	1	0	1	0	0	4	0	7
	12 中泊町	17	3	3	1	2	2	0	6	0	17
	小計	74	15	12	1	8	6	0	32	2	76
中南	13 弘前市	80	22	11	1	4	3	4	35	4	84
	14 黒石市	12	3	1	0	0	1	0	7	1	13
	15 平川市	17	4	4	0	0	2	1	6	0	17
	16 西目屋村	7	1	0	0	1	0	0	5	1	8
	17 藤崎町	11	4	1	0	0	1	0	5	1	12
	18 大鰐町	7	3	2	0	0	1	0	1	1	8
	19 田舎館村	8	2	1	0	1	1	2	1	4	12
	小計	142	39	20	1	6	9	7	60	12	154
	上北	20 十和田市	53	16	3	0	1	1	1	31	5
21 三沢市		37	12	3	0	2	2	1	17	0	37
22 野辺地町		25	9	7	0	0	2	0	7	1	26
23 七戸町		20	4	1	0	2	1	1	11	2	22
24 六戸町		10	5	1	1	1	0	0	2	4	14
25 横浜町		10	1	0	0	0	0	0	9	2	12
26 東北町		18	0	4	0	2	3	0	9	0	18
27 六ヶ所村		14	1	5	0	0	2	1	5	4	18
28 おいらせ町		21	6	2	0	0	2	2	9	4	25
小計		208	54	26	1	8	13	6	100	22	230

所管	市町村名	計	学習機会提供事業							学習機会提供事業以外の事業	総計
			青少年教育事業	成人教育事業			関家庭わ教育の支援に	関団体支援・指導者養成に	提その他の学習機会		
				成人一般対象	女性対象	高齢者対象					
下北	29 むつ市	41	7	7	1	1	0	2	23	1	42
	30 大間町	8	0	0	0	0	0	2	6	0	8
	31 東通村	3	1	0	0	0	1	0	1	0	3
	32 風間浦村	3	1	0	0	0	0	0	2	0	3
	33 佐井村	1	0	0	0	1	0	0	0	7	8
	小計	56	9	7	1	2	1	4	32	8	64
三八	34 八戸市	76	15	13	1	1	9	4	33	1	77
	35 三戸町	8	3	1	0	1	0	0	3	0	8
	36 五戸町	28	1	7	0	1	0	1	18	4	32
	37 田子町	13	4	2	0	0	0	0	7	0	13
	38 南部町	29	7	6	0	2	3	1	10	0	29
	39 階上町	7	0	5	0	1	0	1	0	3	10
	40 新郷村	13	5	0	1	1	1	0	5	1	14
	小計	174	35	34	2	7	13	7	76	9	183
総計		892	187	159	20	44	49	26	407	56	948
前年度総計		948	196	157	32	50	65	25	423	53	1,001

2 市町村単独実施事業のうち学習機会提供事業の実施状況（事業種別）

所管	市町村名	青少年教育事業			成人教育事業								
		事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数	成人一般対象			女性対象			高齢者対象		
					事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数	事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数	事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数
東青	1 青森市	33	247	11,329	51	657	14,721	14	33	547	11	60	1,024
	2 平内町	0	0	0	1	10	247	0	0	0	0	0	0
	3 今別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 蓬田村	2	2	251	6	6	881	0	0	0	1	1	51
	5 外ヶ浜町	0	0	0	2	3	136	0	0	0	1	3	52
	小計	35	249	11,580	60	676	15,985	14	33	547	13	64	1,127
西北	6 五所川原市	0	0	0	2	18	2,800	0	0	0	3	26	1,267
	7 つがる市	0	0	0	4	10	1,107	0	0	0	1	1	20
	8 鱒ヶ沢町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9 深浦町	1	1	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10 板柳町	10	42	911	2	36	313	0	0	0	1	13	422
	11 鶴田町	1	1	100	1	9	1,402	0	0	0	1	5	192
	12 中泊町	3	3	2,268	3	13	1,473	1	1	60	2	2	845
	小計	15	47	3,303	12	86	7,095	1	1	60	8	47	2,746
中南	13 弘前市	22	67	13,374	11	40	5,466	1	17	1,523	4	23	3,505
	14 黒石市	3	6	263	1	1	224	0	0	0	0	0	0
	15 平川市	4	9	88	4	18	251	0	0	0	0	0	0
	16 西目屋村	1	1	83	0	0	0	0	0	0	1	10	112
	17 藤崎町	4	10	444	1	15	208	0	0	0	0	0	0
	18 大鰐町	3	5	436	2	12	242	0	0	0	0	0	0
	19 田舎館村	2	10	840	1	2	65	0	0	0	1	12	296
	小計	39	108	15,528	20	88	6,456	1	17	1,523	6	45	3,913
	上北	20 十和田市	16	39	1,894	3	3	2,705	0	0	0	1	1
21 三沢市		12	27	2,778	3	25	2,328	0	0	0	2	4	5,345
22 野辺地町		9	11	684	7	38	4,504	0	0	0	0	0	0
23 七戸町		4	5	1,937	1	11	201	0	0	0	2	20	325
24 六戸町		5	36	711	1	2	24	1	24	121	1	7	217
25 横浜町		1	1	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26 東北町		0	0	0	4	25	1,034	0	0	0	2	2	107
27 六ヶ所村		1	1	74	5	43	1,240	0	0	0	0	0	0
28 おいらせ町		6	8	2,895	2	15	279	0	0	0	0	0	0
小計		54	128	10,996	26	162	12,315	1	24	121	8	34	6,883
下北	29 むつ市	7	26	657	7	49	1,994	1	9	77	1	1	12
	30 大間町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31 東通村	1	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	32 風間浦村	1	1	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	33 佐井村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	893
	小計	9	31	679	7	49	1,994	1	9	77	2	2	905
三八	34 八戸市	15	34	3,952	13	344	8,373	1	132	2,689	1	164	3,539
	35 三戸町	3	16	290	1	12	677	0	0	0	1	12	346
	36 五戸町	1	1	48	7	21	960	0	0	0	1	10	312
	37 田子町	4	4	393	2	4	262	0	0	0	0	0	0
	38 南部町	7	7	1,263	6	21	3,289	0	0	0	2	2	689
	39 階上町	0	0	0	5	16	1,595	0	0	0	1	7	95
	40 新郷村	5	36	1,396	0	0	0	1	8	81	1	10	122
	小計	35	98	7,342	34	418	15,156	2	140	2,770	7	205	5,103
総計		187	661	49,428	159	1,479	59,001	20	224	5,098	44	397	20,677
前年度総計		196	720	56,213	157	1,544	55,819	32	266	6,024	50	458	20,279

家庭教育の支援に関わる事業			団体支援・指導者養成に関わる事業			その他の学習機会提供事業			計		
事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数	事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数	事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数	事業数	設学級・講座数開	延べ参加者数
1	1	23	2	2	62	95	287	55,561	207	1,287	83,267
1	3	19	0	0	0	4	33	793	6	46	1,059
2	2	80	0	0	0	4	4	800	6	6	880
2	2	135	0	0	0	0	0	0	11	11	1,318
1	1	10	0	0	0	4	5	882	8	12	1,080
7	9	267	2	2	62	107	329	58,036	238	1,362	87,604
0	0	0	0	0	0	6	6	1,987	11	50	6,054
3	3	808	0	0	0	1	1	20	9	15	1,955
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	6	6	110	7	7	134
1	1	20	0	0	0	9	9	1,720	23	101	3,386
0	0	0	0	0	0	4	4	2,653	7	19	4,347
2	5	108	0	0	0	6	9	1,354	17	33	6,108
6	9	936	0	0	0	32	35	7,844	74	225	21,984
3	13	3,018	4	3	383	35	87	120,560	80	250	147,829
1	3	350	0	0	0	7	8	898	12	18	1,735
2	20	606	1	23	288	6	6	1,288	17	76	2,521
0	0	0	0	0	0	5	12	545	7	23	740
1	5	61	0	0	0	5	5	773	11	35	1,486
1	7	7	0	0	0	1	1	283	7	25	968
1	1	20	2	3	59	1	1	51	8	29	1,331
9	49	4,062	7	29	730	60	120	124,398	142	456	156,610
1	1	2,629	1	1	44	31	169	13,379	53	214	21,540
2	4	408	1	1	32	17	22	2,155	37	83	13,046
2	3	131	0	0	0	7	18	381	25	70	5,700
1	27	916	1	5	57	11	25	3,120	20	93	6,556
0	0	0	0	0	0	2	4	1,023	10	73	2,096
0	0	0	0	0	0	9	47	2,477	10	48	2,500
3	47	1,704	0	0	0	9	16	1,235	18	90	4,080
2	3	44	1	1	14	5	5	897	14	53	2,269
2	10	604	2	4	208	9	18	4,666	21	55	8,652
13	95	6,436	6	12	355	100	324	29,333	208	779	66,439
0	0	0	2	2	99	23	94	9,757	41	181	12,596
0	0	0	2	2	576	6	6	752	8	8	1,328
1	9	69	0	0	0	1	1	32	3	14	103
0	0	0	0	0	0	2	2	28	3	3	48
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	893
1	9	69	4	4	675	32	103	10,569	56	207	14,968
9	173	5,989	4	21	405	33	175	96,884	76	1,043	121,831
0	0	0	0	0	0	3	3	1,203	8	43	2,516
0	0	0	1	1	34	18	37	4,844	28	70	6,198
0	0	0	0	0	0	7	7	2,481	13	15	3,136
3	3	267	1	1	63	10	10	3,481	29	44	9,052
0	0	0	1	2	34	0	0	0	7	25	1,724
1	5	148	0	0	0	5	16	858	13	75	2,605
13	181	6,404	7	25	536	76	248	109,751	174	1,315	147,062
49	352	18,174	26	72	2,358	407	1,159	339,931	892	4,344	494,667
65	367	16,713	25	89	1,878	423	1,147	302,571	948	4,591	459,497

Ⅲ 令和6年度市町村の生涯学習推進体制

	生涯学習推進組織				生涯学習振興に関する構想・計画		社会教育調査	
	名称	設置年度	構成員	本部長(会長)	名称	計画期間	名称	調査報告書作成年月
1	青森市							
2	平内町	平内町生涯学習のまちづくり推進本部	H15	行政職員と有識者	市町村長	平内町教育施策の大綱	R3-R7	
3	今別町							
4	蓬田村					蓬田村社会教育推進計画	策定中	
5	外ヶ浜町	外ヶ浜町生涯学習のまちづくり推進本部	H17	行政職員のみ	市町村長			
6	五所川原市					五所川原市中期社会教育計画	R2-R6	
7	つがる市							
8	鱒ヶ沢町					鱒ヶ沢町社会教育計画	R5-R9	
9	深浦町					第4次深浦町中期社会教育計画	R5-R9	
10	板柳町					板柳町生涯学習推進計画	R5-R14	
11	鶴田町							
12	中泊町					第2次中泊町長期総合計画	H28-R7	
13	弘前市	弘前市生涯学習推進本部	H18	行政職員のみ	市長村長	弘前市総合計画(後期)	R5-R8	
14	黒石市	黒石市生涯学習のまちづくり推進本部	H6	行政職員のみ	市長村長	第4次黒石市生涯学習のまちづくり推進計画	R3-R6	
		黒石市生涯学習のまちづくり推進委員会	H14	有識者のみ	その他			
15	平川市					平川市社会教育基本計画	R5-R9	
16	西目屋村					西目屋村社会教育中期計画	R6-R8	
17	藤崎町	藤崎町生涯学習推進本部	H19	行政職員と有識者	市町村長			
18	大鰐町							
19	田舎館村							
20	十和田市	十和田市生涯学習推進本部	H16	行政職員のみ	市町村長			
21	三沢市							
22	野辺地町							
23	七戸町							
24	六戸町							
25	横浜町							
26	東北町							
27	六ヶ所村					第4次生涯学習中期推進計画	R4-R9	
28	おいらせ町					第3次おいらせ町社会教育中期計画	R2-R6	

	生涯学習推進組織				生涯学習振興に関する構想・計画		社会教育調査	
	名称	設置年度	構成員	本部長(会長)	名称	計画期間	名称	調査報告書作成年月
29	むつ市							
30	大間町							
31	東通村							
32	風間浦村							
33	佐井村							
34	八戸市				第3期八戸市教育振興基本計画 2024-2028	R6-R10		
35	三戸町							
36	五戸町				五戸町社会教育計画	R3-R7		
37	田子町				田子町生涯学習推進計画	定めなし		
38	南部町							
39	階上町	階上町生涯学習まちづくり推進本部	H6	行政職員と有識者	市町村長	階上町生涯学習まちづくり推進計画、学びの王国はしかみプラン(第3次)	R3-R12	
40	新郷村					新郷村過疎地域持続的発展計画	R3-R7	

	生涯学習推進組織	生涯学習振興に関する構想・計画	社会教育調査
市(10)	3	5	0
町(22)	4	9	0
村(8)	0	4	0
合計(40)	7	18	0

IV 市町村子ども読書活動推進計画策定状況

令和5年3月31日現在

	市町村名	策定状況	計画の策定（予定）年月	計画の位置づけ		市町村名	策定状況	計画の策定（予定）年月	計画の位置づけ
1	青森市	策定済	第1次H17.8、第2次H23.5 第3次H28.3、一部改定R3.2	3	21	三沢市	策定済	H20.1 第1次（第2次R5.4）	1
2	平内町	策定済	H20.4 第1次、H29.4 第2次 R3.4 第3次	1	22	野辺地町	策定済	H20.3 第1次	1
3	今別町	策定済	H19.2 第1次（第2次R7.3上位 計画の一部として策定予定）	1	23	七戸町	策定済	H21.3 第1次	1
4	蓬田村	策定済	H18.2 第1次、H22.5 第2次 H27.4 第3次、R2.5 第4次	1	24	六戸町	策定済	H23.3 第1次、H30.3 第2次	1
5	外ヶ浜町	策定済	H19.4、R5.2 第2次	1	25	横浜町	作業中	未定	
6	五所川原市	策定済	H20.3 第1次、H28.3 第2次 R3.3 第3次	1	26	東北町	策定済	H19.3 第1次、H24.3 第2次 H29.3 第3次、R4.3 第4次	1
7	つがる市	策定済	H18.4 第1次、H27.4 第2次 R3.4 第3次	1	27	六ヶ所村	策定済	H21.11 第1次、H27.2 第2次	1
8	鱒ヶ沢町	策定済	H21.3 第1次、H26.3 第2次 R3.2 第3次	1	28	おいらせ町	策定済	H30.4 第1次、R5.3 第2次	1
9	深浦町	策定済	H20.3 第1次（第2次R5.12）	1	29	むつ市	策定済	H19.12 第1次、H30.4 第2次 （第3次R6.4）	1
10	板柳町	策定済	H18.3 第1次、H23.4 第2次 H28.4 第3次、R3.4 第4次	1	30	大間町	策定済	H31.4 第1次	1
11	鶴田町	策定済	H20.3 第1次、R4.3 第2次	1	31	東通村	予定なし		
12	中泊町	策定済	H21.3 第1次、H29.4 第2次 R4.4 第3次	1	32	風間浦村	予定なし		
13	弘前市	策定済	H21.3 第1次、H26.3 第2次 R2.4 第3次	1	33	佐井村	予定なし		
14	黒石市	策定済	H24.6 第1次、H29.4 第2次 R4.2 第3次	1	34	八戸市	策定済	H17.10 第1次、H24.3 第2次 H29.4 第3次、R5.3 第4次	1
15	平川市	策定済	H22.4 第1次、H27.4 第2次 R2.4 第3次	1	35	三戸町	策定済	H28.12 第1次、R5.3 第2次	1
16	西目屋村	予定なし			36	五戸町	策定済	H22.3 第1次	1
17	藤崎町	作業中	（第1次R6.4）		37	田子町	策定済	H24.2 第1次、H30.2 第2次	1
18	大鰐町	策定済	H22.4 第1次、H26.4 第2次 R2.4 第3次	1	38	南部町	策定済	H25.3 第1次	1
19	田舎館村	作業中	（第1次R6.3）		39	階上町	策定済	H20.3 第1次、H28.3 第2次 R3.11 第3次	1
20	十和田市	策定済	H18.3 第1次、H23.3 第2次 H28.3 第3次、R3.3 第4次	1	40	新郷村	予定なし		

※計画の位置づけ 1. 単独の「子ども読書活動推進計画」として策定
3. その他の計画の一部として策定

2. 大人を含む「読書活動推進計画」の一部として策定
4. 未定

[参考] ◆市町村子ども読書活動推進計画策定率

	青森県				全国平均	
	R4.3.31現在		R5.3.31現在		R5.3.31現在	
	市町村数	策定率	市町村数	策定率	市町村数	策定率
策定済み	32	80.0%	32	80.0%	1,514	87.0%
策定作業中	0	0.0%	3	7.5%	35	2.0%
策定検討中	2	5.0%	0	0.0%	61	3.5%
予定なし	6	15.0%	5	12.5%	131	7.5%

※年度末に行われていた文部科学省による調査が令和6年度は行わず、令和7年度に行われることになったため、令和5年度の調査結果である令和5年3月31日現在の状況を記載しています。

V 主な社会教育関係団体一覧

令和7年4月1日現在

	団体名	代表者氏名	事務局所在地	電話・FAX	会員数・ 単位団体数
1	一般社団法人 青森県子ども会育成連合会	会長 矢野 均	〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 県総合社会教育センター内	TEL 017-739-7800 FAX 017-762-7810	会員数 16,002人 単位団体数 536
2	日本ボーイスカウト青森県連盟	連盟長 宮下宗一郎	〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 県総合社会教育センター内	TEL 017-739-0660 FAX 017-757-8760	会員数 114人 単位団体数 6
3	一般社団法人 ガールスカウト青森県連盟	連盟長 加藤 貴子	〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 県総合社会教育センター内	TEL 017-729-1965 FAX 017-729-1965	会員数 161人 単位団体数 8
4	青森県PTA連合会	会長 横岡千和子	〒030-0801 青森市新町1-1-14 損保ジャパン青森ビル3F	TEL 017-722-1647 FAX 017-722-1648	会員数 77,631人 単位団体数 398
5	青森県高等学校PTA連合会	会長 高橋 尚裕	〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 計量検定グループ庁舎内	TEL 017-757-8586 FAX 017-757-8587	会員数 25,000人 単位団体数 71
6	青森県特別支援学校PTA連合会	会長 岡田 浩介	〒031-0815 八戸市大字松館字水野平20-19 県立八戸第二養護学校内	TEL 0178-96-1214 FAX 0178-96-5690	会員数 2,860人 単位団体数 21
7	青森県地域婦人団体連合会	会長 外崎れい子	〒030-0822 青森市中央3-17-1 アピオあおもり 2F	TEL 017-773-6293 FAX 017-773-6293	会員数 1,464人 単位団体数 31
8	青森県図書館連絡協議会	会長 渡部 泰雄	〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館内	TEL 017-739-4211 FAX 017-739-8353	単位団体数 42
9	青森県読書推進運動協議会	会長 渡部 泰雄	〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館内	TEL 017-739-4211 FAX 017-739-8353	単位団体数 5
10	青森県読書団体連絡協議会	会長 前田 敏子	〒031-0022 八戸市大字糠塚字下道2-1 八戸市立図書館内	TEL 0178-22-0266 FAX 0178-71-1312	単位団体数 6
11	「小さな親切」運動青森県本部	本部長 石川啓太郎	〒030-8668 青森市橋本1-9-30 青森みちのく銀行地域振興支援事務局	TEL 017-723-2327 FAX 017-777-6711	会員数 1,317人
12	青森県社会教育委員連絡協議会	会長 白川喜代美	〒030-8540 青森市長島1-1-1 県教育庁生涯学習課内	TEL 017-734-9888 FAX 017-734-8272	会員数 340人 単位団体数 40
13	青森県公民館連絡協議会	会長 高橋 宣子	〒031-8686 八戸市内丸1丁目1-1 八戸市教育委員会社会教育課内	TEL 0178-43-9516 FAX 0178-47-4997	単位団体数 39
14	青森県連合青年団 *活動休止				

【参考】■主な社会教育関係団体に関わる全国大会・東北大会等一覧（令和7年度）

団体名	期日	大会名（開催地）
青森県子ども会育成連合会	5/10 11/1-2 11/15-16	東北地区子ども会育成連絡協議会総会（青森県） 第55回東北地区子ども会育成研究協議会（山形県） 第58回全国子ども会育成中央会議・研究大会（熊本県）
日本ボーイスカウト青森県連盟	8/8-11	第7回北海道・東北ブロックキャンボリー（国立岩手山青少年交流の家）
ガールスカウト青森県連盟	8/5-8 10/1-19	レンジャー全国キャンプ（長野市） 北海道・東北地区成人研修会（山形県）
青森県高等学校PTA連合会	7/1-2 8/21-22	第74回東北地区高等学校PTA連合会仙台大会（仙台市） 第74回全国高等学校PTA連合会大会三重大会（津市）
青森県地域婦人団体連合会	9/3-4 11/25-26	第62回北海道・東北ブロック地域婦人研究大会（秋田県） 第73回全国女性団体研究大会（沖縄県）
青森県図書館連絡協議会 青森県読書推進運動協議会	6/18	第76回北日本図書館大会秋田大会（秋田県）
青森県社会教育委員連絡協議会	10/30-31	第67回全国社会教育研究大会岩手大会 令和7年度東北地区社会教育研究大会（盛岡市）
青森県公民館連絡協議会	10/30-31 11/12-13	第70回東北地区公民館大会（盛岡市） 第47回全国公民館研究集会（東京都）

卷末資料

文部科学大臣表彰者一覧

(平成27年度以降・過去10年間)

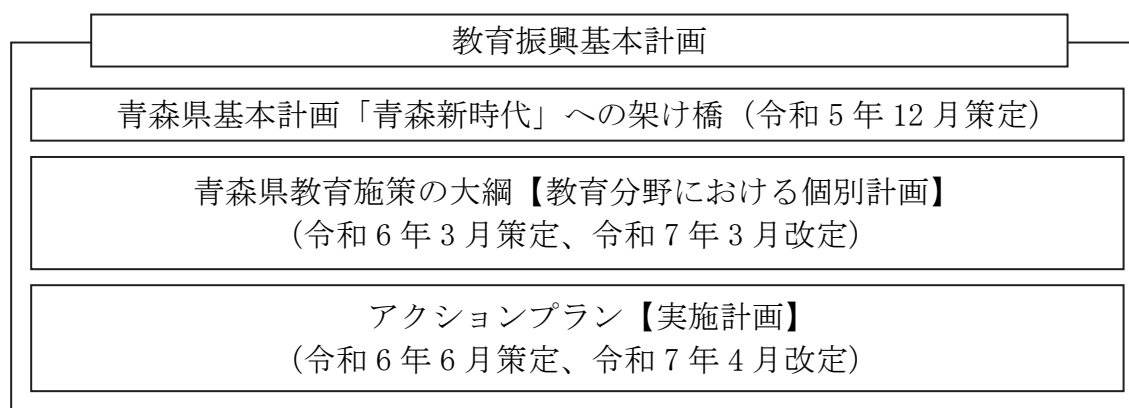
年度	社会教育 功労者表彰	視聴覚教育・ 情報教育功労者表彰	優良PTA 文部科学大臣表彰	PTA活動振興 功労者表彰	優良公民館 表彰	子供の読書活動優秀実践 図書館・団体(個人)表彰
H27	岩村 隆二 平野 てつ	(受賞なし)	青森市立三内西小学校 佐井村立佐井中学校 県立七戸養護学校	益川 毅 佐藤 広政 相馬 多一郎 住吉 治彦	むつ市 中央公民館	<図書館> 五戸町図書館
H28	庭田 良二 高瀬 晃	中山 武廣	三戸町立斗川小学校 むつ市立川内中学校 県立青森高等学校		青森市 浪岡野沢公民館	<団体(者)> おはなしるんるん(弘前市)
H29	張摩 博子 人間 正智	(受賞なし)	認定こども園百石幼稚園 八戸市立第一中学校 むつ市立大畑中学校		五所川原市 中央公民館	<図書館> 板柳町民図書館
H30	奥寺 一廣 山田 正元	(受賞なし)	三沢市立おおぞら小学校 県立青森第一養護学校 弘前市立豊田小学校		六戸町 中央公民館	<団体(者)> おいしいおかゆの会(青森市)
R1	矢野 均 乙供 房子	對馬 祐之	十和田市立松陽小学校 新郷村立戸来小学校 八戸工業大学第二高等学校	外崎 浩司 柴田 一則 福士 素子	八戸市立 大館公民館	<図書館> 田子町立図書館
R2	稲見 健一 芳賀 孝子	戸来 忠雄	むつ市立奥内小学校 青森市立甲田中学校 養生幼稚園		八戸市立 大館公民館	<団体(者)> 大畑町「どんぐり」グループ(むつ市)
R3	田中 忠博 川村 優子	三上 敏彦	弘前市立裾野小学校 八戸市立下長小学校 県立盲学校		中泊町 中央公民館	<図書館> むつ市立図書館
R4	福山 廣 福原 仁一	太田 眞佐清	藤崎町立藤崎小学校 田子町立上郷小学校 県立五所川原農林高等学校		今別町 中央公民館	<団体(者)> 語りの会「はまなす」(三沢市)
R5	佐々木 忠一 佐々木 博子	幸山 勉	青森市立千刈小学校 五所川原市立南小学校 認定こども園油川幼稚園	田舎館村 中央公民館	<図書館> つがる市立図書館	
R6	岩間 祐子 田中 潔	成田 弘行	八戸市立城下小学校 階上町立道仏小学校 県立黒石養護学校		八戸おはなしの会 紙風船	
					田舎館村 中央公民館	<図書館> 六ヶ所村民図書館
					六ヶ所村立 中央公民館	<団体(者)> 潮風おはなし会(中泊町)
					青森市東部 市民センター	<図書館> 藤崎町図書館 大夢
					むつ市 大畑公民館	<団体(者)> 親子読書の会「わっこの会」(十和田市)
					深浦町 公民館	<図書館> 平内町立図書館
						<団体(者)> 読みかきせボランティアネットワーク おはなしの木(むつ市)

年度	優れた「地域による学校支援活動」 推進にかかる文部科学大臣表彰	年度	「障害者の生涯学習支援活動」に 係る文部科学大臣表彰	年度	優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の 推進にかかる文部科学大臣表彰
H27	有畑小学校支援事業(横浜町立有畑小学校) 外ヶ浜町放課後子どもプラン運営委員会(外ヶ浜町立蟹田小学校) 船沢中学校学校支援地域本部(弘前市立船沢中学校)	H29	十和田点訳・朗読奉仕会 ボランティアサークル虹の会(弘前市)	H27	
H28	八戸市立柏崎小学校地域密着型教育(八戸市立柏崎小学校) 北陽小学校支援事業(黒石市立北陽小学校) 小泊小学校学校支援事業(中泊町立小泊小学校)	H30	若木 政人(青森市)	H28	生活リズムを整え家庭学習の習慣化を目指そう運動 (大間町)
H29	古間木小学校支援ボランティア(三沢市立古間木小学校) 板柳東小学校地域学校協働活動(板柳町立板柳東小学校) 第二田名部小学校学校支援活動(むつ市立第二田名部小学校)	R1	野澤 英二(青森市) 福沢 和彦(野辺地町)	H29	
H30	(受賞なし)	R2	俊文書道会(八戸市)	H30	「早起き・早寝・朝ごはん」運動(十和田市立藤坂小 学校)
R1	鱒ヶ沢町地域学校協働本部(鱒ヶ沢町立西海小学校、鱒ヶ沢町立舞戸 小学校、鱒ヶ沢町立鱒ヶ沢中学校) 大深内中学校学校運営協議会(十和田市立大深内中学校)	R3	小山内 敬子(青森市)	R1	
R2	七百中学校学校運営協議会(六戸町立七百中学校) 青森県立森田養護学校コミュニティ・スクール(県立森田養護学校)	R4	東 信昭(十和田市)	R2	東英きつず 元気UPる大作戦(黒石市立東英小学 校)
R3		R5	山田 金治(大鰐町)	R3	
R4		R6	特定非営利活動法人 レアリサルススポーツクラブ(青森市)	R4	健康生活リズムで元気いっぱい～早寝・早起き・朝 ごはん～(階上町立石鉢小学校) ぐっすり眠って心も体も元気いっぱい大作戦(三沢市 立木崎野小学校)
R5		年度	「家庭教育支援チーム」の活動の 推進に係る文部科学大臣表彰	R5	
R6		H29	鱒ヶ沢町家庭教育支援チーム	R6	グッドモーニング 朝の60分で元気をつくろう(GM60 分チャレンジ)(六戸町立大曲小学校) 食育チャレンジプログラム(青森市立浜田小学校)
		H30	青森市家庭教育サポーター連絡会		
		R1	横浜町家庭教育支援チーム		
		R2			
		R3			
		R4			
		R5	今別町家庭教育支援チームTAZUNA		
		R6			

青森県教育振興基本計画について

本県では、「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」及び「青森県教育施策の大綱『あおり未来教育ビジョンVer. 2.0』」を踏まえ、今後取り組む具体的な施策や進捗状況を把握するための指標を設定したアクションプランを策定しました。

青森県基本計画、青森県教育施策の大綱、アクションプランの3つをあわせて、青森県教育振興基本計画と位置付けています。



青森県教育振興基本計画の全文はこちらを御覧ください。

- ・青森県基本計画「青森新時代」への架け橋
- ・青森県教育施策の大綱
- ・アクションプラン



令和7年度青森県の社会教育行政

発 行 青森県教育庁生涯学習課
〒030-8540 青森市長島一丁目1-1
電話 017-722-1111(代表)
017-734-9887(総務グループ)
017-734-9888(企画振興グループ)
017-734-9890(地域連携推進グループ)
FAX 017-734-8272
発行年月 令和7年5月
印 刷 ワタナベサービス株式会社

